平成二十九年度

医療法人誠和会　年報

# 医療法人誠和会　年報

平成 29 年度　倉敷紀念病院

倉敷紀念病院
介護老人保健施設 福寿荘
誠和会在宅センター
グループホーム コージー
小規模多機能 和

医療法人 誠和会

# 目　次


巻頭文 1
法人理念・病院理念・院是 2
患者さんの権利と守っていただく事項 3
倉敷紀念病院臨床倫理の方針 4
概要 5
沿革 10
職員数 14
組織図 15
会議・委員会組織図 18
統計資料
病院統計
検査科 22
内視鏡 24
薬剤科 25
放射線科 26
栄養科 28
リハビリテーション科 29
医事課 31
医療秘書課 33
地域医療連携室 34
健診部 36
訪問診療部 37
介護部門統計
介護老人保健施設　福寿荘 38
有料老人ホーム　せいわ 40
グループホーム　コージー 42
小規模多機能　和 43
通所リハビリ　せいわ 46
デイサービス　せいわ 47
倉敷紀念訪問看護ステーション 48
せいわ介護サービスセンター 50
倉敷西高齢者支援センター
活動実績
診療部 52
看護部 70
医療技術部 76
薬剤科の取り組み

リハビリテーション部 78
介護部門 85
介護老人保健施設　福寿荘
デイサービス　せいわ
介護部門の取り組み
委員会活動
リスクマネージメント委員会 90
感染対策委員会 92
糖尿病診療委員会 95
労働安全衛生委員会 97
教育委員会 98
CS 向上委員会 102
福利厚生委員会 111
広報委員会 113
健康作り教室委員会 115
総務部 117
経理部・経営戦略室 134

※報告内容（職員の役職含む）については、特に記載のない限り平成 29 年度のものです。

# ご挨拶

医療法人　誠和会
理事長　小出尚志

このたびの医療法人誠和会の平成29年度の年次報告書の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

さて、我が国は世界に先駆けて超高齢人口・減少社会を迎え、爆発的増加が見込まれる医療や介護の需要に対応できる持続可能な医療提供体制に向けての変革が加速しています。住み慣れた地域での生活を支援する医療・介護の仕組み、すなわち「地域包括ケアシステム」が国の示す方向です。

私ども医療法人誠和会は、倉敷紀念病院を核として多様な介護事業体を合わせ持つ「医療と介護の複合体」であり、隣接の社会福祉法人ますみ会と協力して地域包括ケアシステムの大きな一翼を担ってまいりました。

さらに、平成29年9月に財団法人淳風会から倉敷第一病院の譲渡を受け、診療圏の拡大と外科系の医療機能の補完・充実を図り、急性期から回復期、維持期、在宅期の医療、介護も施設入所から通所介護や訪問リハビリまで、幅広く切れ目のない地域包括ケアサービスをone-stopで提供できる体制となりました。

引き続き、事業の拡大とともに多角化した「誠和会・ますみ会グループ」のガバナンスの強化を図り、法人内外の事業体間の円滑な連携を促進し、経営資源の有効活用などのシナジー効果を高めて、今まで以上に効率的かつ質の高い医療介護サービスを提供して地域に貢献してまいることをお誓い申し上げてご挨拶とさせていただきます。

終わりに、報告書の発刊にあたり、編纂にかかわった多くの職員の皆様に感謝を申し上げます。

## 法人理念・院是

### 法人理念

・元気を育み、生活を支援し、命に寄り添う医療・介護を提供します。
・医療・介護を通して、職員の幸福と地域社会への貢献を目指します。

### 病院院是

1. 患者さんの安全と安心を第一に考えます。
2. 慈愛の心をもって優しい態度で接します。
3. 患者さんの尊厳と権限を尊重します。
4. チーム医療を推進します。
5. 医療の継続性を大切にします。
6. 地域の健康に奉仕します。

## 患者さんの権利と守っていただく事項

### Ⅰ　患者さんの権利

倉敷紀念病院は患者さんの権利を確認し尊重します。

患者さんには

1. 十分な説明を受けた後、医療・看護を「受ける」あるいは「受けない」という選択をする権利があります。
2. 自分の診療情報および個人情報を保護される権利があります。
3. いかなる状況においても人間の尊厳を尊重されて、その生を全うする権利があります。
4. いかなる差別もなく、平等な医療・看護を受ける権利があります。
5. 自ら受けている診療について、情報の提供を受ける権利があります。
6. 医療費の明細、医療費の公的援助について、その情報を受ける権利があります。

### Ⅱ　患者さんに守っていただく事項

患者さんと病院の双方が互いに尊重し、協力し合って初めて十分な医療サービスが可能となります。このために、患者さんには次の事項を守っていただきますようお願いします。

1. 身体的・精神的状態について必要と思われることは、できるだけ正確に、詳しくお教えください。
2. ご自身が受けられる医療行為については、十分な説明を受けたあと納得の上、その医療行為を「受ける」あるいは「受けない」を選択してください。
3. 身体的不調を感じたときには即座にお知らせください。
4. 病院内では礼節を守り、他の患者さまに対する思いやりを忘れないでください。
5. 病院の器物は大切に扱ってください。
6. 病院では禁酒です。また、敷地内は禁煙です。

## 倉敷紀念病院　臨床倫理の方針

1. **知識と技術の習得に励み、温かな心をもって医療の質の向上に努める。**

   生命に関わる重大な業務に携わる者として、常に向上心を持ち、知識・技術の習得に努めて病院全職員による、チーム医療で円滑・敏速な活動を行う。

2. **患者の権利と自律性を尊重し、患者の視点に立った医療を行う。また権利には義務が伴うこと並びに医療の不確実性について患者に理解を求める。**

   全ての患者に平等の心で接し、治療・診断について誤りのない情報を伝える。しかし時には予測不可能で患者にとって受容できない結果を生む場合もあるので、医療の不確実性についても理解を求める。

3. **診療情報を適正に記録・管理し、開示請求には原則として応じる。**

   個人情報は個人に帰属するものであり、本人の同意なしに他人に漏らすことはできない。

4. **地域の医療・保健・介護・福祉を包括的に推進するとともに、関係諸機関・施設等との連携・協力関係を構築する。**

   病院には、医療に加えて、保健・介護・福祉にも包括的な連携を推進する必要があり、その為にも地域の医療機関、介護施設ならびに行政機関等と緊密な連携を構築する。

5. **人の自然な死に思いをいたし、緩和医療を推進し、誰もが受容しうる終末期医療を目指す。**

   自ら身体を動かすことが出来なくなり、食事摂取もできなくなった高齢者に対して行われる延命処置に対して行われる延命処置として胃瘻造設等の妥当性が問われるようになってきた。我々は人の自然な死に思いをいたし患者および家族の意思を尊重して、誰もが受容しうる終末期医療を目指す。

## 概要

**病院の概要**（平成 30 年 6 月 1 日現在）

| | |
|---|---|
| 名称 | 医療法人誠和会　倉敷紀念病院 |
| 所在地 | 〒710-0803 岡山県倉敷市中島 831 番地 |
| 院長 | 小出　尚志 |
| 看護部長 | 齋藤　美和子 |
| 事務長 | 景山　靖 |
| 電話番号 | (086)465-0011 |
| FAX | (086)465-9199 |
| 事業者 | 名称:医療法人　誠和会<br>法人所在地:岡山県倉敷市中島 831 番地<br>法人種別:医療法人<br>代表者氏名:理事長　小出　尚志<br>電話番号:(086)465-0011 |
| 開設 | 昭和 43 年 7 月 8 日 |
| 病床数 | 194 床<br>一般病棟 50 床<br>回復期リハビリテーション病棟 50 床<br>医療療養病棟 46 床(うち、地域包括ケア入院医療管理料 2　8 床)<br>特殊疾患病棟 48 床 |
| 看護体制 | 10:1(一般病棟入院基本料) |

届出リスト（平成 30 年 6 月 1 日現在）

| | 届 出 内 容 |
|---|---|
| 基本診療料 | 一般病棟入院基本料 |
| | 回復期リハビリテーション病棟入院料 1 |
| | 療養病棟入院基本料 |
| | 特殊疾患病棟入院料 1 |
| | 地域包括ケア病棟入院料 2 及び地域包括ケア入院医療管理料 2 |
| | 診療録管理体制加算 2 |
| | 療養環境加算 |
| | 重症者等療養環境特別加算 |
| | 療養病棟療養環境加算 1 |
| | 栄養サポートチーム加算 |
| | 医療安全対策加算 2 |
| | 感染対策防止加算 2 |
| | 医師事務作業補助体制加算 2 |
| | 患者サポート体制充実加算 |
| | 入退院支援加算 |
| | 総合評価加算 |
| | データ提出加算 |
| | 病棟薬剤業務実施加算 1 |
| | 急性期看護補助体制加算 |
| | 認知症ケア加算 |
| | 機能強化加算 |
| 特掲診療料 | 検体検査管理加算（Ⅰ） |
| | 検体検査管理加算（Ⅱ） |
| | 薬剤管理指導料 |

| | |
|---|---|
| 特掲診療科 | コンタクトレンズ検査料１ |
| | 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ） |
| | 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ） |
| | 運動器リハビリテーション料（Ⅰ） |
| | 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ） |
| | がん患者リハビリテーション料 |
| | CT 撮影及び MRI 撮影 |
| | ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 |
| | 医科点数表第２章第 10 部手術の通則 16 に掲げる手術 |
| | 胃瘻造設時嚥下機能評価加算 |
| | 医療機器安全管理料1 |
| | 神経学的検査 |
| | 脳磁図 |
| | 集団コミュニケーション療法料 |
| | 地域連携診療計画加算 |
| | がん治療連携指導料 |
| | 肝炎インターフェロン治療計画料 |
| | 別添１の「第 14 の２」の１の(1)に規定する在宅療養支援病院 |
| | 院内トリアージ実施料 |
| | 糖尿病透析予防指導管理料 |
| | 在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料 |
| | 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料 |
| | がん性疼痛緩和指導管理料 |
| 他 | 入院時食事療養（Ⅰ）／生活療養（Ⅰ） |
| | 酸素の購入単価 |

介護部門　施設・事業所の概要（平成 30 年 9 月 1 日現在）

| | |
|---|---|
| 名称 | 介護老人保健施設　福寿荘 |
| 所在地 | 岡山県倉敷市中島 831 番地 |
| 施設長 | 發坂　耕治 |
| 電話番号 | (086)466-0119 |
| FAX 番号 | (086)465-2537 |
| 介護保険指定番号 | 介護老人保健施設　(3350280024 号) |
| 開設 | 平成 2 年 10 月 22 日 |

| | |
|---|---|
| 名称 | 有料老人ホーム　せいわ |
| 所在地 | 岡山県倉敷市中島 770-1 番地 |
| 施設長 | 小野　玉枝 |
| 電話番号 | (086)460-0070 |
| FAX 番号 | (086)466-6366 |
| 介護保険指定番号 | 特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護（3370205209 号） |
| 開設 | 平成 20 年 1 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| 名称 | グループホーム　コージー |
| 所在地 | 岡山県倉敷市中島 848 番 6 |
| 施設長 | 泉　真規子 |
| 電話番号 | (086)460-3818 |
| FAX 番号 | (086)466-2099 |
| 介護保険指定番号 | 認知症対応型共同生活介護、介護予防認知症対応型共同生活介護 (3390200420 号) |
| 開設 | 平成 21 年 10 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| 名称 | 小規模多機能　和（なごみ） |
| 所在地 | 岡山県倉敷市中島 848 番 3 |
| 施設長 | 野田　雅志 |
| 電話番号 | (086)460-1919 |
| FAX 番号 | (086)460-1920 |
| 介護保険指定番号 | 小規模多機能型居宅介護、介護予防小規模多機能型居宅介護（3390200743 号） |
| 開設 | 平成 24 年 3 月 1 日 |

| | |
|---|---|
| 名称 | 倉敷紀念病院　通所リハビリテーション |
| 所在地 | 岡山県倉敷市中島 770-1 番地 |
| 電話番号 | (086)460-0020 |
| FAX 番号 | (086)465-1411 |
| 介護保険指定番号 | 通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション(3310210418 号) |

| | |
|---|---|
| 名称 | デイサービスせいわ |
| 所在地 | 岡山県倉敷市中島 770-1 番地 |
| 電話番号 | (086)460-0010 |
| FAX 番号 | (086)465-1411 |
| 介護保険指定番号 | 通所介護、介護予防通所介護(3370205183 号) |

| | |
|---|---|
| 名称 | 倉敷紀念訪問看護ステーション |
| 所在地 | 岡山県倉敷市中島 770-1 番地 |
| 電話番号(FAX 兼用) | (086)465-0121 |
| 介護保険指定番号 | 訪問看護(3360290062 号) |

| | |
|---|---|
| 名称 | せいわ介護サービスセンター |
| 所在地 | 岡山県倉敷市中島 770-1 番地 |
| 電話番号 | (086)466-6355 |
| FAX 番号 | (086)466-6366 |
| 介護保険指定番号 | 指定居宅介護支援事業所(3370200184 号) |

| | |
|---|---|
| 名称 | 倉敷市倉敷西高齢者支援センター |
| 所在地 | 岡山県倉敷市中島 770-1 番地 |
| 電話番号 | (086)466-3156 |
| FAX 番号 | (086)466-6366 |
| 介護保険指定番号 | 地域包括支援センター(指定介護予防支援事業所)(3300200056 号) |

# 医療法人誠和会　沿革

| 年 | 月 | 日 | 倉敷紀念病院 | | 介護部門 |
|---|---|---|---|---|---|
| 昭和43 | 6 | | 医療法人誠和会　設立　(創立者　赤木和彦) | | |
| | 7 | 8 | 倉敷紀念病院　開設(倉敷市中島831番地)<br>病床数　30床 | | |
| 46 | 3 | | 救急病院の指定を受ける | | |
| | 12 | | 病床数　50床に増床 | | |
| | | | 検診部開設　集団検診を開始 | | |
| 48 | 5 | | 産業医活動を開始 | | |
| 52 | 10 | | 病床数　57床に増床 | | |
| 53 | 4 | | 耳鼻咽喉科開設 | | |
| 55 | 12 | | 病床数　165床に増床 | | |
| 60 | 12 | | 病床数　200床に増床 | | |
| 61 | 4 | | 泌尿器科開設 | | |
| 平成2 | 10 | | | | 老人保健施設　福寿荘　開設(100床) |
| 3 | 10 | | 脳神経外科開設 | | |
| 4 | 8 | | | 全身用コンピューター断層撮影装置更新(横河CT-Vertex3000) | |
| 5 | 1 | | | | 老人保健施設　福寿荘　50床増床 |
| 6 | 1 | | | | 福寿荘在宅介護支援センター　開設(倉敷市委託事業) |
| | | | | 核磁気共鳴画像診断装置(MRI)導入(横河MRVectra-Fast) | |
| | | | | 骨密度測定装置導入 | |
| 7 | 3 | | | X線TV更新(東芝DBA-300A/50N) | |
| 8 | 1 | | 政府管掌健康保険成人病予防検診承認 | | |
| | 4 | | | | 倉敷紀念訪問看護ステーション　開設 |
| 9 | 1 | | | X線室画像読取装置　富士FCR,AC-3システム導入 | |
| | 3 | | 倉敷紀念病院看護婦誠和寮(14室)完成 | | |
| | 5 | | | 薬局サンヨー自動錠剤包装機システム　ATC-240F　導入 | |
| | 6 | | | 検査部心エコー入替導入 | |
| | | | | 検診部政府管掌検診システム完成 | |
| | 11 | | | 腹部エコー入替導入 | |
| 10 | 3 | | | ヘリカルCT(横河LemageSX/E)更新 | |
| | 9 | | 病床数を200床から194床に変更 | | |
| 11 | 10 | | | | 誠和会介護サービスセンター　開設 |
| 12 | 3 | | 眼科開設 | | |
| | | | 皮膚科開設 | | |
| | 4 | | 神経内科開設 | | |
| | 8 | | | 外科用X線TV(イメージ)島津製導入 | |
| 14 | 7 | | 病院機能評価ver.3.1　認定 | | |
| | 9 | | 禁煙外来開始 | | |
| 15 | 4 | | 骨粗鬆症内科開設 | | |
| | 11 | | | レセプトコンピューター(HOPE)導入 | |
| 17 | 2 | | 井水開始 | | |
| | 10 | | 回復期リハビリテーション病棟開設 | | |
| 18 | 2 | | | 心電計(カーディオスター)導入 | |
| | 3 | | | マルチスライスCT(Light Speed Ultra 16 with Extream)導入 | |
| | 4 | | 一般病棟入院基本料(10対1)承認 | | |

# 医療法人誠和会　沿革

| 年 | 月 | 日 | 倉敷紀念病院 | | 介護部門 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）承認 | | |
| | | | 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）承認 | | |
| | | | 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）承認 | | |
| | 6 | | 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）承認 | | |
| | 9 | | | X線TV（Winscope4000）導入 | |
| 19 | 2 | | | ポータブル（X-p）（Mobile Art Ⅱ）導入 | |
| | 2 | | | 脳波計（ニューロファックス）導入 | |
| | 4 | | NST稼動施設認定（日本静脈経腸栄養学会） | | |
| | 9 | | | ポータブルエコー（SonoSite MicroMaxx）導入 | |
| | | | 病院機能評価ver.5.0　認定 | | |
| 20 | 1 | | | | 誠和会在宅センター　開設 |
| | | | | | 有料老人ホーム（110室・120名）介護付39室、住宅型71室 |
| | | | | | デイサービスせいわ（定員20名） |
| | | | | | 通所リハビリせいわ（定員40名） |
| | | | | | 倉敷紀念訪問看護ステーション[移設] |
| | | | | | せいわ介護サービスセンター[移設] |
| | | | | | 倉敷市倉敷西高齢者支援センター[移設] |
| | 3 | | 一般病棟入院基本料（7対1）　承認 | | |
| | 7 | | 回復期リハビリテーション病棟1　承認 | | |
| | | | | エコー診断装置（Aplio XG）導入 | |
| | 8 | | | | 訪問専門クリニックせいわ　開設 |
| | | | | 血圧脈波検査装置（CAVI搭載　VasaraVS-1500N）導入 | |
| | 9 | | 亜急性期入院医学管理料1　承認 | | |
| 21 | 1 | | | 経口・経鼻対応　内視鏡（GIF-XP260）導入 | |
| | 2 | | | メディネットシステム導入 | |
| | 3 | | | 医療用画像ネットワーク管理システムPACS導入 | |
| | | | | 防水型ホルター心電図記録器導入 | |
| | 4 | | | | 通所リハビリせいわ（定員60名に変更） |
| | 7 | | | | デイサービスせいわ（定員30名に変更） |
| | 9 | | | | 有料老人ホーム　住宅型39室を介護付へ変更 |
| | 9 | | 協力型研修病院登録（岡山大学病院、倉敷中央病院） | | |
| | 10 | | | | グループホームコージー　グリーン（9室）開設 |
| | 11 | | | | グループホームコージー　オレンジ（9室）開設 |
| 22 | 2 | | | レセプトコンピューター（IBARSⅡ）導入 | |
| | 4 | | 循環器専門医研修関連施設　指定 | | |
| | 8 | | | | |
| | 9 | | | 全自動エンザイムイムノアッセイ装置（AIA・600Ⅱ）導入 | |
| | 10 | | | | 訪問専門クリニックせいわ　ニコチン依存症管理料　承認 |
| | 12 | | 敷地内禁煙（完全） | | |
| | | | | 診断用X線装置（RADspeed Pro）導入 | |
| 23 | 1 | | | X線骨密度測定装置（Discovery QDR SERIES）導入 | |
| | 3 | | | オーダリングシステム（MI・RA・Is／EX）導入 | |
| | 4 | | | アマノ就業システム（Time Pro-XG Version 8.00）導入 | |
| | 4 | | | 血液ガス分析装置　更新 | |
| | 5 | | 回リハ病床を3F（38床）から4F（50床）に変更 | | |
| | | | 医療療養病床を4F（50床）から3F（38床）に変更 | | |

# 医療法人誠和会　沿革

| 年 | 月 | 日 | 倉敷紀念病院 | | 介護部門 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 6 | | | | デイサービスせいわ（定員35名に変更） |
| | 12 | | | 赤外線サーモグラフィー装置（インフラアイ3000 日本光電）導入 | |
| | | | | 日立自動分析装置（7180）　導入 | |
| 24 | 3 | | | | 小規模多機能　和（なごみ）　開設 |
| | | | | | 介護部門　福祉業務支援システム「ほのぼのNEXT」導入 |
| | | | | 1.5T 超伝導型 MRI（Brivo MR355 1.5T）導入 | |
| | 6 | | | 睡眠解析ソフト（AliceSleepwere）搭載PSGシステム（Alice 5）導入 | |
| | 9 | | | | 通所リハビリせいわ（3単位合計定員75名に変更） |
| | 10 | | 病院機能評価ver.6.0　認定 | | |
| 25 | 1 | | | | 通所リハビリせいわ（3単位合計定員85名に変更） |
| | 1 | | | 医療ネットワーク岡山（愛称：晴れやかネット）運用開始　[閲覧施設] | |
| | 4 | | | 医療ネットワーク岡山（愛称：晴れやかネット）診療情報の公開を開始[開示施設] | |
| | 5 | | | 眼科オペ機材一式　導入 | |
| | 9 | | がん患者リハビリテーション料　承認 | | |
| | 11 | | 心大血管疾患リハビリテーション（Ⅰ）　承認 | 半自動除細動器（フィリップス M5066A FC）導入 | |
| 26 | 1 | | | 電動ベッド（パラマウント）64台導入 | |
| | 4 | | 訪問診療部開設 | | |
| | 10 | | 地域包括ケア入院医療管理料Ⅰ　承認 | 電子カルテシステム(MI・RA・Is／PX）導入 | |
| | 12 | | | スペースセイビングチャート（SSC-370 TypeD）　導入 | |
| | | | | ビデオ鼻咽喉スコープ(VNL-90s)　ビデオプロセッサ（EPK-S）導入 | |
| | | | | iOS対応 (iPhone, iPad) ワイヤレス解析付心電計smart ECG導入 | |
| 27 | 1 | | 難病の患者に対する医療等に関する法律による指定医療機関　指定 | | |
| | 3 | | | | 訪問専門クリニックせいわ　閉院（訪問診療部開設による） |
| | 4 | | | 人工呼吸器（サーボベンチレータ　Servo S）導入 | |
| | 5 | | | 自動グリコヘモグロビン分析計（HLC-723 G11）導入 | |
| | 6 | | | | 有料老人ホームせいわ　電動昇降式入浴ストレッチャー導入 |
| | 7 | | | | 福寿荘・誠和会在宅センター　新電力会社と契約 |
| | 8 | | 機能強化型　在宅療養支援病院　承認 | | |
| | 9 | | | 内視鏡システム（EVIS LUCERA　ELITE）導入 | |
| | 9 | | | | 福寿荘・誠和会在宅センター　照明器具のLED化 |
| | 10 | | 外科開設 | 西側駐車場整備工事・職員駐車場整備工事 | |
| | 10 | | 保育所型事業所内保育事業　認可 | | |
| | 11 | | | 電話交換機　更新 | グループホームコージー　入浴用リフト導入 |
| | 11 | | | 一酸化窒素ガス分析装置（NIOX VERO）導入 | |
| 28 | 1 | | | 健診用レントゲン車　更新（デジタル化） | |
| | 2 | | | 血栓閉塞防止装置（SCD700）導入 | |
| | 3 | | | 読影支援システム（SYNAPSE）導入 | |
| | 3 | | | 3次元眼底像撮影装置（3D OCT1 Maestro）導入 | |
| | 3 | | | 心臓運動負荷モニタリングシステム（MLX-1000 Mulex）導入 | |

# 医療法人誠和会　沿革

| 年 | 月 | 日 | 倉敷紀念病院 | | 介護部門 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 7 | | | | 体力アップ健幸教室<br>（平成28年度倉敷市介護予防サービスモデル事業） |
| | 8 | | | 生体情報モニタ　DS-8100N　導入 | デイサービスせいわ　改修工事 |
| | 9 | | | デジタルX線TVシステム　更新（Raffine-i） | |
| | 10 | | 一般病棟入院基本料（7対1）から（10対1）へ変更 | | デイサービスせいわ（定員45名） |
| | 10 | | | | せいわ介護サービスセンター　特定事業所加算Ⅱ　承認 |
| | 12 | | | 外来　感染対応スペース　整備 | |
| 29 | 2 | | | | 福寿荘　介護ロボット　ケアロボ3台　導入<br>（平成28年度倉敷市介護ロボット等導入支援事業） |
| | 3 | | 地域包括ケア病床8床（一般病床ベース）を療養病棟へ変更 | | |
| | 4 | | 療養病棟のうち8床を地域包括ケア病床（療養病床ベース）に変更 | | |
| | 5 | | | 鼻咽喉スコープ　DICOM変換機（VT318D）　導入 | 福寿荘　公用車　エブリィワゴン（福祉車両）　導入 |
| | | | | 4K外科手術用内視鏡システム（VISERA 4K UHD）　導入 | |
| | 6 | | 健活企業　認定 | 健診部　事務所移転工事 | 和　雨水タンク　導入 |
| | 7 | | 病院機能評価3rdG：Ver.1.1　認定 | 耳鼻科外来内装改修工事 | |
| | | | | 火災通報装置連動工事 | 火災通報装置連動工事 |
| | 8 | | | 磁気刺激装置（Pathleader）　導入 | |
| | 9 | | 倉敷第一病院　事業統合 | 倉敷紀念病院・倉敷第一病院　拠点間接続開始（サイボウズOffice10） | |
| | | | 24時間保育スタート | 経理部　TKC医療会計システムMX3クラウド　導入 | |
| | 10 | | 倉敷第一病院事業統合記念式典 | | 通所型短期集中予防サービス（健幸教室）　開設 |
| | 11 | | | 鼻咽喉スコープ　動画システム　VTブラウザ　導入 | |
| 30 | 1 | | | 倉敷紀念病院・倉敷第一病院　拠点間接続開始（電子カルテ） | 福寿荘　在宅強化型老健施設　承認 |
| | 2 | | | | 訪問看護ステーション　訪問看護支援サービス　iBow　導入（クラウド） |
| | | | | | 介護保険インターネット請求　開始 |
| | 3 | | | デジタルX線画像診断システム（FDR CALNEO smart）　導入 | |
| | 5 | | ロゴマークデザイン制定 | | |
| | 7 | | 訪問リハビリテーション（みなし事業所）　開設 | | |
| | 8 | | | | 福寿荘　在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅱ　承認（超強化型老健） |

## 職員数

**職種別人数**(平成 30 年 3 月 31 日現在)

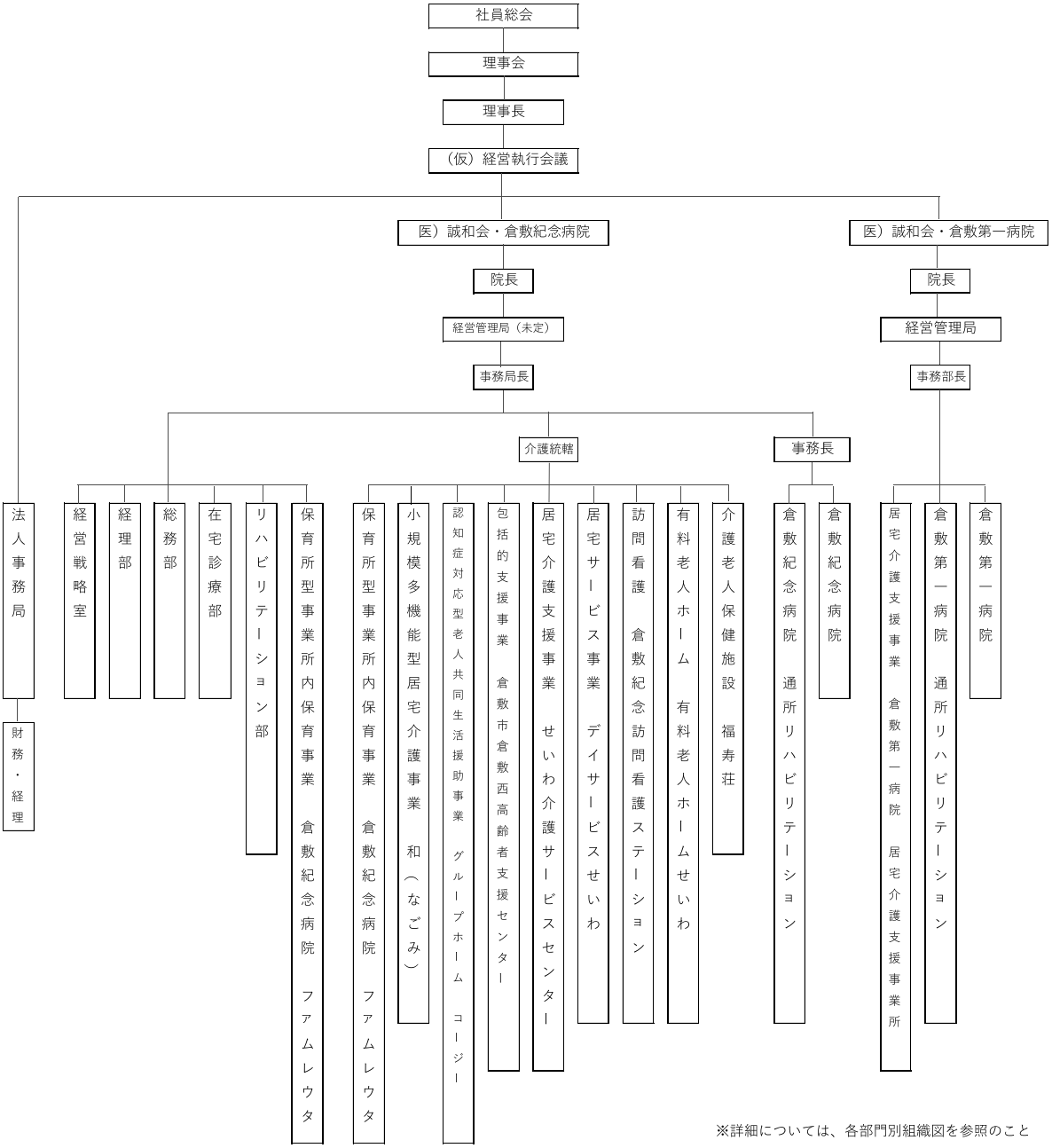
| 職種 | 人数(人) |
|---|---|
| 医師 | 21 |
| 看護師 | 170 |
| 薬剤師 | 8 |
| 管理栄養士 | 5 |
| 診療放射線技師 | 6 |
| 臨床検査技師 | 7 |
| 臨床工学技士 | 1 |
| 理学療法士 | 33 |
| 作業療法士 | 26 |
| 言語聴覚士 | 8 |
| 歯科衛生士 | 2 |
| 視能訓練士 | 1 |
| 音楽療法士 | 1 |
| リハビリ助手 | 1 |
| 介護福祉士 | 153 |
| 介護士 | 36 |
| 社会福祉士 | 8 |
| 相談員 | 7 |
| 介護支援専門員 | 16 |
| クラーク | 6 |
| 事務員 | 46 |
| 用務員 | 2 |
| 送迎運転手 | 12 |
| 合計 | 576 |

※非常勤を含む

# 組織図

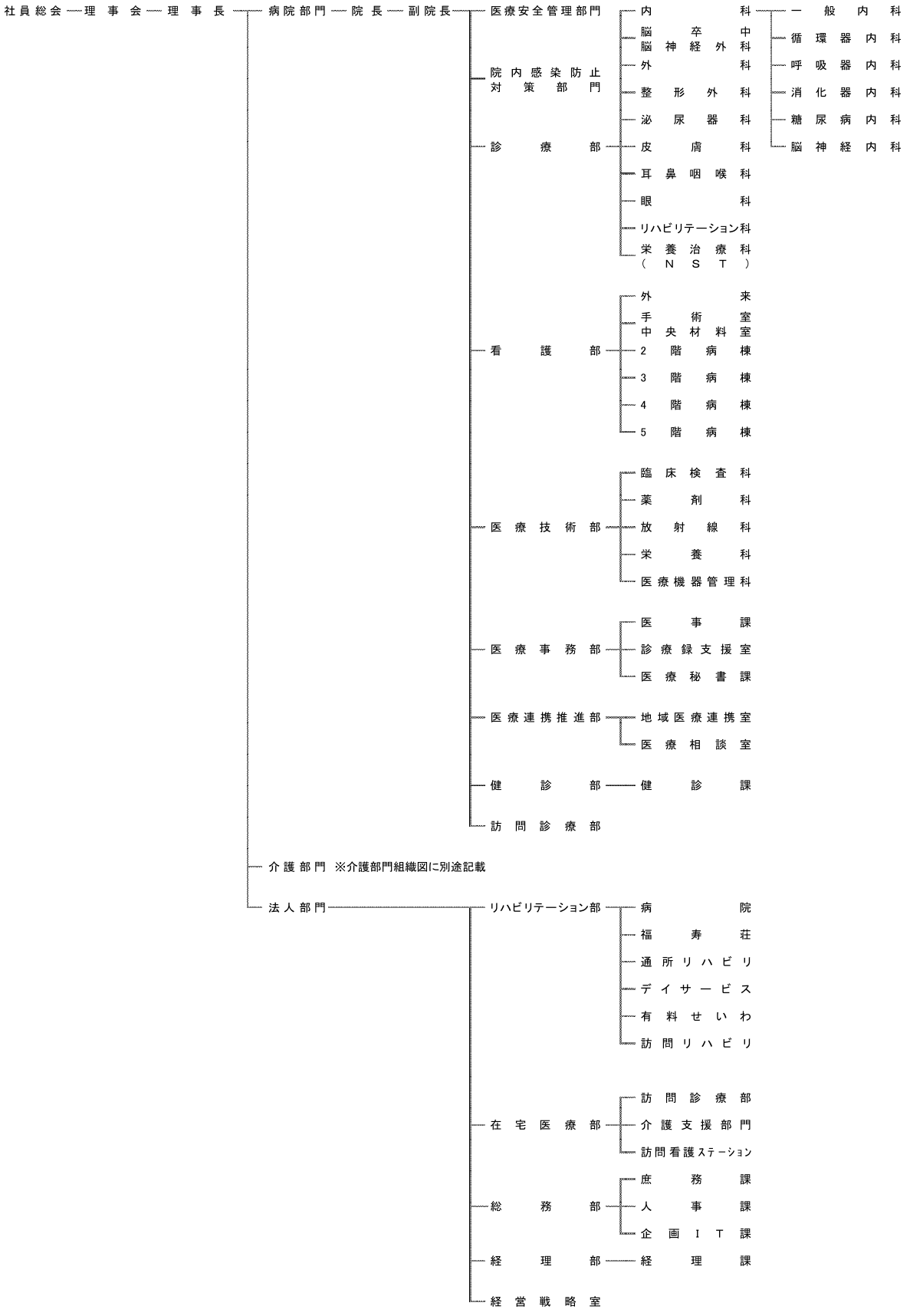
H29.11.6

## 医療法人誠和会

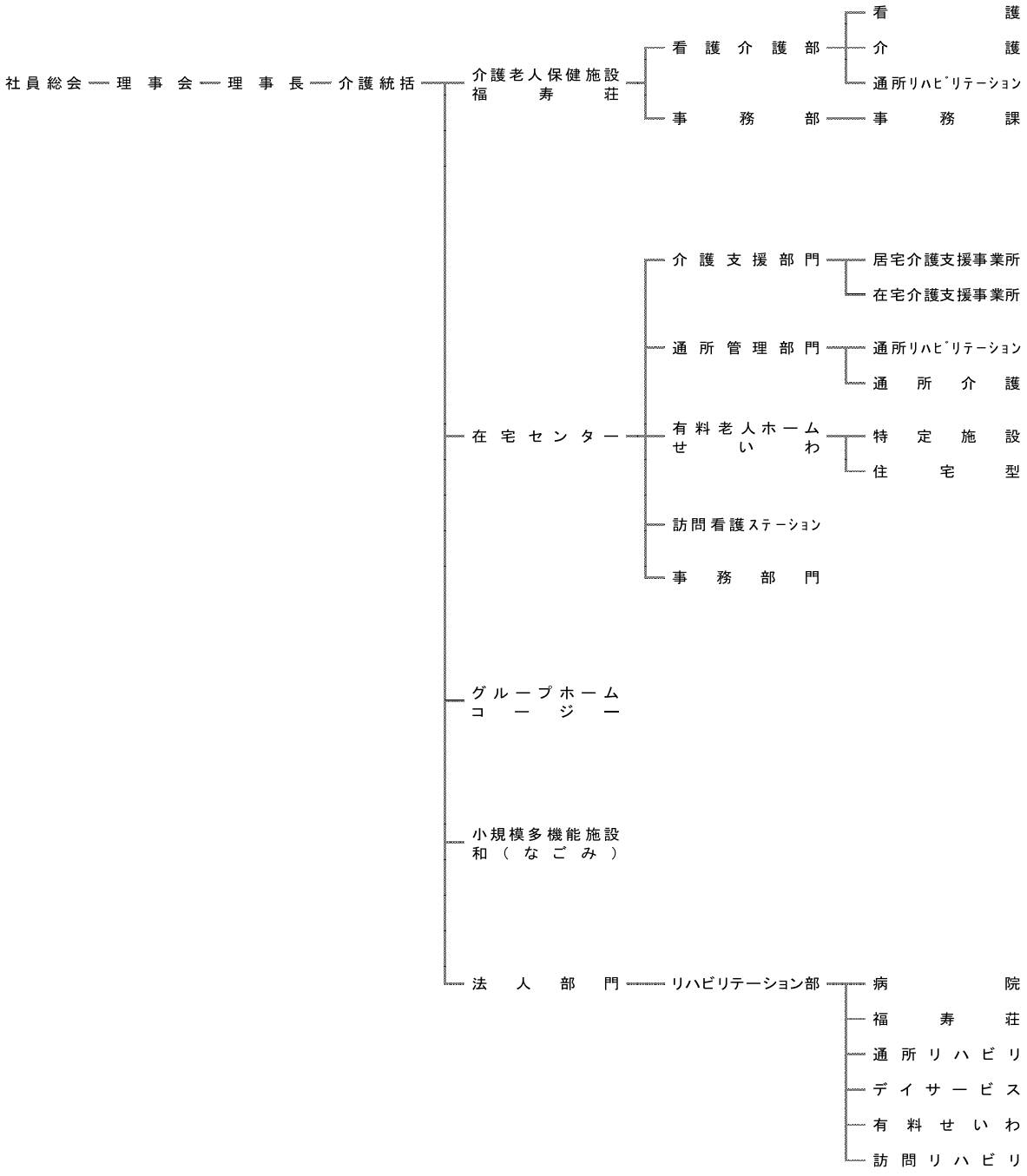



※詳細については、各部門別組織図を参照のこと

# 倉敷紀念病院

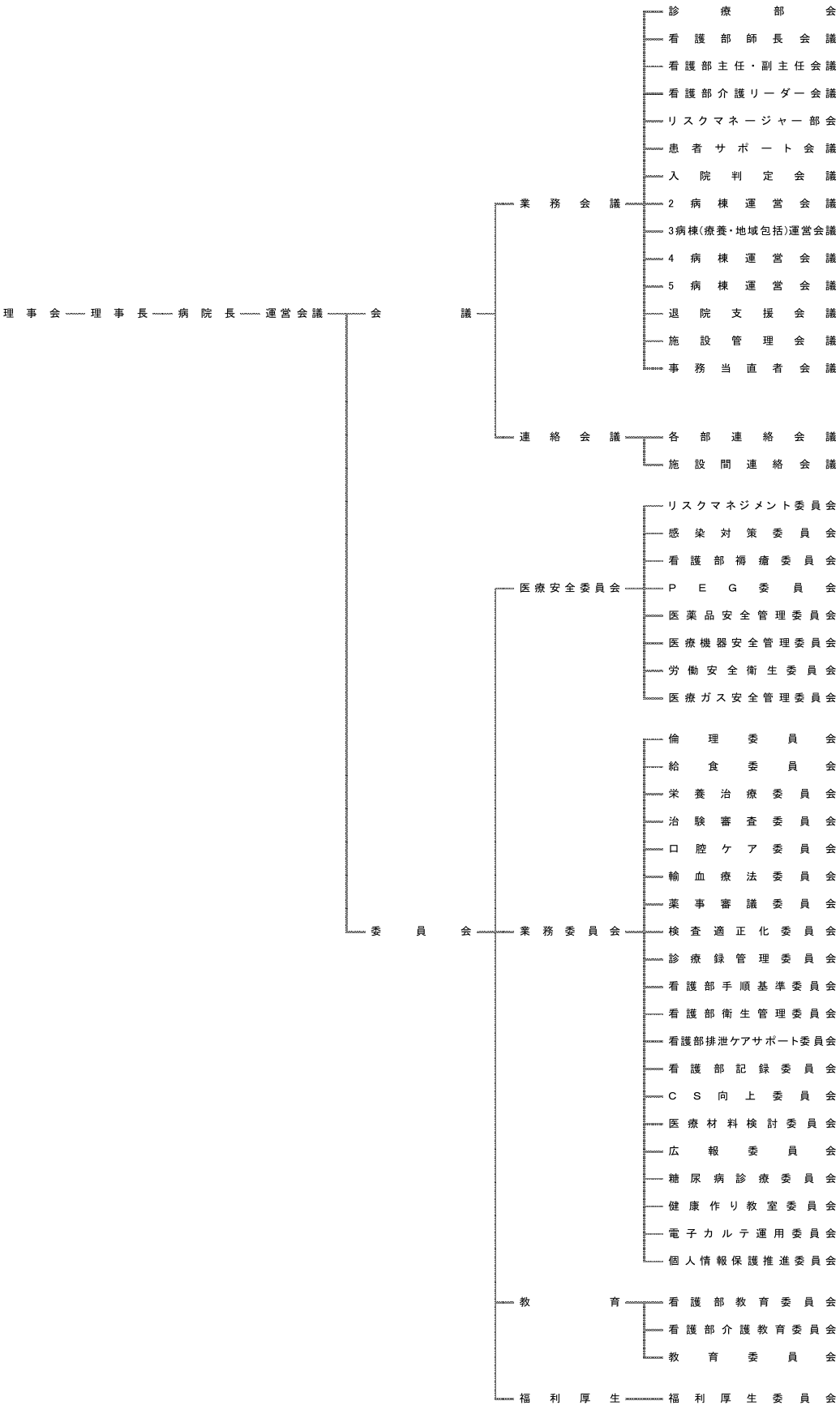

社員総会
理事会
理事長
病院部門
院長
副院長
医療安全管理部門
院内感染防止対策部門
診療部
内科
一般内科
脳卒中
循環器内科
脳神経外科
呼吸器内科
外科
消化器内科
整形外科
糖尿病内科
泌尿器科
脳神経内科
皮膚科
耳鼻咽喉科
眼科
リハビリテーション科
栄養治療科（ＮＳＴ）
看護部
外来
手術室
中央材料室
2階病棟
3階病棟
4階病棟
5階病棟
医療技術部
臨床検査科
薬剤科
放射線科
栄養科
医療機器管理科
医療事務部
医事課
診療録支援室
医療秘書課
医療連携推進部
地域医療連携室
医療相談室
健診部
健診課
訪問診療部
介護部門 ※介護部門組織図に別途記載
法人部門
リハビリテーション部
病院
福寿荘
通所リハビリ
デイサービス
有料せいわ
訪問リハビリ
在宅医療部
訪問診療部
介護支援部門
訪問看護ステーション
総務部
庶務課
人事課
企画ＩＴ課
経理部
経理課
経営戦略室

# 介護部門

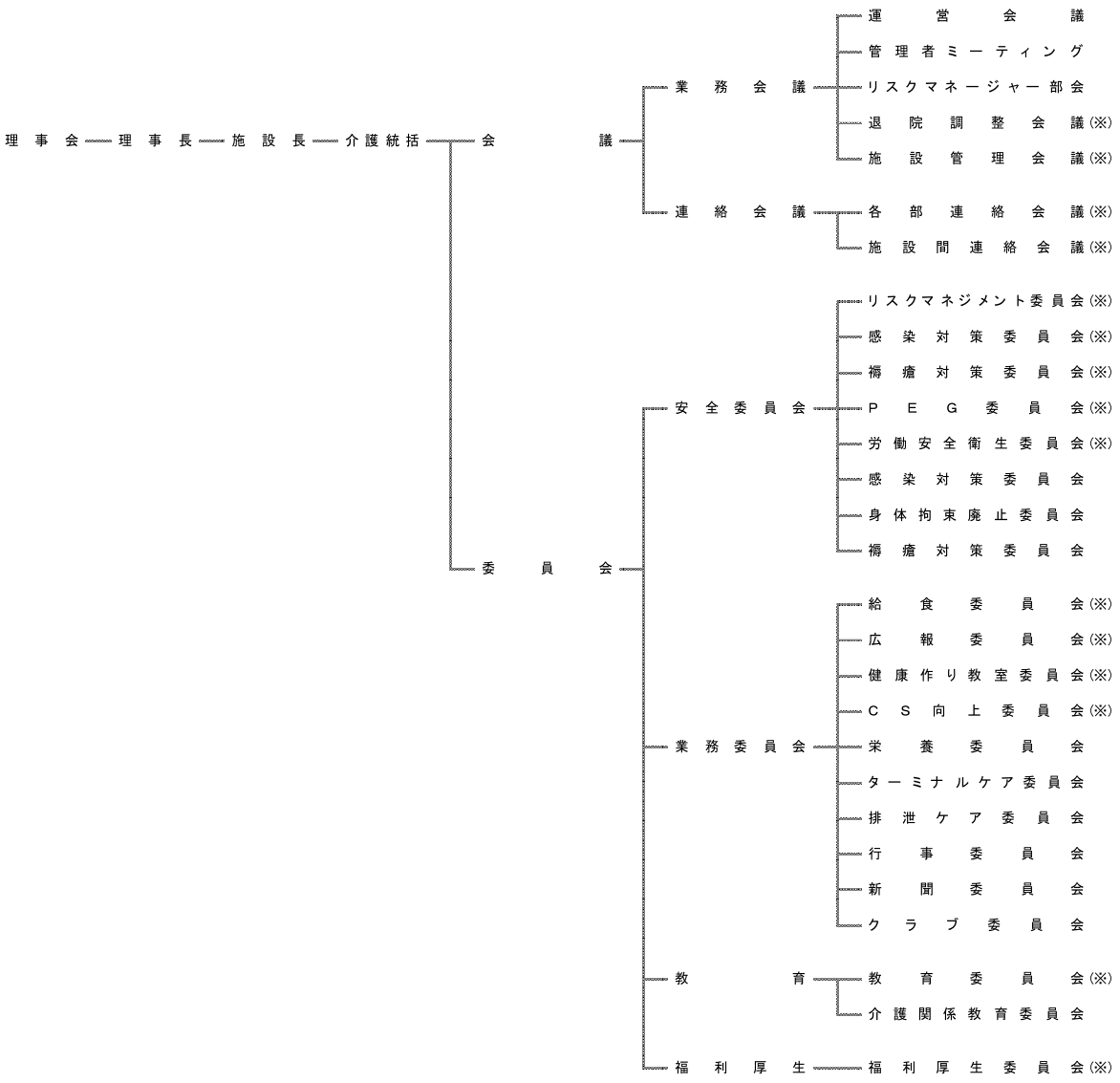

社員総会
理事会
理事長
介護統括
介護老人保健施設
福寿荘
看護介護部
看護
介護
通所リハビリテーション
事務部
事務課
在宅センター
介護支援部門
居宅介護支援事業所
在宅介護支援事業所
通所管理部門
通所リハビリテーション
通所介護
有料老人ホーム
せいわ
特定施設
住宅型
訪問看護ステーション
事務部門
グループホーム
コージー
小規模多機能施設
和（なごみ）
法人部門
リハビリテーション部
病院
福寿荘
通所リハビリ
デイサービス
有料せいわ
訪問リハビリ

## 会議・委員会　組織図

### 倉敷紀念病院　会議・委員会

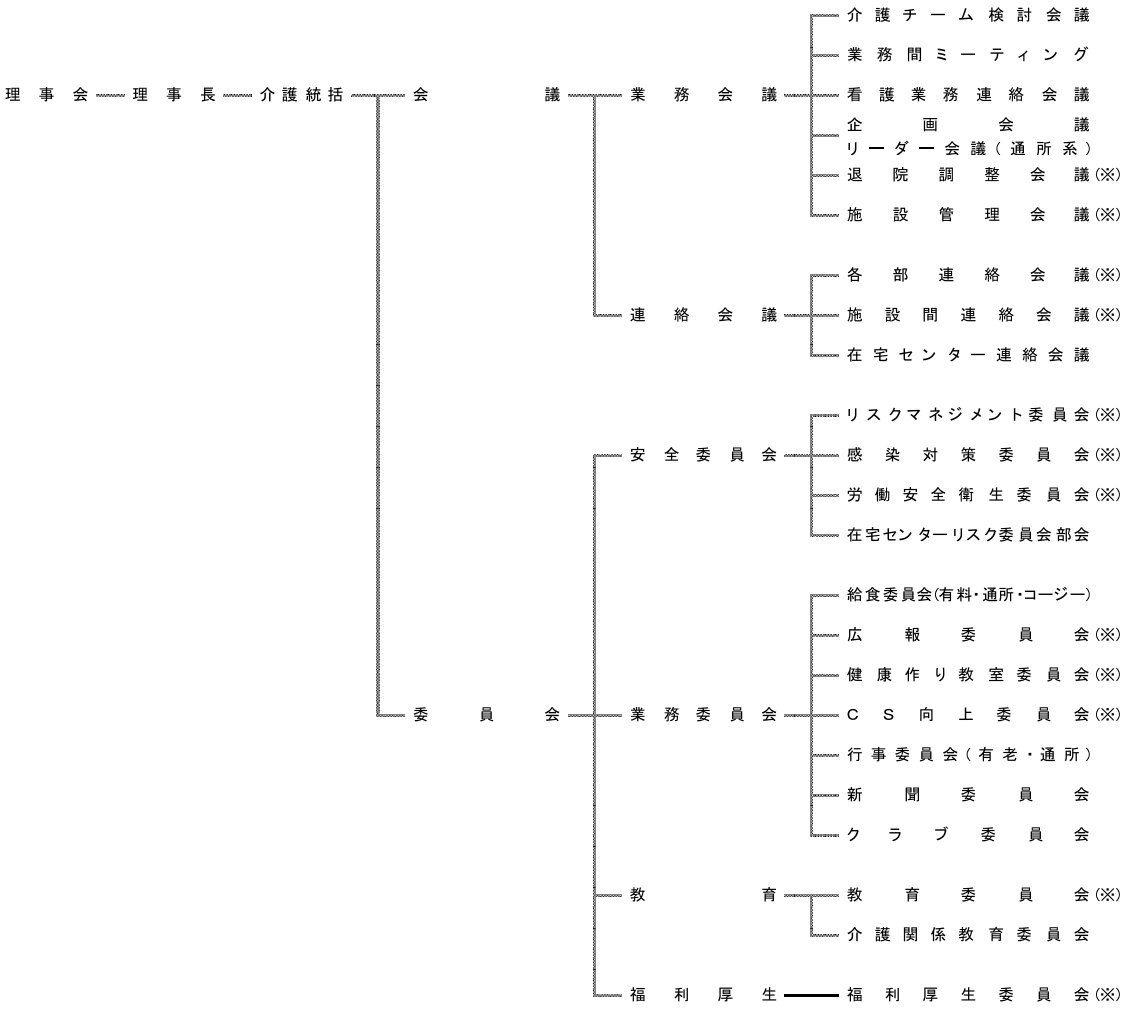


# 介護老人保健施設福寿荘　会議・委員会



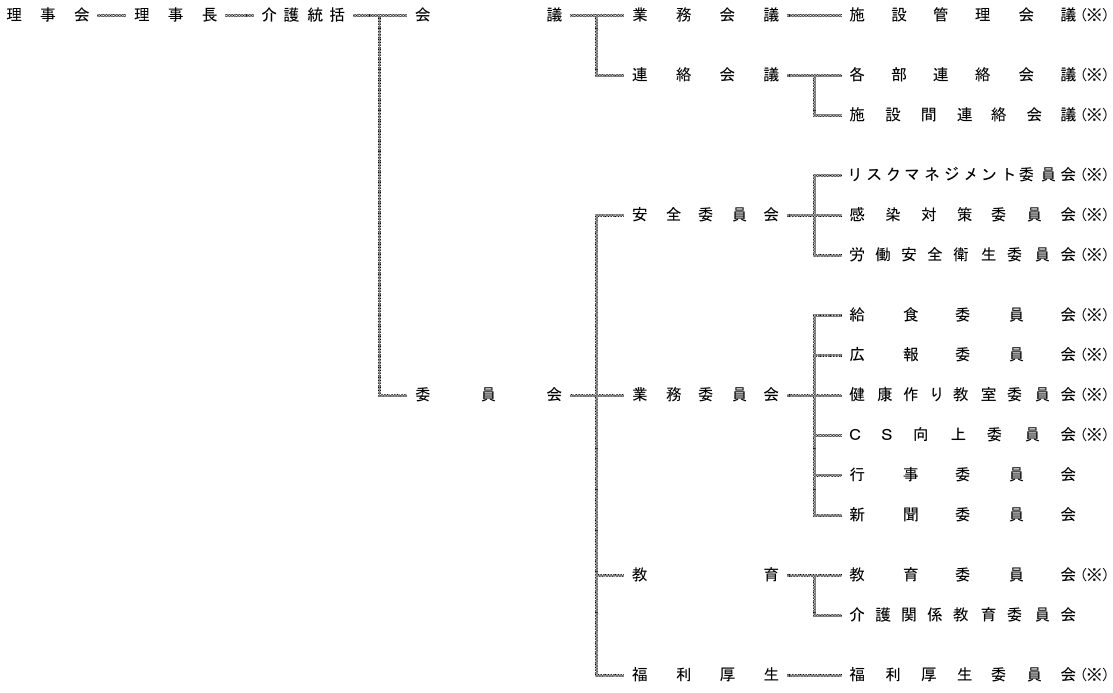

(※)は、医療法人誠和会で共通のもの

# 誠和会在宅センター　会議・委員会




(※)は、医療法人誠和会で共通のもの

# グループホームコージー・小規模多機能和　会議・委員会




(※)は、医療法人誠和会で共通のもの

# 統計資料

# 検査科

## 1. 2017 年度(H29 年度)検体検査

| H27 年度 | | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生化学 | HITACHI 7180 | 2,194 | 2,368 | 2,298 | 2,341 | 2,220 | 2,296 | 2,360 | 2,324 | 2,261 | 2,261 | 2,126 | 2,243 | 27,292 |
| | HLC723G11 | 712 | 720 | 737 | 738 | 696 | 728 | 737 | 740 | 696 | 665 | 592 | 619 | 8,380 |
| | 生化学 その他 | 18 | 17 | 19 | 18 | 14 | 17 | 25 | 23 | 32 | 41 | 31 | 27 | 282 |
| 血液 | XT-2000i | 1,062 | 1,102 | 1,096 | 1,097 | 1,033 | 1,077 | 1,157 | 1,106 | 1,089 | 1,101 | 1,037 | 1,080 | 13,037 |
| | 目視 | 135 | 117 | 124 | 137 | 122 | 170 | 143 | 154 | 139 | 167 | 136 | 155 | 1,699 |
| | COAGTORON | 122 | 127 | 125 | 134 | 137 | 125 | 163 | 151 | 147 | 139 | 131 | 133 | 1,634 |
| | 血液 その他合計 | 41 | 32 | 25 | 26 | 30 | 32 | 35 | 20 | 40 | 37 | 24 | 23 | 365 |
| 免疫 | AIA600Ⅱ | 365 | 378 | 365 | 378 | 333 | 357 | 397 | 352 | 351 | 382 | 404 | 479 | 4,541 |
| | 免疫 その他合計 | 91 | 83 | 83 | 81 | 88 | 101 | 83 | 84 | 100 | 103 | 119 | 95 | 1,111 |
| 尿 | US2200 | 818 | 913 | 939 | 916 | 851 | 907 | 1,095 | 1,033 | 934 | 874 | 800 | 772 | 10,852 |
| | 沈渣 | 471 | 508 | 468 | 458 | 494 | 507 | 561 | 531 | 525 | 488 | 470 | 423 | 5,904 |
| | 尿 その他合計 | 18 | 16 | 22 | 10 | 25 | 19 | 17 | 24 | 13 | 11 | 8 | 8 | 191 |
| 一般 | OC-SENSOR io | 206 | 270 | 363 | 336 | 257 | 236 | 354 | 372 | 169 | 163 | 108 | 135 | 2,969 |
| | 一般 その他合計 | 93 | 99 | 35 | 38 | 37 | 104 | 74 | 71 | 143 | 333 | 370 | 146 | 1,543 |
| 輸血 | 不規則抗体 | 12 | 4 | 4 | 4 | 8 | 6 | 9 | 5 | 4 | 9 | 6 | 4 | 75 |
| | 実施のべ人数 | 12 | 4 | 4 | 4 | 8 | 6 | 10 | 5 | 4 | 9 | 6 | 4 | 76 |

検体数を計算しています

2017.10.2 よりＤダイマー院内測定開始(COAGTORON)

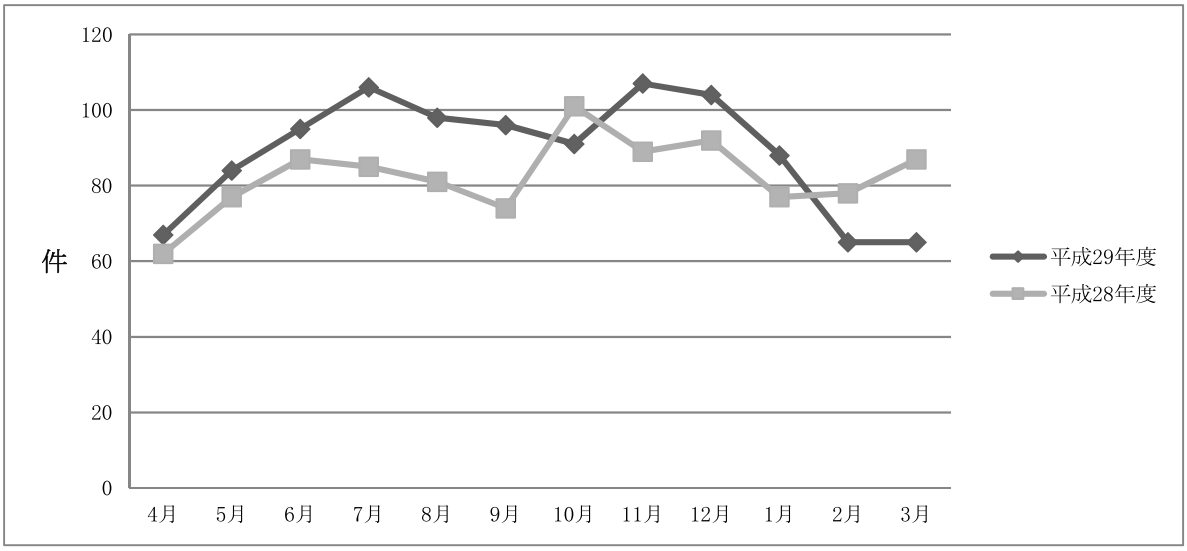
## 2. 2016 年度(H28 年度)生理機能検査

| | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 心電図検査<br>(R-R 含む) | 363 | 402 | 508 | 449 | 397 | 423 | 526 | 514 | 442 | 405 | 421 | 436 | 5,286 |
| 負荷心電図 | 13 | 11 | 6 | 3 | 3 | 9 | 18 | 11 | 5 | 7 | 5 | 18 | 109 |
| ホルター心電図 | 8 | 9 | 2 | 10 | 4 | 6 | 11 | 5 | 8 | 4 | 2 | 8 | 77 |
| 脈波伝達速度 | 4 | 13 | 20 | 29 | 20 | 10 | 11 | 18 | 18 | 19 | 12 | 12 | 186 |
| 腹部超音波検査 | 30 | 79 | 82 | 82 | 85 | 101 | 96 | 82 | 65 | 60 | 64 | 65 | 891 |
| 心臓超音波検査 | 14 | 22 | 16 | 15 | 15 | 19 | 17 | 18 | 27 | 17 | 26 | 26 | 232 |
| 頸動脈超音波検査 | 15 | 11 | 11 | 12 | 10 | 11 | 10 | 4 | 4 | 11 | 10 | 8 | 117 |
| 甲状腺超音波検査 | 6 | 7 | 6 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 4 | 2 | 3 | 0 | 39 |
| 下肢静脈超音波検査 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 3 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 23 |
| 脳波 | 4 | 6 | 3 | 1 | 7 | 4 | 4 | 4 | 3 | 7 | 4 | 9 | 56 |
| 神経・筋機能検査 | 6 | 2 | 10 | 4 | 8 | 18 | 16 | 2 | 3 | 0 | 2 | 0 | 71 |
| 眼底・眼圧 | 38 | 76 | 105 | 89 | 99 | 97 | 135 | 99 | 86 | 70 | 38 | 39 | 971 |
| 肺機能検査 | 26 | 18 | 23 | 33 | 46 | 40 | 49 | 32 | 28 | 26 | 22 | 16 | 359 |
| 睡眠時検査 | 5 | 6 | 9 | 6 | 2 | 5 | 4 | 2 | 2 | 3 | 1 | 2 | 47 |
| 耳鼻科関連検査 | 23 | 39 | 56 | 49 | 35 | 38 | 47 | 30 | 36 | 43 | 23 | 36 | 455 |

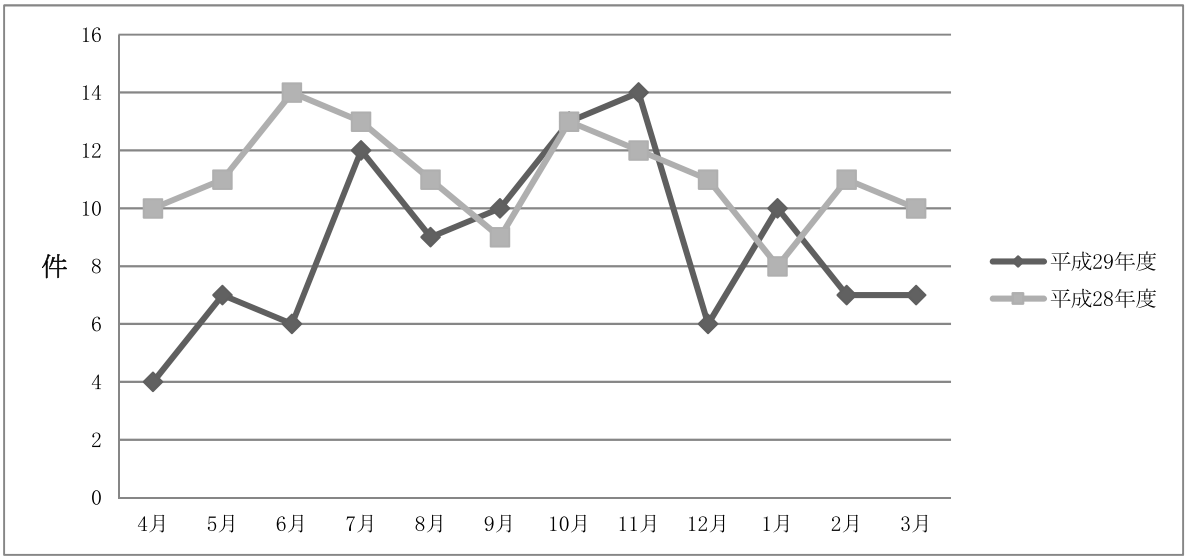
健診の件数も含む

# 内視鏡

1.　胃･十二指腸内視鏡　実施件数



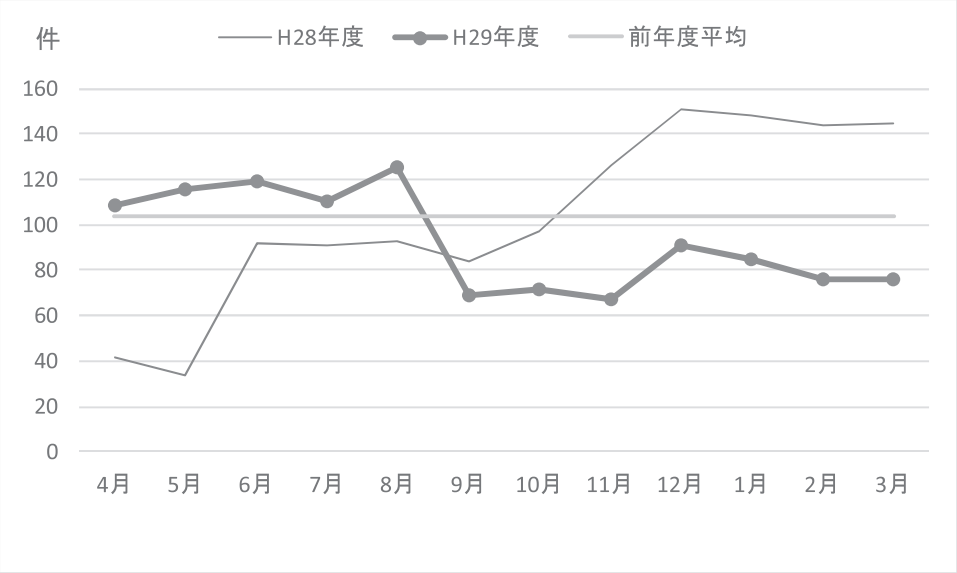

2.　大腸内視鏡　実施件数



# 薬剤科

**薬剤管理指導件数**　　380 点、325 点　　1,115 件

※ 2 病棟（50 床）・療養病棟（38 床）対象




退院時薬剤情報管理指導料（退院時に算定）　　90 点　　315 件

※ 2 病棟（50 床）・療養病棟（38 床）対象

病棟薬剤業務実施加算(入院基本料への加算)　　100 点 /　週 1 回

※ 2 病棟（50 床）・療養病棟（38 床）対象

薬剤総合評価調整加算（入院　退院時に 1 回）　　250 点　　27 件

※ 2 病棟（50 床）・療養病棟（38 床）・回復期リハビリ病棟（50 床）対象

入院中の患者について、入院前に 6 種類以上の内服薬（特に規定するものを除く。）が処方されていた患者について、当該処方の内容を総合的に評価及び調整し、当該患者の退院時に処方する内服薬が 2 種類以上減少した場合、退院時 1 回に限り所定点数に加算する。

薬剤総合評価調整管理料（外来）　　250 点　　2 件

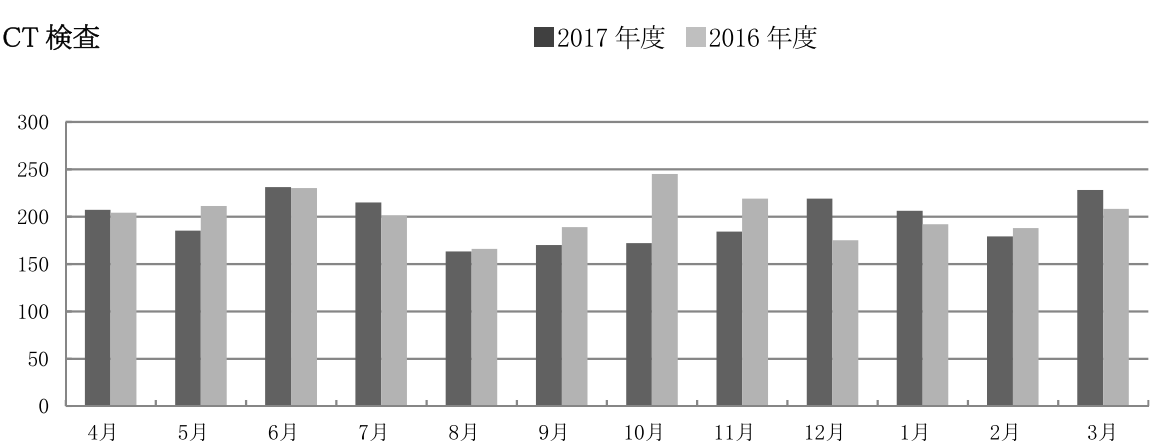
入院中の患者以外の患者であって、6 種類以上の内服薬（特に規定するものを除く。）が処方されていたものについて、当該処方の内容を総合的に評価及び 調整し、当該患者に処方する内服薬が 2 種類以上減少した場合に、月 1 回に限り所定点数を算定する。

# 放射線科

## 1. CT　検査件数

| | CT | | | | | 前年比較 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 外来 | 病棟 | 健診 | 福寿 | 計 | 前年 | 前年比 | 増減 |
| 4 月 | 123 | 79 | 1 | 4 | 207 | 204 | 101.5% | 3 |
| 5 月 | 112 | 62 | 4 | 7 | 185 | 211 | 87.7% | -26 |
| 6 月 | 152 | 65 | 6 | 8 | 231 | 230 | 100.4% | 1 |
| 7 月 | 125 | 80 | 3 | 7 | 215 | 201 | 107.0% | 14 |
| 8 月 | 89 | 64 | 3 | 7 | 163 | 166 | 98.2% | -3 |
| 9 月 | 108 | 59 | 1 | 2 | 170 | 189 | 89.9% | -19 |
| 10 月 | 104 | 64 | 1 | 3 | 172 | 245 | 70.2% | -73 |
| 11 月 | 108 | 70 | 2 | 4 | 184 | 219 | 84.0% | -35 |
| 12 月 | 143 | 71 | 1 | 4 | 219 | 175 | 125.1% | 44 |
| 1 月 | 130 | 70 | 1 | 5 | 206 | 192 | 107.3% | 14 |
| 2 月 | 120 | 58 | 1 | 0 | 179 | 188 | 95.2% | -9 |
| 3 月 | 148 | 70 | 5 | 5 | 228 | 208 | 109.6% | 20 |
| 合　計 | 1,462 | 812 | 29 | 56 | 2,359 | 2,428 | 97.2% | -69 |

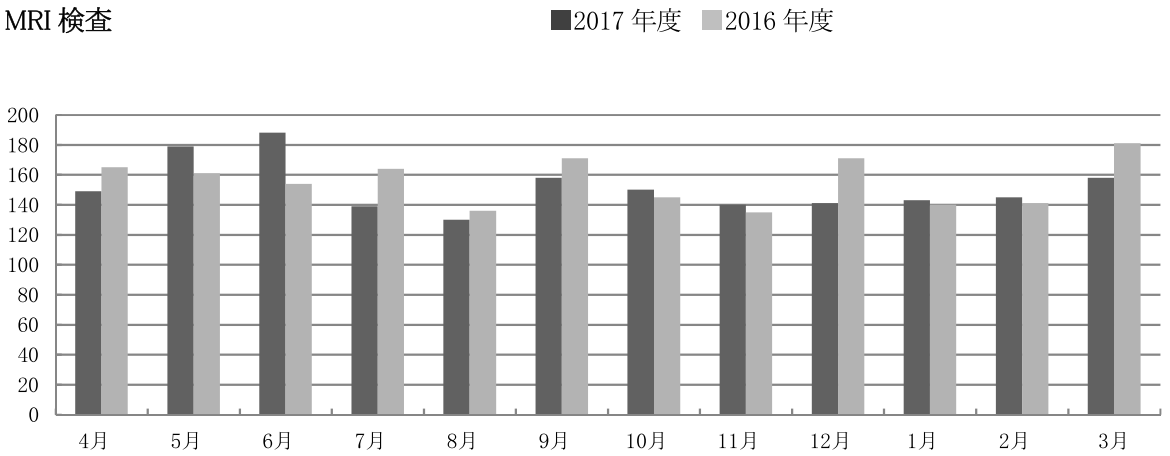
CT 検査



## 2. MRI 検査件数

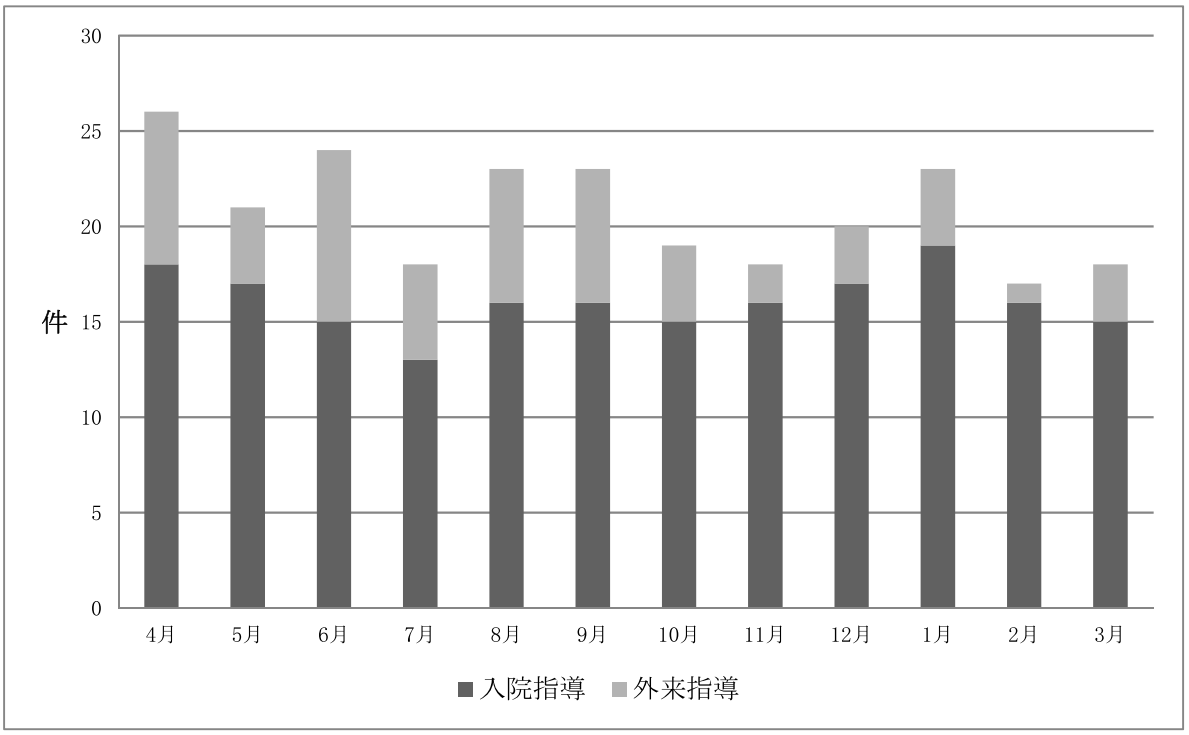
| | MRI | | | | | 前年比較 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 外来 | 病棟 | 健診 | 福寿 | 計 | 前年 | 前年比 | 増減 |
| 4 月 | 113 | 35 | 1 | 0 | 149 | 165 | 90.3% | -16 |
| 5 月 | 146 | 30 | 3 | 0 | 179 | 161 | 111.2% | 18 |
| 6 月 | 144 | 39 | 4 | 1 | 188 | 154 | 122.1% | 34 |
| 7 月 | 109 | 22 | 8 | 0 | 139 | 164 | 84.8% | -25 |
| 8 月 | 101 | 24 | 5 | 0 | 130 | 136 | 95.6% | -6 |
| 9 月 | 129 | 27 | 2 | 0 | 158 | 171 | 92.4% | -13 |
| 10 月 | 128 | 20 | 2 | 0 | 150 | 145 | 103.4% | 5 |
| 11 月 | 108 | 27 | 5 | 0 | 140 | 135 | 103.7% | 5 |
| 12 月 | 107 | 31 | 3 | 0 | 141 | 171 | 82.5% | -30 |
| 1 月 | 112 | 27 | 4 | 0 | 143 | 140 | 102.1% | 3 |
| 2 月 | 114 | 31 | 0 | 0 | 145 | 141 | 102.8% | 4 |
| 3 月 | 123 | 30 | 5 | 0 | 158 | 181 | 87.3% | -23 |
| 合 計 | 1,434 | 343 | 42 | 1 | 1,820 | 1,864 | 97.6% | -44 |

MRI 検査

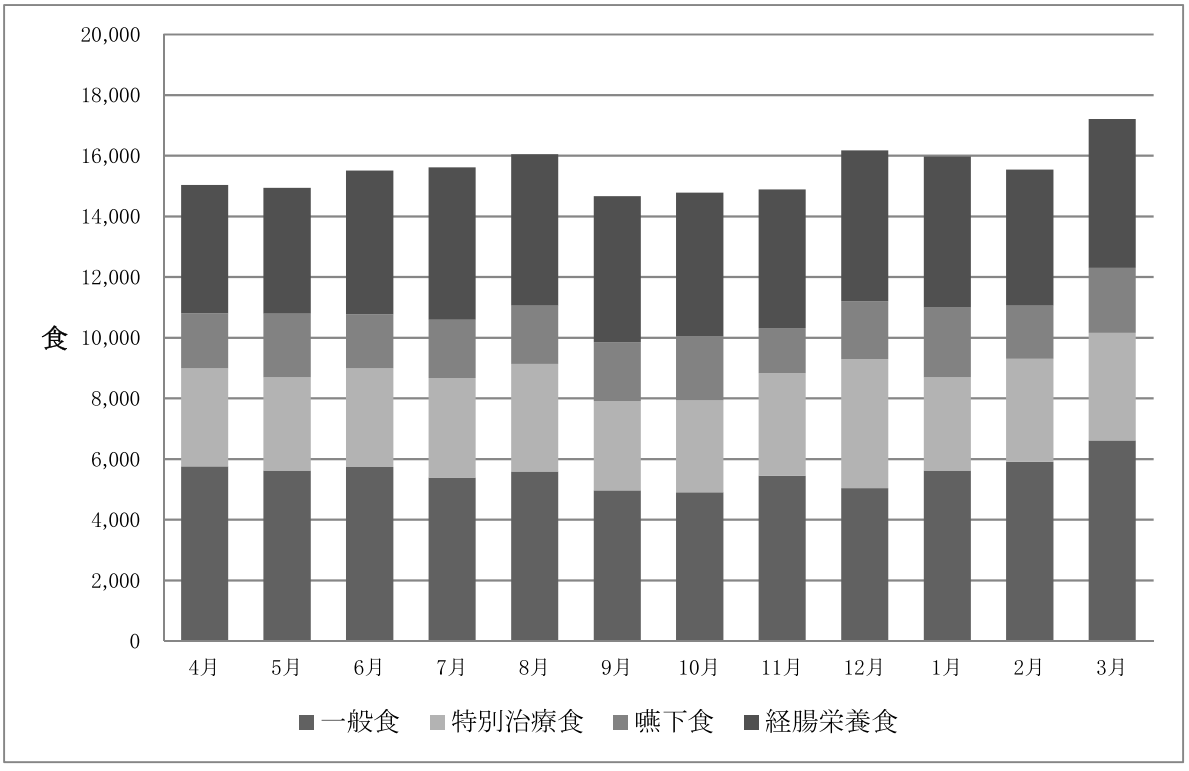


# 栄養科

## 1. 栄養指導件数




## 2. 提供食数 集計(一般食・特別治療食・経腸栄養食)



# リハビリテーション科

## 1. 回復期リハビリテーション病棟実績

| | | |
|---|---|---|
| 1 日平均提供単位数 | 6.0 | 単位 |
| 在宅復帰率 | 78.9 | % |
| 重症患者率 | 39.3 | % |
| 重症患者回復率 | 74.7 | % |
| 重症度、医療・看護必要度 | 9.4 | % |
| 実績指数 | 53.9 | |
| 平均在院日数 | 60.2 | 日 |

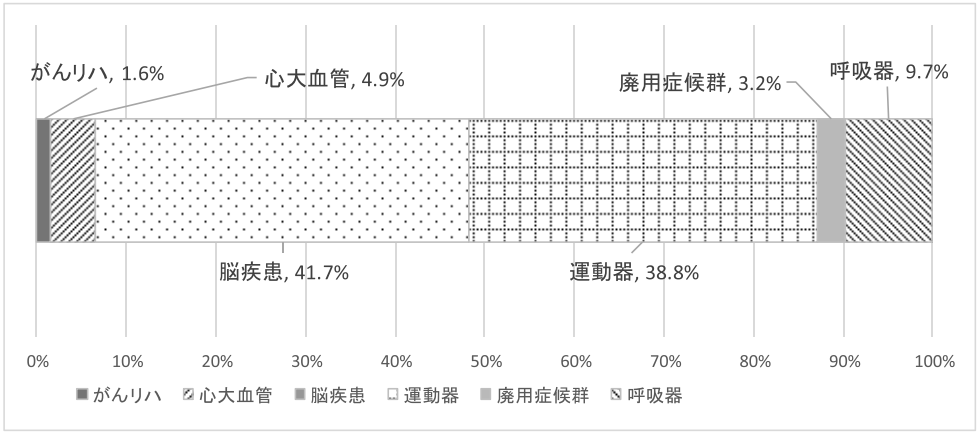
## 2. VF(嚥下造影検査) VE(嚥下内視鏡検査)

| 件数実績 | |
|---|---|
| VF | 167 件 |
| VE | 125 件 |
| 摂食機能療法 | 2114 件 |

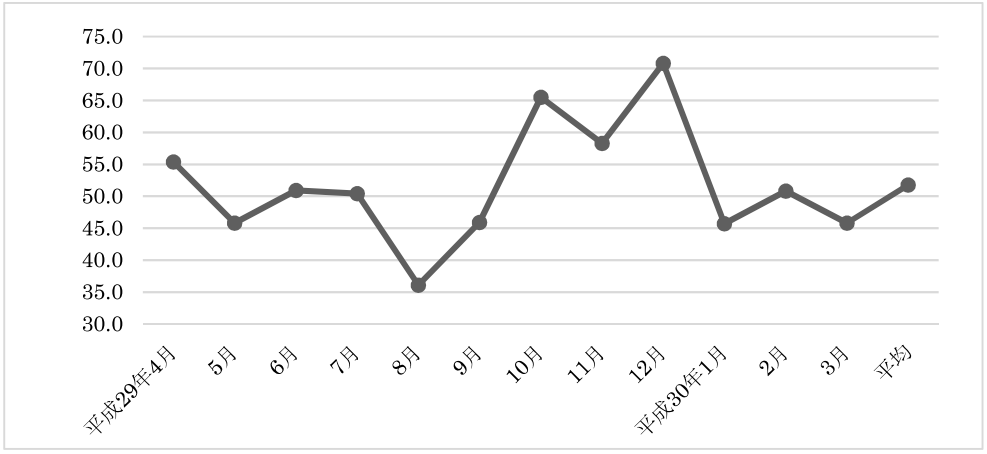
## 3. 算定リハビリテーション料

脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
運動器疾患リハビリテーション料Ⅰ
心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
がん患者リハビリテーション料

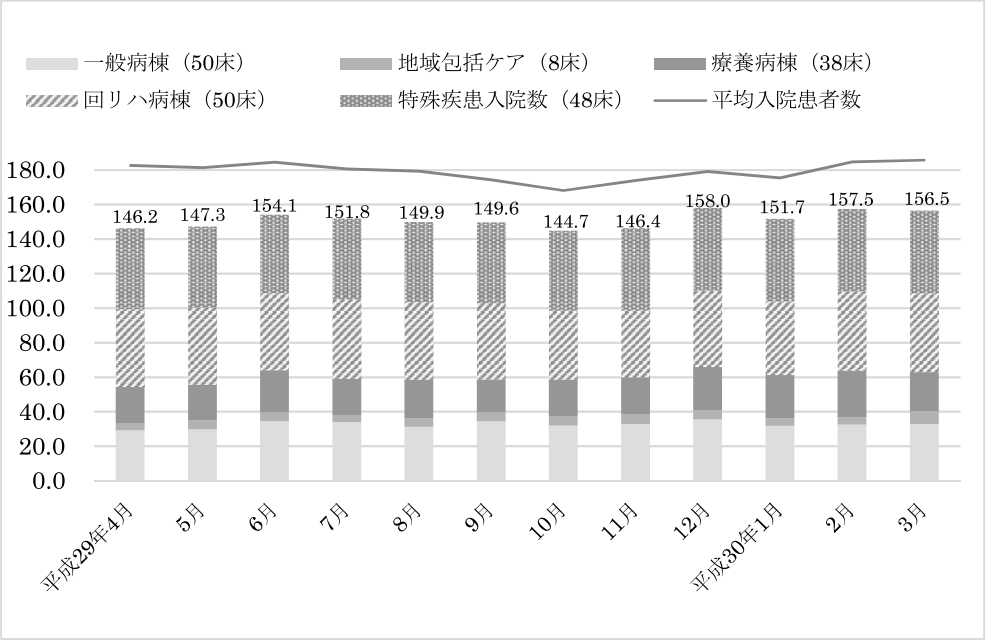
## 4. リハビリ実施患者の疾患別割合



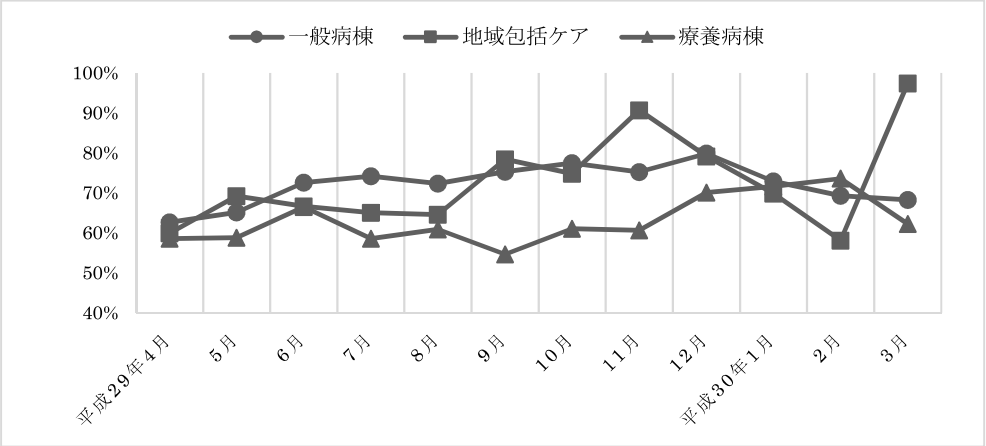

## 5. FIM 実績指数



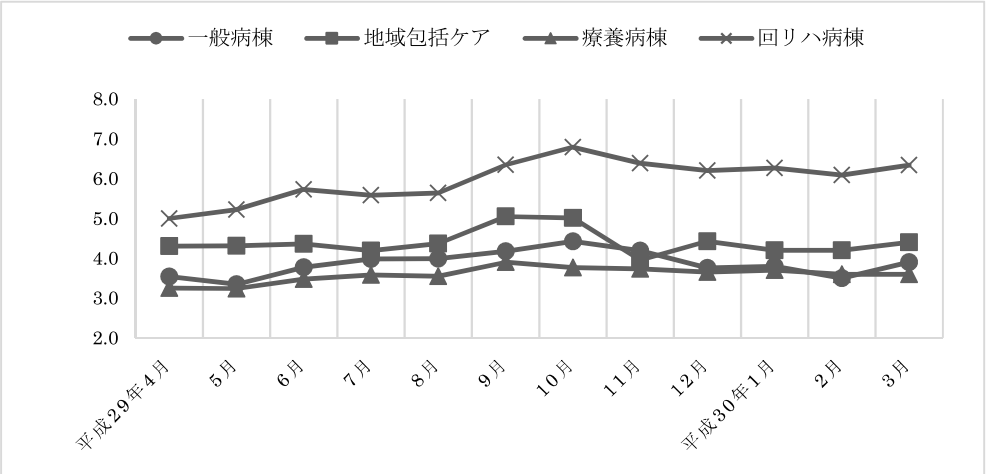
## 6.　リハビリ実施患者数（名）




## 7.　リハビリ対象患者の割合（%）




## 8.　1患者あたりの平均実施単位数（単位）



# 医事課

1. 倉敷紀念病院　統計

| | | |
|---|---|---|
| 1日平均外来患者数　※ | | 211.7 |
| 外来レセプト件数 | | 38,328 |
| 1日平均入院患者数 | | 179.2 |
| 一般病棟 | 平均入院患者数 | 45.2 |
| | 稼働率 | 90.4% |
| | 平均在院日数 | 17.3 |
| 地域包括ケア病棟 | 平均入院患者数 | 7.0 |
| | 稼働率 | 87.9% |
| | 平均在院日数 | 30.4 |
| 回リハ病棟 | 平均入院患者数 | 44.2 |
| | 稼働率 | 88.5% |
| | 平均在院日数 | 59.6 |
| 療養病棟 | 平均入院患者数 | 35.7 |
| | 稼働率 | 93.9% |
| | 平均在院日数 | 65.9 |
| 特殊疾患病棟 | 平均入院患者数 | 47.0 |
| | 稼働率 | 98.0% |
| | 平均在院日数 | 390.0 |
| 新患患者数 | | 4,672 |
| 救急搬入件数 | | 133 |
| 救急搬入件数(夜間・休日) | | 45 |
| 診療科別手術件数 | 耳鼻咽喉科 | 42 |
| | 整形外科 | 31 |
| 処方箋枚数 | 院内(外来) | 17,334 |
| | 院内(入院) | 19,037 |
| | 院外 | 34,119 |

※診療実日数平均

## 2. 疾患別退院患者 集計表

ICD10 国際疾病分類第 10 版(1992)

大分類一覧

| 章 | ICD コード | 分類見出し | 退院件数 | 死亡件数 | 総合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | A00~B99 | 感染症および寄生虫症 | 32 | 3 | 35 |
| 2 | C00~D48 | 新生物 | 63 | 44 | 107 |
| 3 | D50~D89 | 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 | 8 | | 8 |
| 4 | E00~E90 | 内分泌、栄養および代謝疾患 | 29 | 2 | 31 |
| 5 | F00~F99 | 精神および行動の障害 | 17 | 1 | 18 |
| 6 | G00~G99 | 神経系の疾患 | 47 | 8 | 55 |
| 7 | H00~H59 | 眼および付属器の疾患 | | | |
| 8 | H60~H95 | 耳および乳様突起の疾患 | 7 | 1 | 8 |
| 9 | I00~I99 | 循環器系の疾患 | 211 | 37 | 248 |
| 10 | J00~J99 | 呼吸器系の疾患 | 153 | 49 | 202 |
| 11 | K00~K93 | 消化器系の疾患 | 104 | 10 | 114 |
| 12 | L00～L99 | 皮膚および皮下組織の疾患 | 20 | | 20 |
| 13 | M00～M99 | 筋骨格系および結合組織の疾患 | 44 | | 44 |
| 14 | N00～N99 | 尿路性器系の疾患 | 41 | 2 | 43 |
| 15 | O00～O99 | 妊娠、分娩および産じょく | | | |
| 16 | P00～P96 | 周産期に発生した病態 | | | |
| 17 | Q00~Q99 | 先天奇形、変形および染色体異常 | | | |
| 18 | R00～R99 | 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの | 30 | 4 | 34 |
| 19 | S00～T98 | 損傷、中毒およびその他の外因の影響 | 193 | 2 | 195 |
| 20 | V00~Y98 | 傷病および死亡の外因 | 1 | | 1 |
| 21 | Z00～Z99 | 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 | 3 | | 3 |
| | | | 1,003 | 163 | 1,166 |

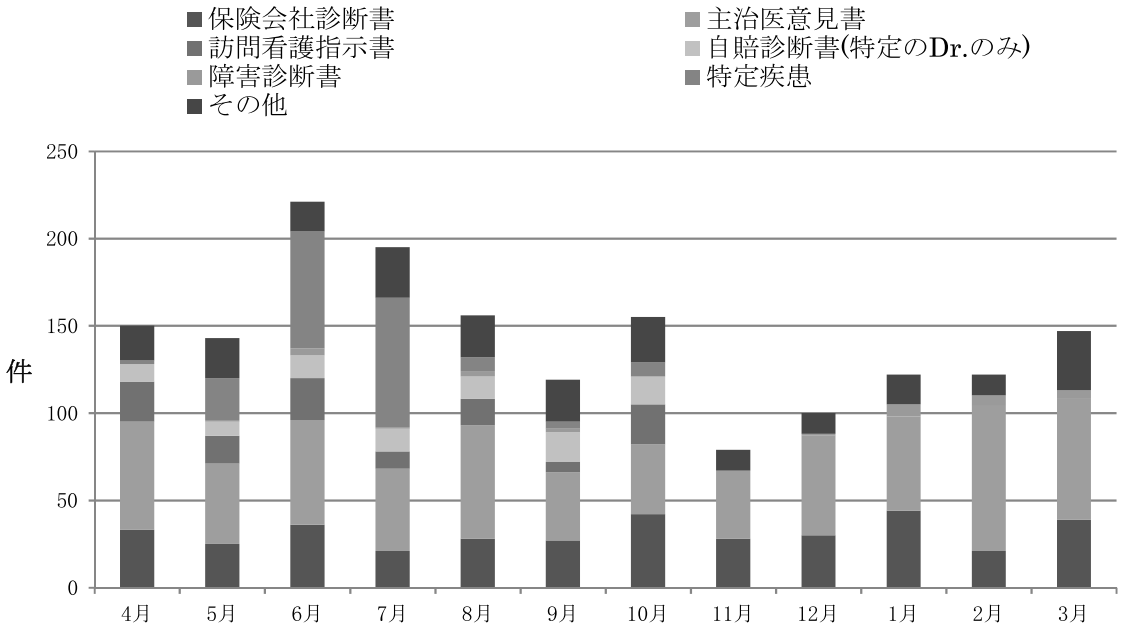
# 医療秘書課

## 書類作成状況

(単位：件)

| 預かり書類別件数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 総件数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 保険会社診断書 | 33 | 25 | 36 | 21 | 28 | 27 | 42 | 28 | 30 | 44 | 21 | 39 | 374 |
| 主治医意見書 | 62 | 46 | 60 | 47 | 65 | 39 | 40 | 39 | 57 | 54 | 83 | 69 | 661 |
| 訪問看護指示書※ | 23 | 16 | 24 | 10 | 15 | 6 | 23 | 0 | | | | | 117 |
| 自賠診断書※<br>(特定の Dr.のみ) | 10 | 8 | 13 | 13 | 13 | 17 | 16 | 0 | | | | | 90 |
| 障害診断書 | 0 | 1 | 4 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 1 | 7 | 6 | 5 | 30 |
| 特定疾患※ | 2 | 24 | 67 | 74 | 8 | 4 | 8 | 0 | | | | | 187 |
| その他 | 20 | 23 | 17 | 29 | 24 | 24 | 26 | 12 | 12 | 17 | 12 | 34 | 250 |
| 作成件数<br>(医療秘書課) | 150 | 143 | 221 | 195 | 156 | 119 | 155 | 79 | 100 | 122 | 122 | 147 | 1,709 |

※12 月より医事課で作成



# 地域医療連携室

## 1. 転院統計

紹介元別転院患者数

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 倉敷中央病院 | 24 | 25 | 23 | 19 | 23 | 28 | 19 | 26 | 32 | 26 | 34 | 25 | 304 |
| 川崎医科大学附属病院 | 5 | 1 | 3 | 3 | 1 | 3 | 4 | 5 | 3 | 5 | 6 | 5 | 44 |
| 松田病院 | 1 | | | 1 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 |
| 倉敷リバーサイド病院 | 1 | | | | | | | 1 | | | | | 2 |
| 岡山赤十字病院 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 |
| 津山中央病院 | 1 | | | | 1 | 1 | | | | | | | 3 |
| 倉敷成人病センター | | 1 | | | | | 1 | | | | | 3 | 5 |
| 美作市立大原病院 | | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| つばさクリニック | | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| 倉敷平成病院 | | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 8 |
| 岡山医療センター | | | | 1 | 1 | | | 1 | | | | | 3 |
| まび記念病院 | | | | 1 | | | | | | | | 1 | 2 |
| しげい病院 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 岡山リハビリテーション病院 | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 行徳総合病院(千葉県) | | | | | 1 | | | | | | | | 1 |
| 渡辺病院(新見市) | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 倉敷第一病院 | | | | | | 1 | 2 | 2 | 1 | | | | 6 |
| 岡山労災病院 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 2 |
| 岡山市民病院 | | | | | | | | 1 | | 1 | | | 2 |
| 児島聖康病院 | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 藤戸クリニック | | | | | | | | | 1 | | | | 1 |
| 高梁中央病院 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 岡山大学病院 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 水島協同病院 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| プライムホスピタル玉島 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 |
| 計 | 33 | 28 | 27 | 27 | 30 | 35 | 28 | 37 | 39 | 39 | 42 | 35 | 400 |

## 2. 倉敷中央病院からの転院患者数(内訳)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 脳外・脳卒 | 6 | 8 | 6 | 7 | 6 | 7 | 3 | 7 | 9 | 5 | 3 | 9 | 76 |
| 呼吸器内/外 | 2 | 5 | 2 | 2 | 6 | 3 | 2 | 2 | 7 | 2 | 4 | 1 | 38 |
| 消化器 | 3 | 2 | 1 | 1 | | 3 | 1 | 5 | 2 | 4 | 4 | 4 | 30 |
| 整形 | 5 | 3 | 5 | 2 | 2 | | 1 | 3 | 3 | 3 | 2 | 1 | 30 |
| 循環器 | 3 | 4 | 4 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 7 | 3 | 35 |
| 外/心外 | | | | 3 | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 17 |
| 救急 | | 1 | 1 | 1 | | 4 | 2 | 3 | 1 | 3 | 5 | 2 | 23 |
| 神内 | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | | 3 |
| 内科 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | | 1 | 2 | 1 | 13 |
| 耳鼻科・頚部外科 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | 1 | | | | | | 5 |
| 血内 | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | | | | | | 4 |
| 総合診療科 | | | | | 1 | | | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| 糖尿病・内分泌 | 1 | | | | | | 1 | | | 1 | | 1 | 4 |
| 形成 | | | | | | | 2 | | | | 1 | | 3 |
| 泌尿器科 | | 1 | | | | | 1 | | 2 | 3 | 2 | | 9 |
| 腎内 | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 2 |
| 消化器外科 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| リウマチ・膠原病科 | | | | | | 1 | | 1 | | | 1 | | 3 |
| 皮膚科 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 |
| 合計 | 24 | 25 | 23 | 19 | 23 | 28 | 19 | 26 | 32 | 26 | 34 | 25 | 304 |

# 健診部

## 1.健康診断受診者　推移

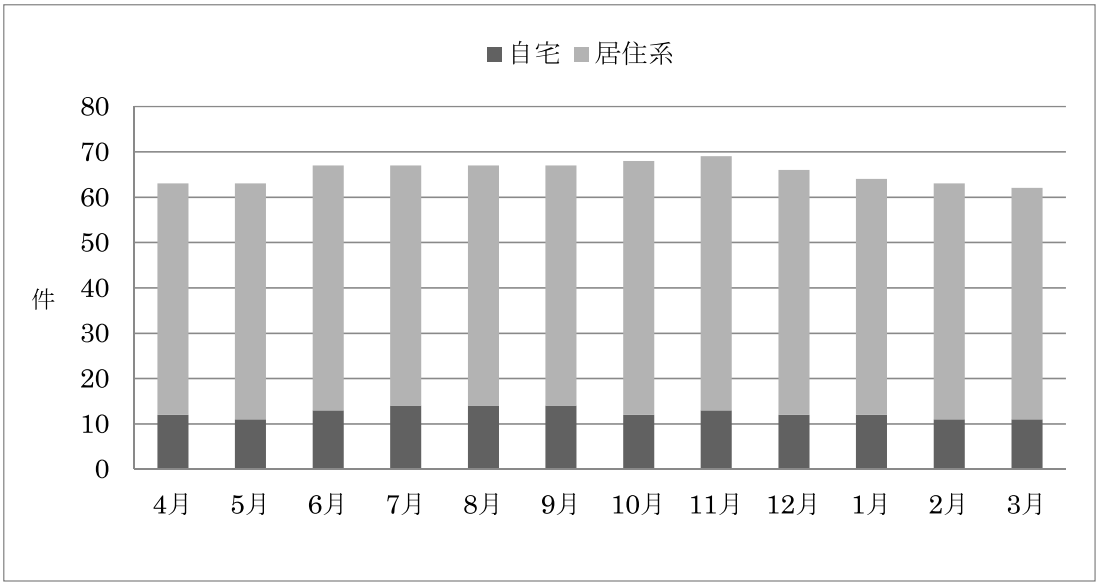
| | ドック人数 | | | 一般健診人数 | | | 企業外健診人数 | | | 倉敷けんしん(市民健診)人数 | | | 産業医件数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
| 4月 | 106 | 92 | 108 | 116 | 129 | 154 | 459 | 1,703 | 320 | 0 | 0 | 0 | 14 | 13 | 12 |
| 5月 | 121 | 127 | 147 | 276 | 288 | 227 | 219 | 230 | 276 | 0 | 0 | 0 | 14 | 13 | 12 |
| 6月 | 174 | 211 | 204 | 307 | 320 | 183 | 1,641 | 176 | 186 | 185 | 216 | 185 | 14 | 13 | 12 |
| 7月 | 222 | 180 | 184 | 181 | 488 | 329 | 344 | 305 | 281 | 221 | 227 | 233 | 14 | 13 | 12 |
| 8月 | 125 | 144 | 139 | 277 | 213 | 152 | 286 | 275 | 277 | 184 | 148 | 168 | 14 | 12 | 12 |
| 9月 | 114 | 108 | 134 | 163 | 387 | 177 | 622 | 918 | 1,016 | 172 | 255 | 178 | 14 | 12 | 12 |
| 10月 | 159 | 175 | 196 | 529 | 607 | 185 | 695 | 603 | 573 | 255 | 329 | 325 | 14 | 12 | 12 |
| 11月 | 148 | 187 | 201 | 571 | 520 | 197 | 348 | 365 | 354 | 229 | 290 | 235 | 14 | 12 | 12 |
| 12月 | 134 | 148 | 147 | 304 | 324 | 138 | 66 | 91 | 128 | 244 | 197 | 217 | 14 | 12 | 12 |
| 1月 | 121 | 144 | 173 | 230 | 284 | 105 | 8 | 8 | 76 | 207 | 182 | 188 | 14 | 12 | 12 |
| 2月 | 155 | 174 | 318 | 184 | 195 | 106 | 184 | 102 | 79 | 0 | 0 | 5 | 14 | 12 | 12 |
| 3月 | 151 | 148 | 134 | 105 | 212 | 169 | 441 | 514 | 520 | 5 | 3 | 7 | 14 | 12 | 12 |
| 年合計 | 1,730 | 1,838 | 2,085 | 3,243 | 3,967 | 2,122 | 5,313 | 5,290 | 4,086 | 1,702 | 1,847 | 1,741 | 168 | 148 | 144 |

# 訪問診療部

訪問診療件数

| H29 年度 | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 自宅 | 12 | 11 | 13 | 14 | 14 | 14 | 12 | 13 | 12 | 12 | 11 | 11 |
| 居住系 | 51 | 52 | 54 | 53 | 53 | 53 | 56 | 56 | 54 | 52 | 52 | 51 |
| 合計 | 63 | 63 | 67 | 67 | 67 | 67 | 68 | 69 | 66 | 64 | 63 | 62 |

(件)



# 福寿荘

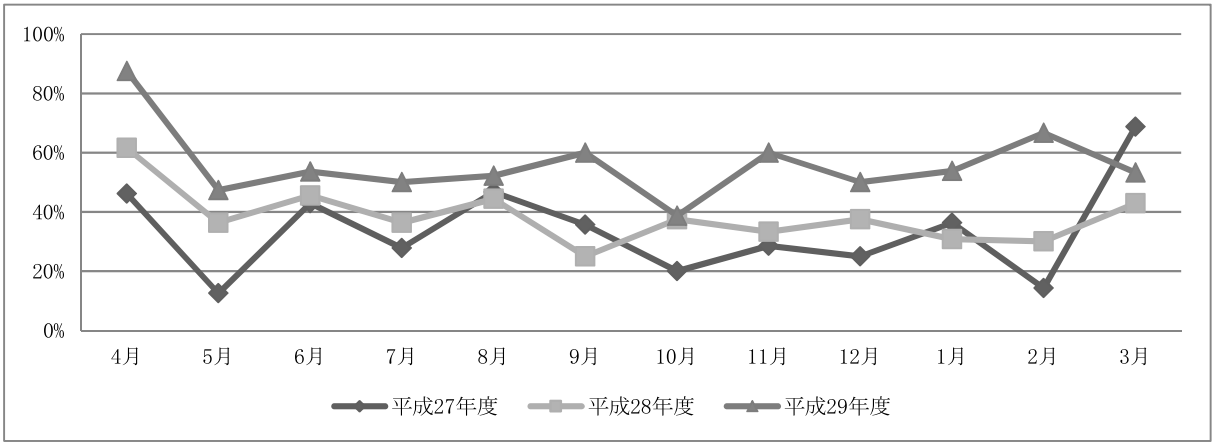
## 1. 入所者内訳

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 自宅、在宅系施設 | 4 | 2 | 9 | 14 | 6 | 12 | 9 | 4 | 10 | 4 | 3 | 6 | 83 |
| 紀念病院 | 4 | 9 | 11 | 11 | 10 | 6 | 11 | 11 | 11 | 4 | 12 | 9 | 109 |
| 第一病院 | 2 | 1 | 0 | 1 | 4 | 2 | 2 | 3 | 2 | 4 | 2 | 5 | 28 |
| 他医療機関 | 1 | 6 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 3 | 7 | 1 | 2 | 5 | 39 |
| 介護老人保健施設 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 介護老人福祉施設 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 入所合計 | 11 | 18 | 22 | 28 | 22 | 24 | 26 | 21 | 30 | 13 | 19 | 25 | 259 |
| 新規入所者数 | 9 | 12 | 16 | 22 | 19 | 18 | 14 | 13 | 19 | 12 | 14 | 22 | 190 |
| 入所者に占める新規入所者の割合 | 81.8% | 66.7% | 72.7% | 78.6% | 86.4% | 75.0% | 53.8% | 61.9% | 63.3% | 92.3% | 73.7% | 88.0% | 73.3% |

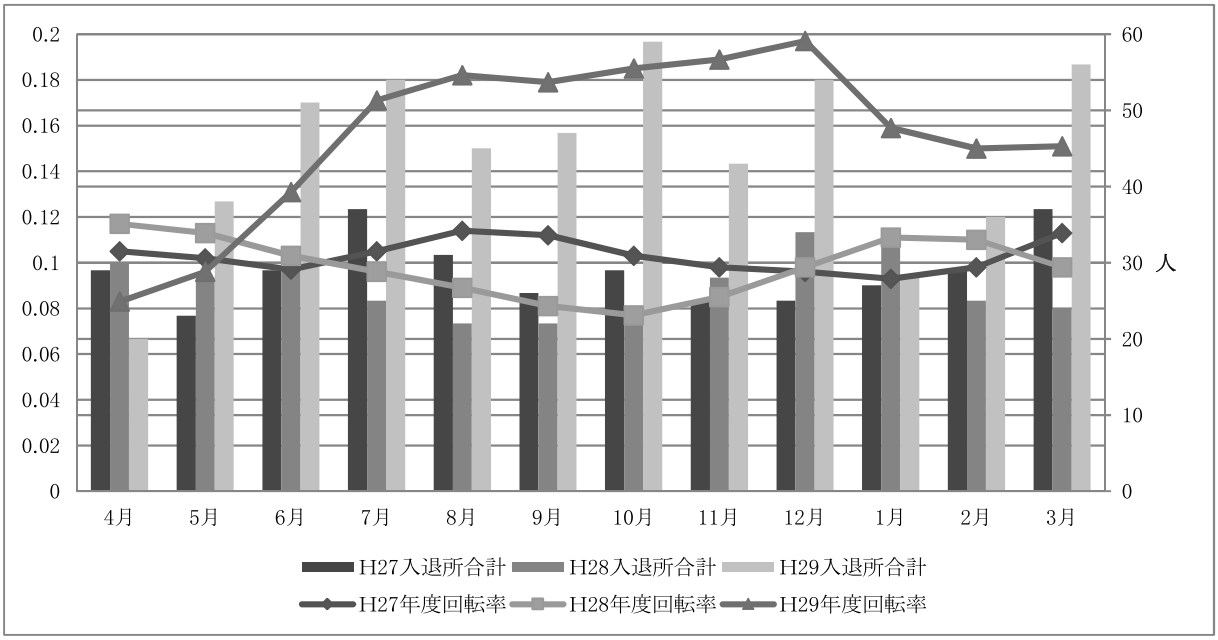
## 2. 退所者内訳

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 在宅(1ヶ月以上) | 7 | 9 | 15 | 13 | 12 | 12 | 12 | 12 | 10 | 7 | 10 | 16 | 135 |
| 在宅(1ヶ月未満) | | | 1 | | 1 | | | | 1 | 0 | | | 3 |
| 医療機関 | 1 | 7 | 4 | 7 | 7 | 6 | 15 | 5 | 8 | 6 | 4 | 12 | 82 |
| 介護老人保健施設 | | | | 2 | 2 | | 1 | | | | 1 | | 6 |
| 介護老人福祉施設 | | 3 | 8 | 2 | 1 | 2 | 3 | 3 | 1 | | | 2 | 25 |
| 死亡 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 3 | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 1 | 21 |
| 退所合計 | 9 | 20 | 29 | 26 | 23 | 23 | 33 | 22 | 24 | 15 | 17 | 31 | 272 |
| 在宅復帰率 | 87.5% | 47.4% | 53.6% | 54.2% | 52.2% | 60.0% | 38.7% | 60.0% | 50.0% | 53.8% | 66.7% | 53.3% | 56.4% |

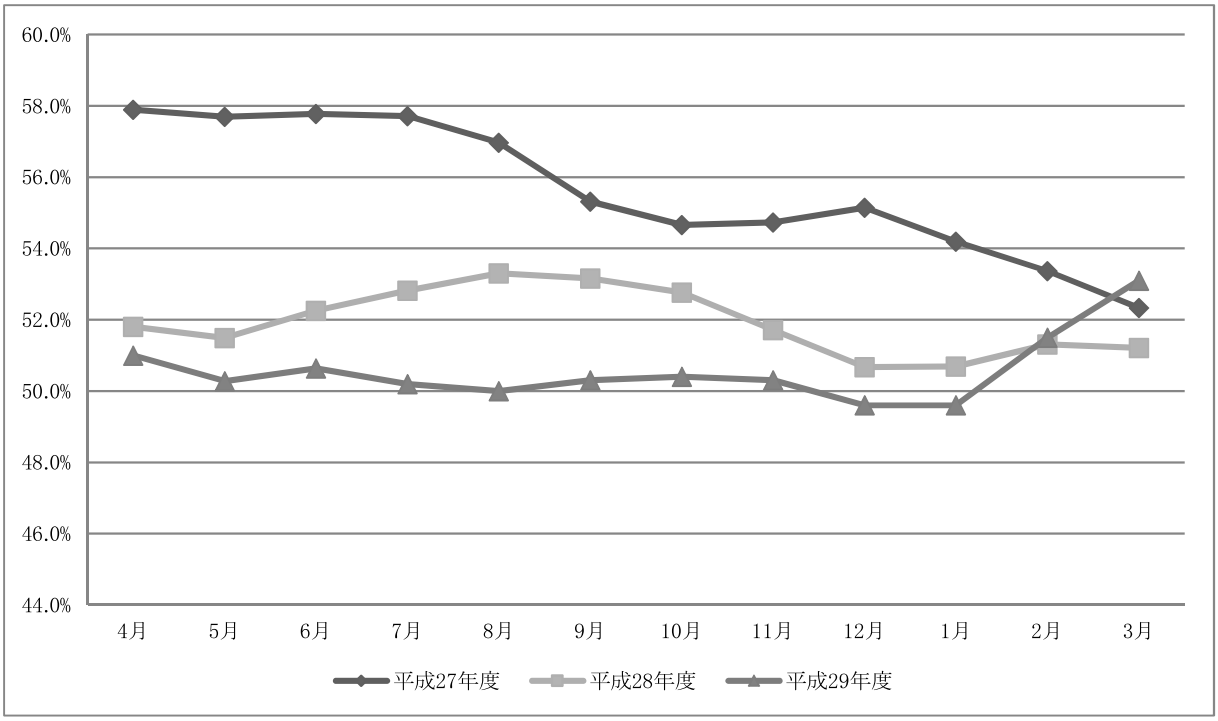
## 3. 6カ月間の在宅復帰率



4. 回転率

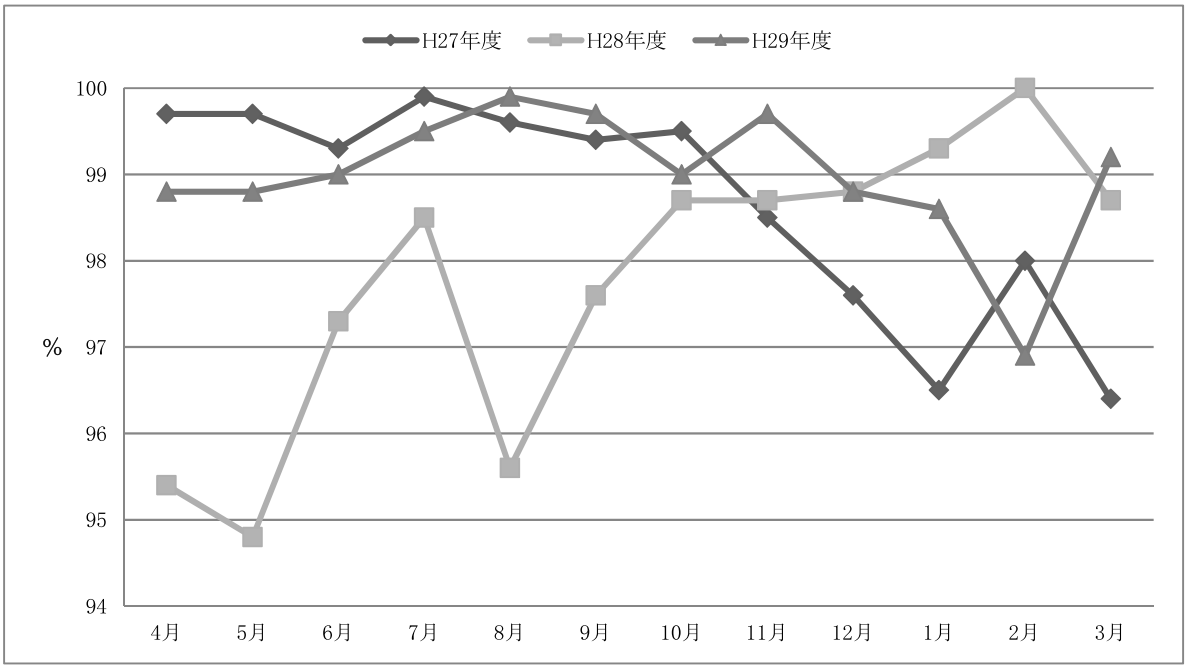



5. 重症度(要介護4・5の割合)

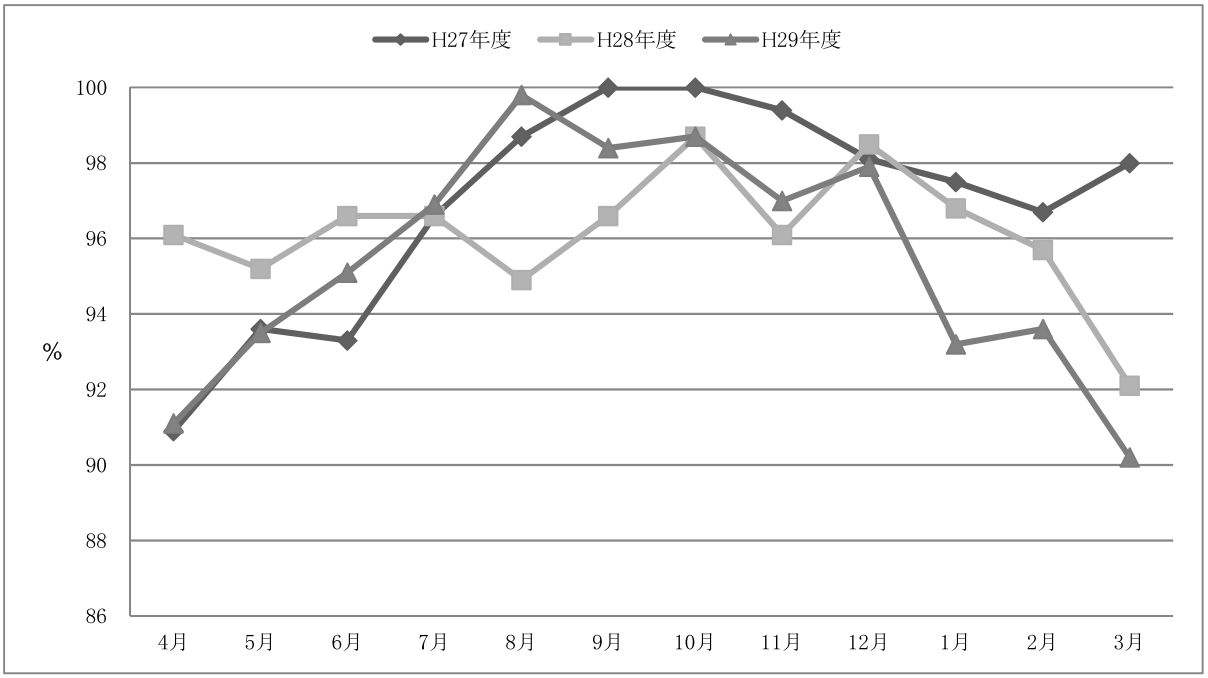


# 有料老人ホームせいわ

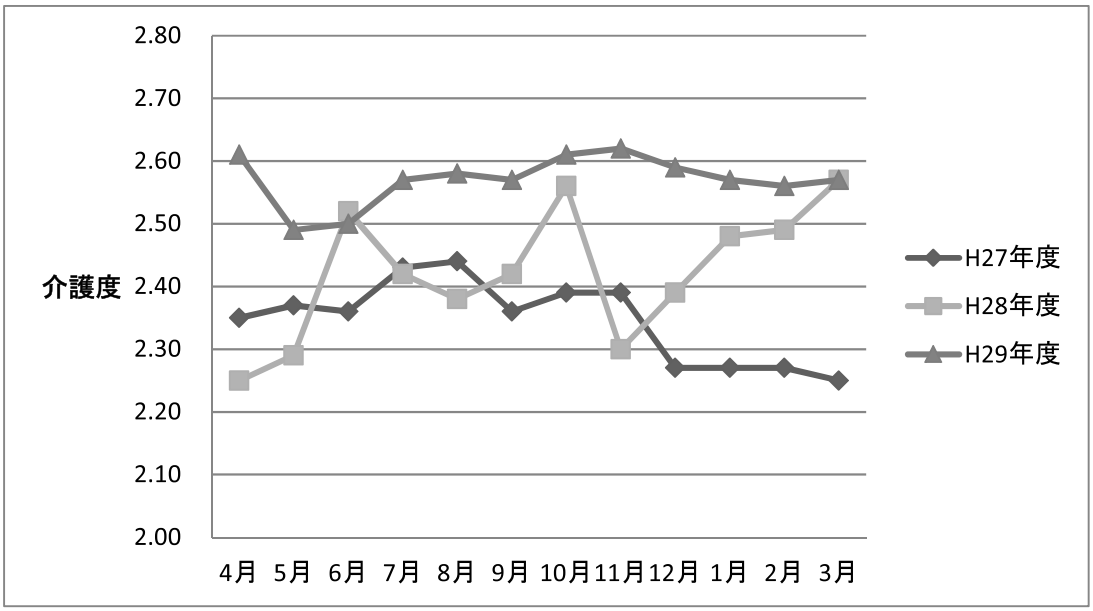
1. 平均入居率（介護付 78 室）



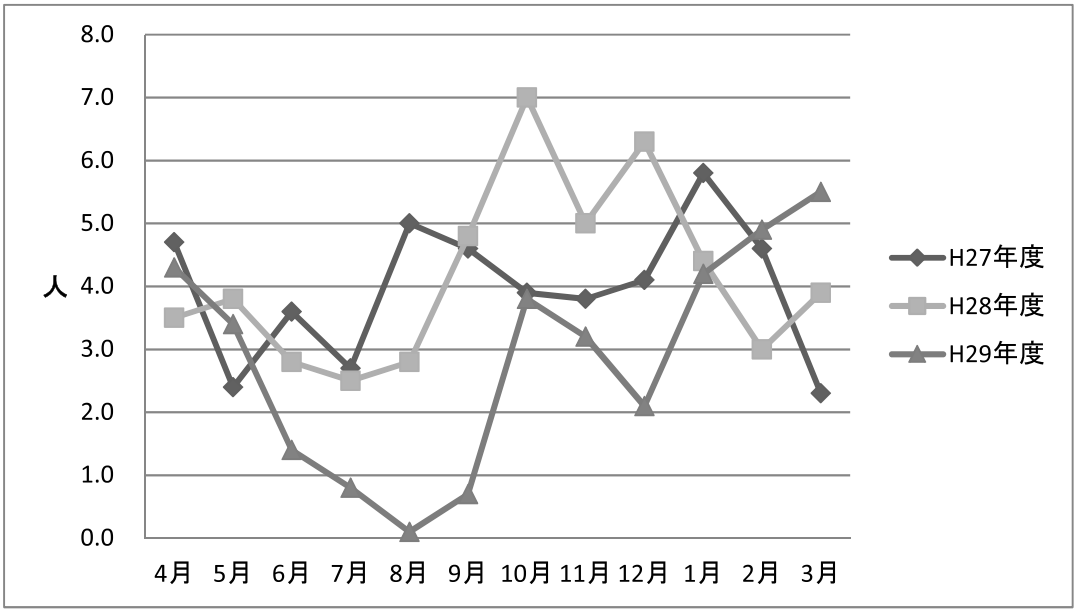

2. 平均入居率（住宅型 30 室）



3. 平均介護度(要介護)

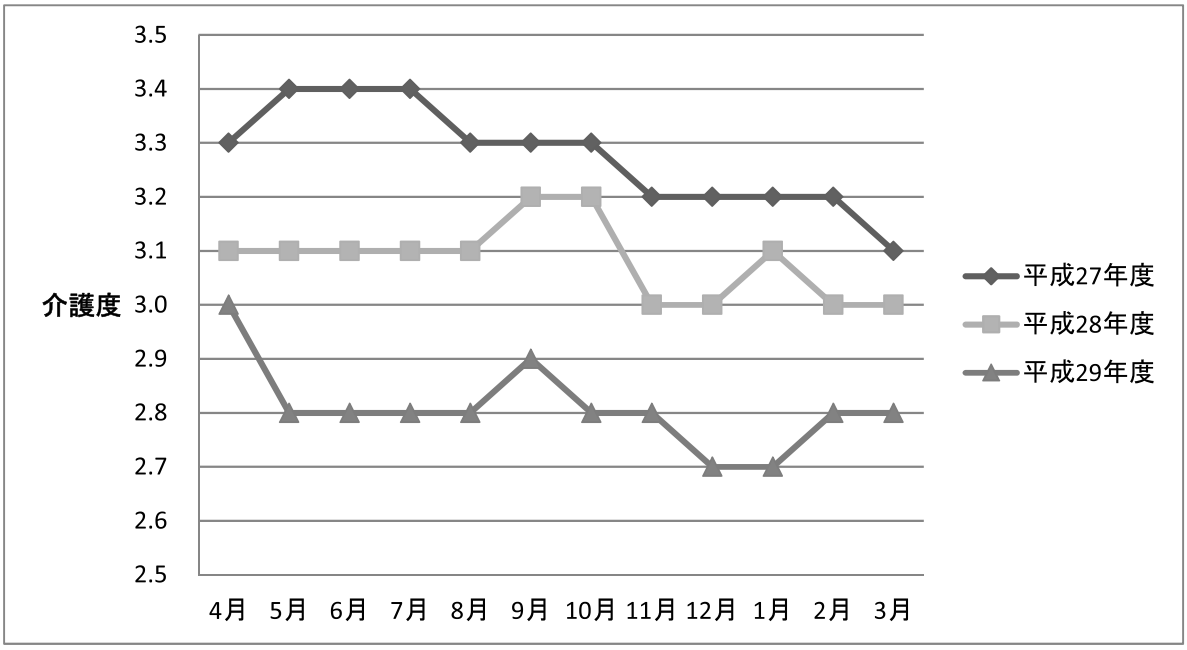



4. 平均入院者数



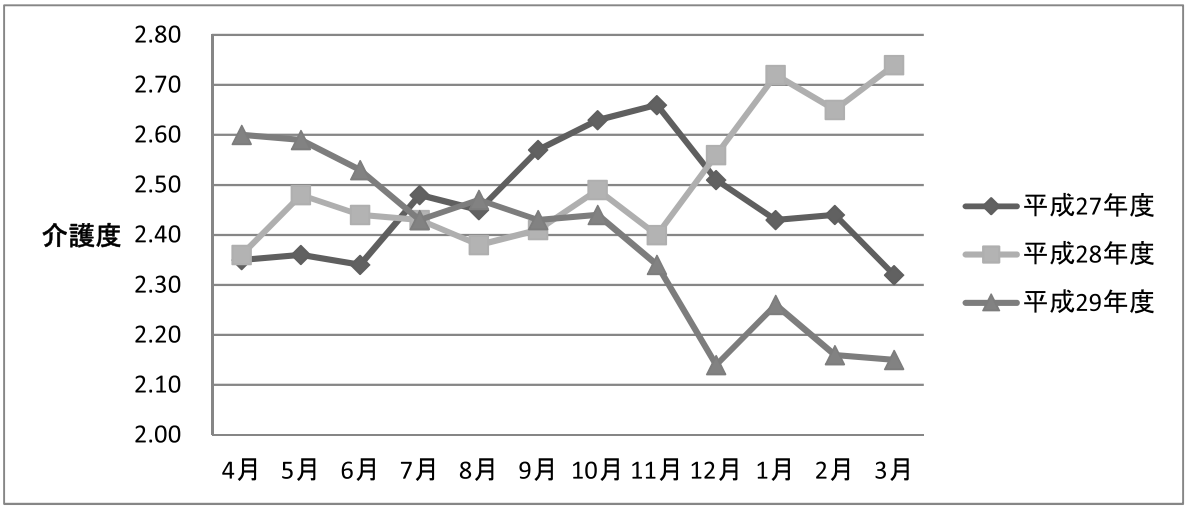
# グループホーム　コージー

平均介護度

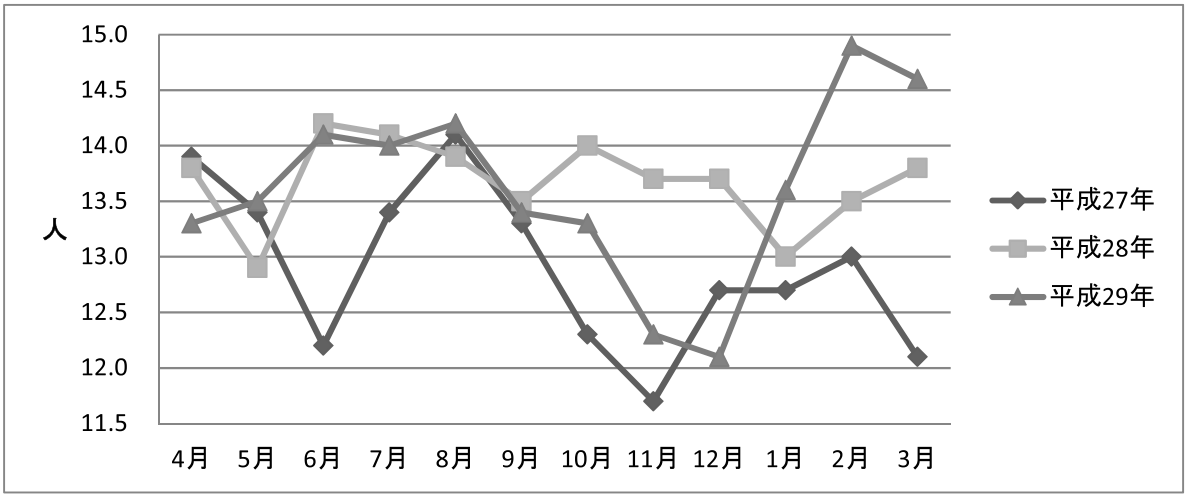


# 小規模多機能　和

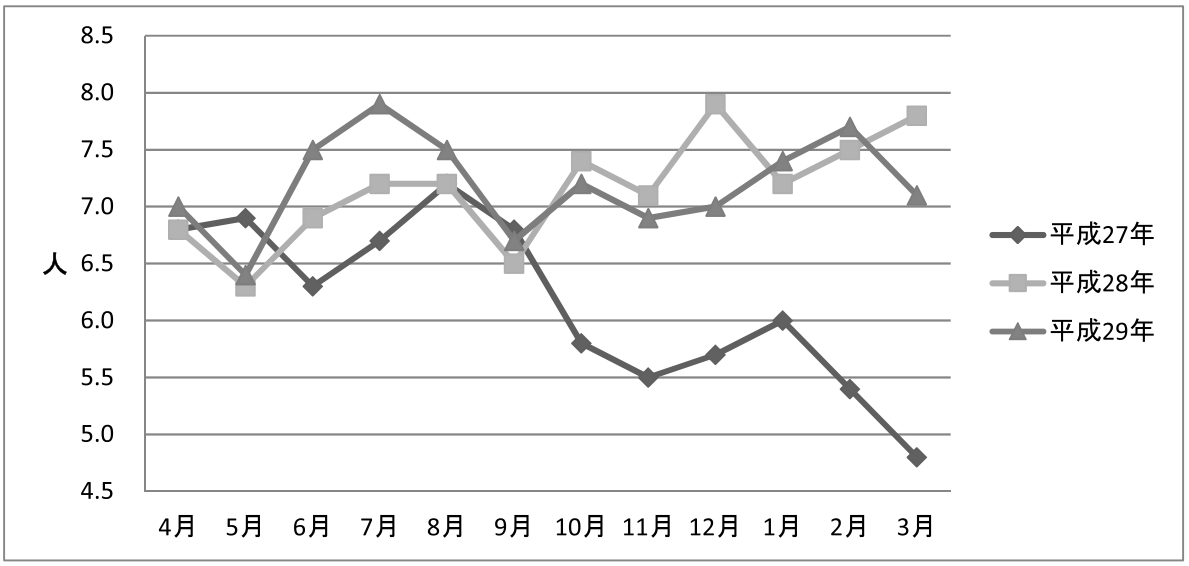
1. 平均介護度



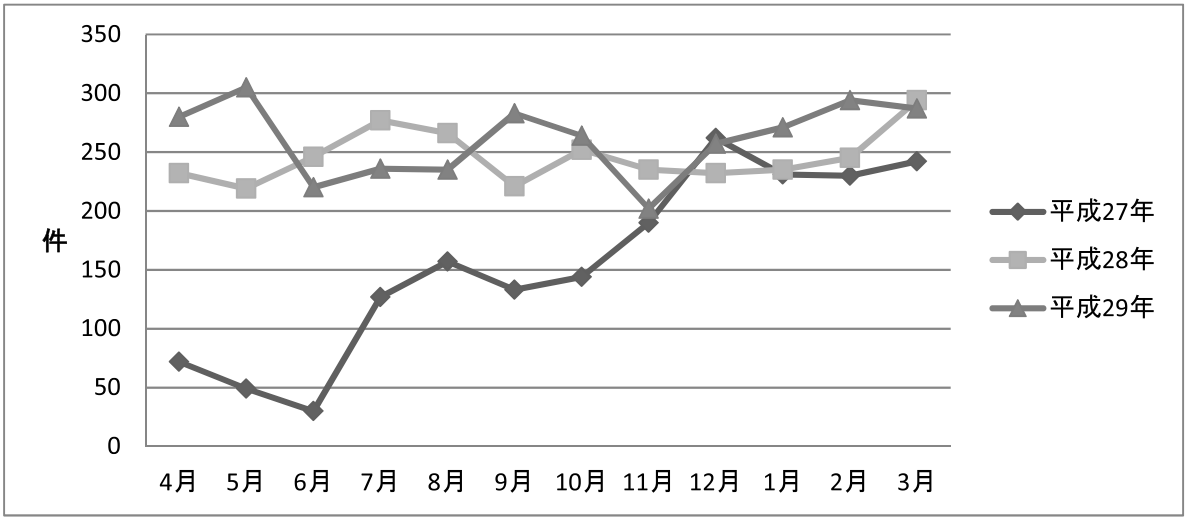

2. 通い　平均利用者数



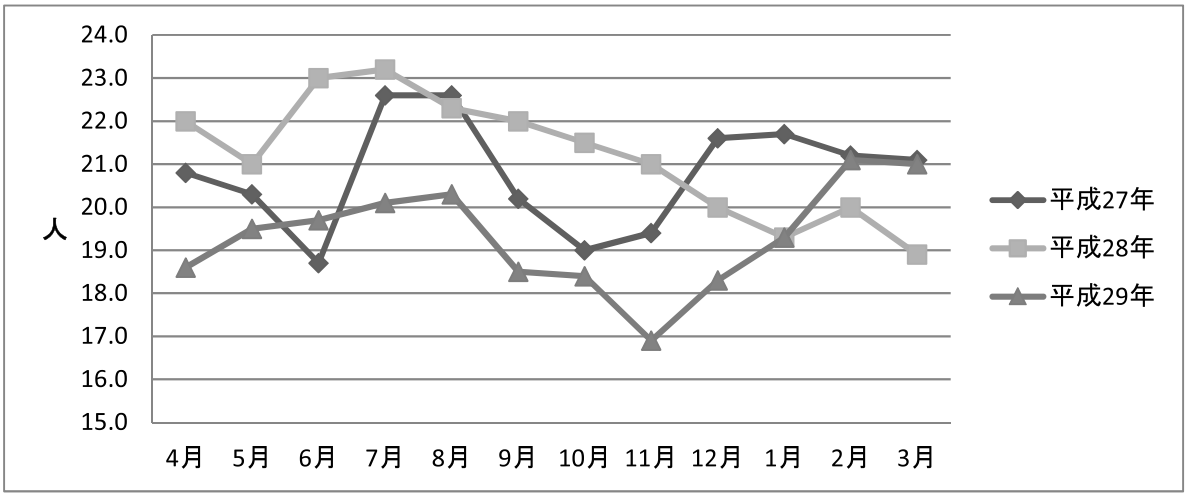
3. 泊り　平均利用者数




4. 訪問　延べ件数

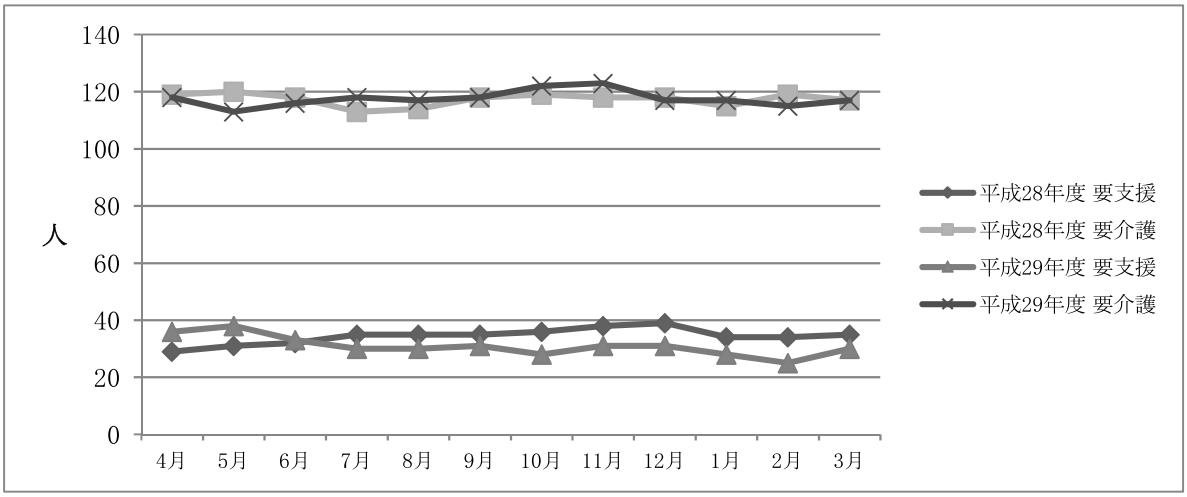


5. 平均登録者数

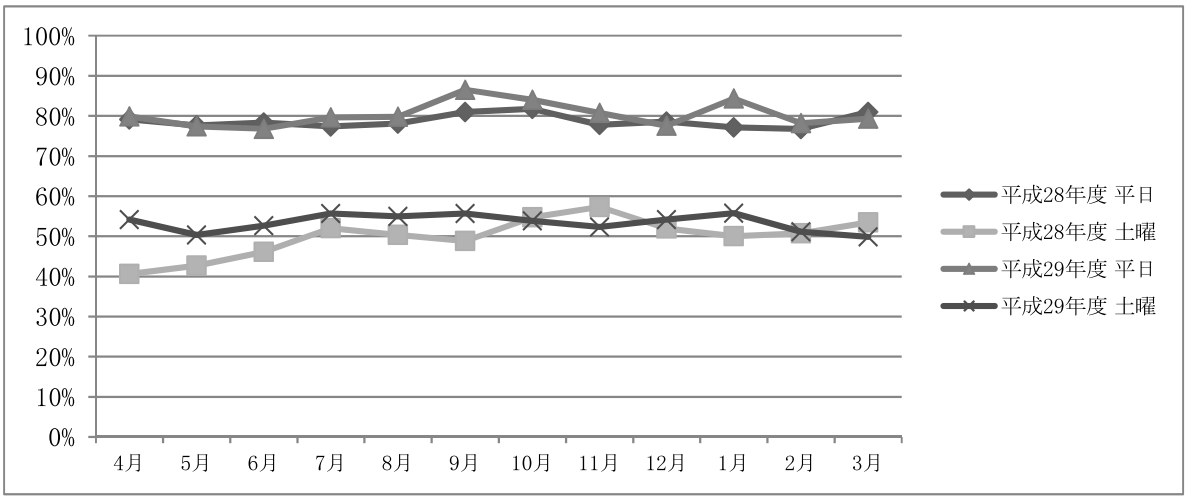

24.0
23.0
22.0
21.0
20.0
19.0
18.0
17.0
16.0
15.0
人
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
平成27年
平成28年
平成29年

# 通所リハビリ　せいわ

1. 通所リハビリ　利用者数

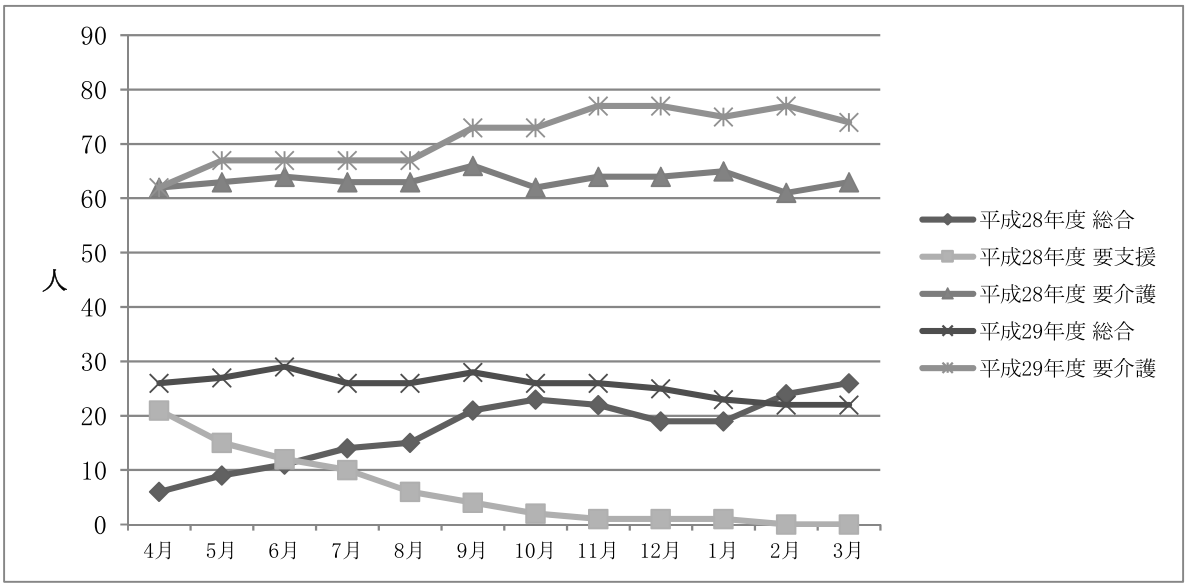



2. 通所リハビリ　稼働率

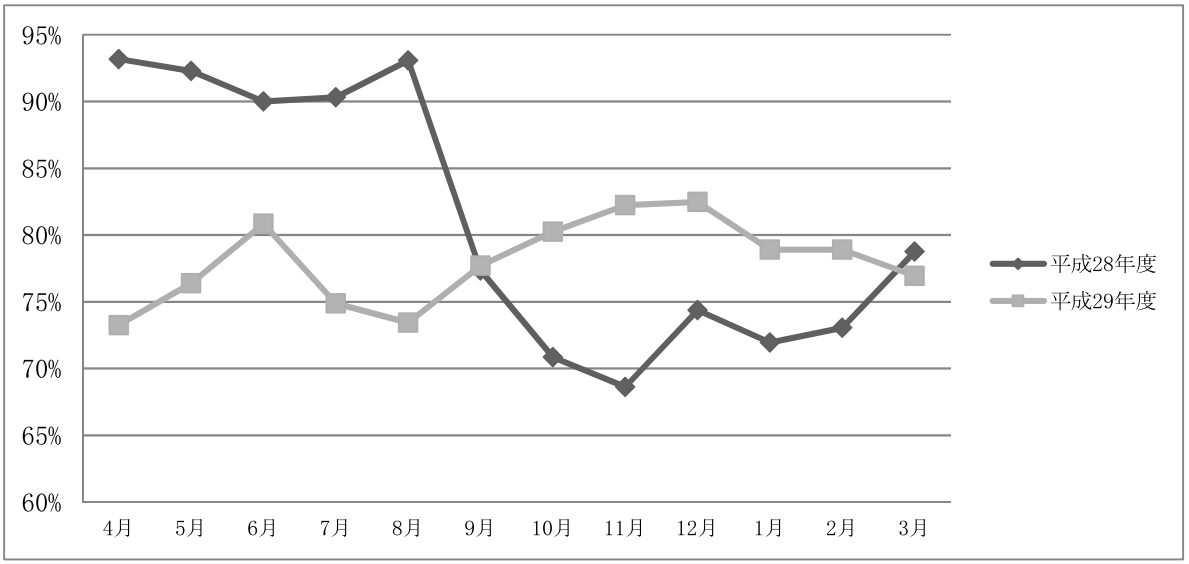


# デイサービス　せいわ

1. デイサービス　利用者数



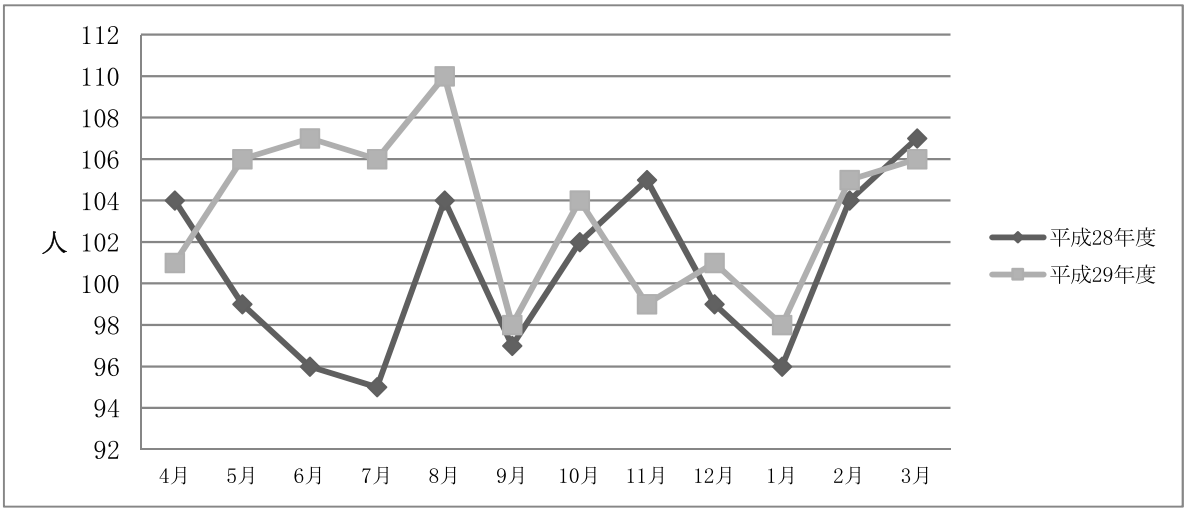

2. デイサービス　稼働率



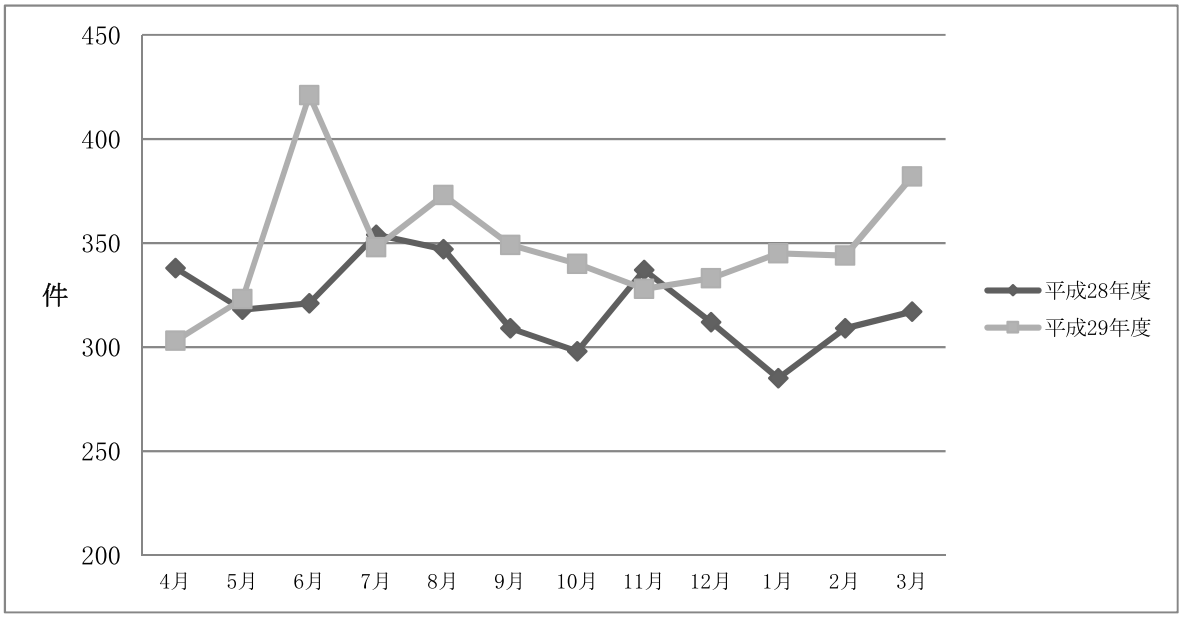

＊H28 年 9 月 1 日～　定員 35 人→45 人

# 倉敷紀念訪問看護ステーション

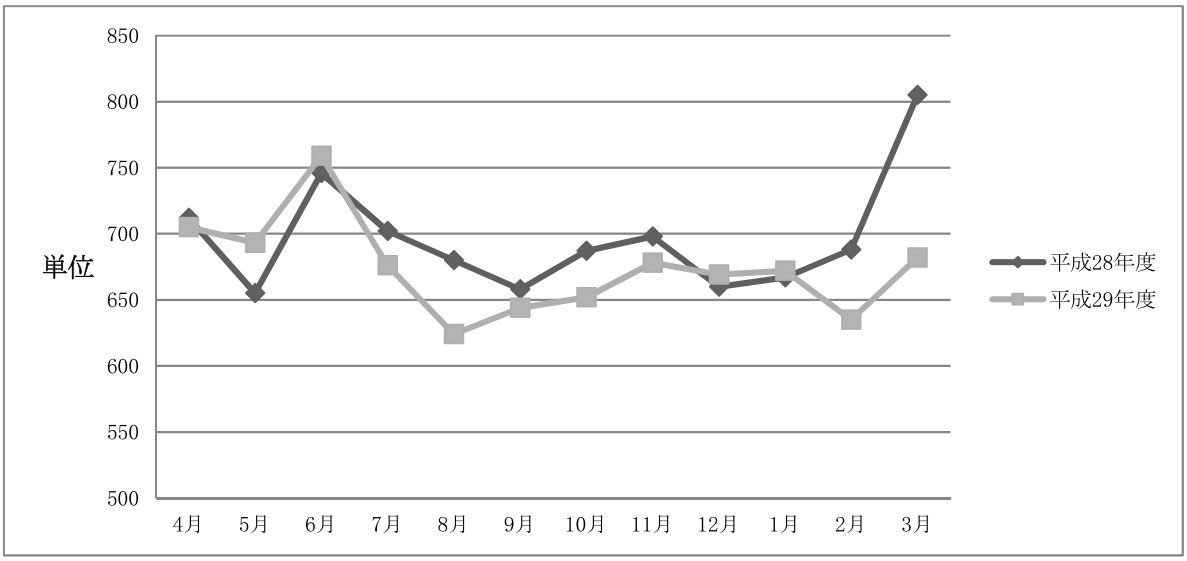
1. 利用者数




2. 訪問看護件数

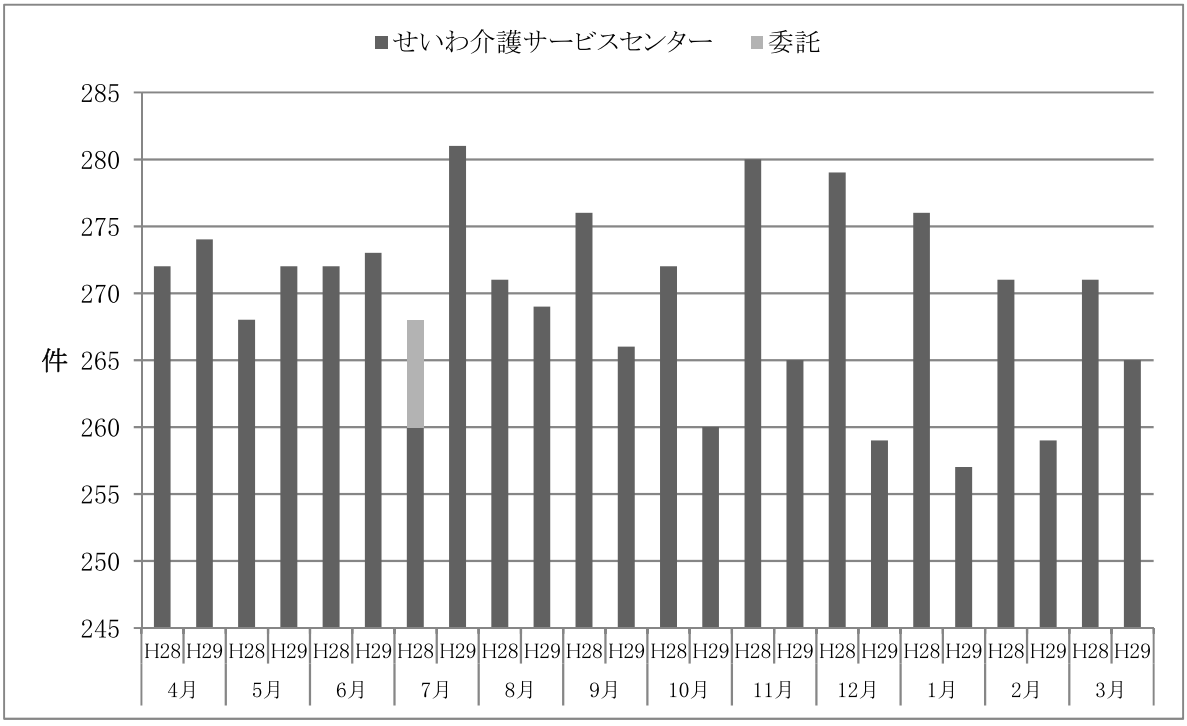


3. 訪問リハビリ単位数　　（1 単位 20 分）



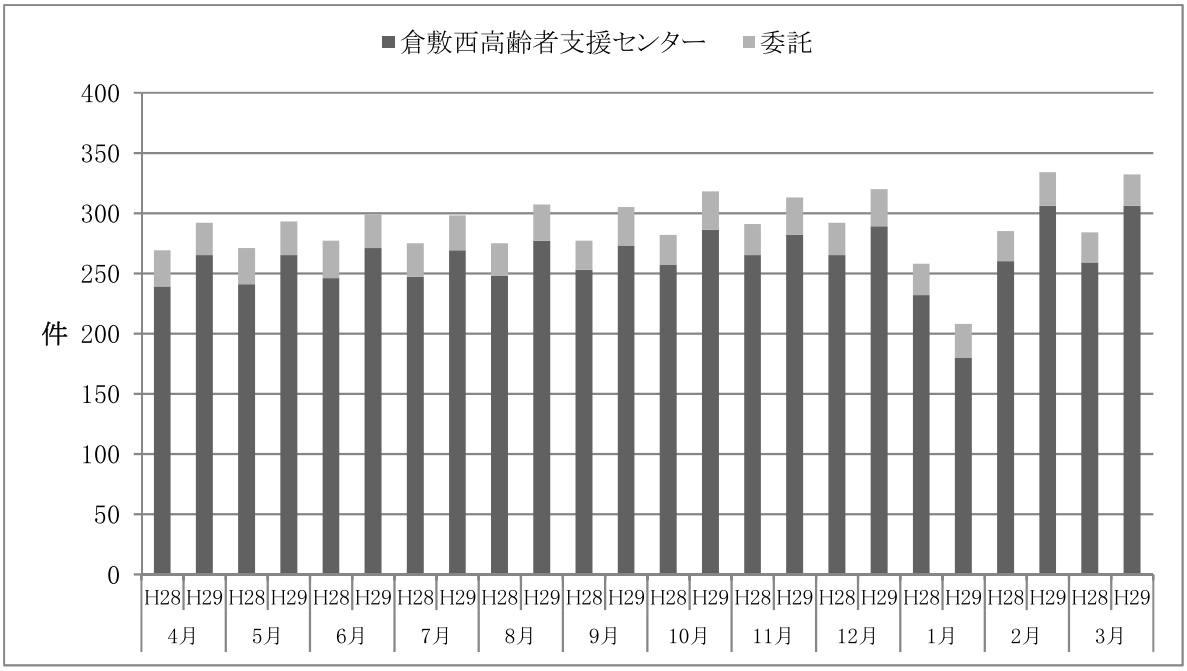
# せいわ介護サービスセンター

プラン件数




# 倉敷西高齢者支援センター

プラン件数



# 活動実績

診療部長　矢野　達俊

## 1. 診療案内　（平成 30 年 7 月 1 日　現在）

### 循環器内科

理事長・院長

小出（こいで）　尚志（ひさし）

昭和 54 年　大阪医科大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会総合内科専門医
日本循環器病学会認定循環器専門医
日本医師会認定　産業医
大阪医科大学　非常勤講師

循環器内科部長

吉田（よしだ）　潤史（じゅんじ）

平成 13 年　香川医科大学卒
医学博士
日本循環器学会循環器専門医
日本内科学会認定内科医

**診療内容と科の特色**

虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、高血圧、心不全、不整脈、などを中心に、心臓疾患全般を対象として幅広く入院・外来診療しています。また、虚血性心疾患の危険因子としての生活習慣病（糖尿病、高コレステロール血症、痛風、肥満など）についても診療と生活指導をしています。外来診療ならびに検査は予約制をとっていますが、緊急時は随時診療いたします。

循環器領域におけるほとんどの非観血的検査に対応しています（下記検査の項を参照ください）。しかし、1.CAG、その他の血管造影ならびに PCI、2.　EPS ならびに catheter ablation、3.経食道心エコー、4.心嚢水穿刺・ドレナージ、5.心筋生検、 6.心・血管系の外科手術などの特殊な診断・治療については、高度医療機器と医療チームの対応可能な病院（倉敷中央病院、川崎医科大学附属病院、岡山大学附属病院）と連携して診療しています。

**主な検査、診断機器とその説明**

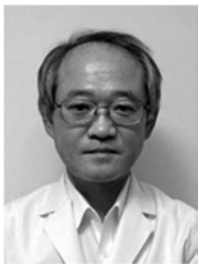
非観血的検査・診断

1. 心電図（安静時、運動負荷心電図：マスター、トレッドミル）
2. 超音波検査（心エコー：M,B モード、ドップラー、血管エコー）
3. 24 時間ホルター心電図
4. 24 時間携帯型血圧自動測定器

## 消化器・肝臓内科

訪問診療部部長
櫻井（さくらい）　恵（めぐむ）
昭和 54 年　川崎医科大学卒
日本内科学会認定内科認定医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本医師会認定産業医

内科部長
三宅（みやけ）　正展（まさのぶ）
平成 1 年　山口大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医・指導医
日本肝臓学会認定肝臓専門医
日本消化器病学会認定消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会認定
　　消化器内視鏡専門医・指導医
日本消化管学会胃腸科専門医・暫定指導医
日本医師会認定産業医
日本消化器病学会中国地区評議員
日本消化器内視鏡学会中国地区評議員



大野（おおの）　勝志（かつし）
平成 8 年　鳥取大学卒

### 診療内容と科の特色

消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸）、胆嚢、肝臓, 膵臓疾患を担当しています。検査を目的とする紹介にも対応しております。

### 消化器疾患

各種の消化管疾患に対して、上部消化管透視、上部・下部消化管内視鏡検査、超音波、CT、MRI 等を使用して診断及び治療を行っております。ピロリ菌除菌治療も行っています。

### 肝疾患

各種肝疾患の診断・病態・病期の把握を行い、各患者様の病状に沿った治療を行います。肝炎専門一次医療機関として助成金を申請しての経口抗ウィルス剤による肝炎治療も行っています。慢性肝疾患患者では、定期的に腹部超音波検査やCT検査を行い、癌の早期発見に努めています。脂肪肝、NASH にも対応しています。特殊なケースの確定診断や、癌の集学的治療は、倉敷第一病院・倉敷中央病院・川崎医科大学附属病院・岡山済生会総合病院・岡山大学医学部附属病院などと連携して患者様がより適切な治療が受けられるようにしています。高度専門医療機関の肝疾患患者の平素の肝臓治療や投薬・注射をお引き受けしたり、診療所にかかっておられる肝疾患患者の定期的画像診断や増悪期の入院加療をお引き受けをしています。

### 主な検査、診断機器とその説明

**上部・下部消化管内視鏡検査（毎日、予約制）**

消化管の出血やポリープ、早期がんへの EMR 等の内科的治療が可能です。NB1 および拡大内視鏡を使用し診断の質の向上に努めています。

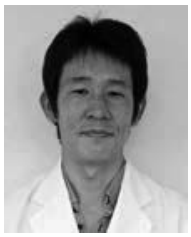
**腹部超音波検査（毎日、予約制）**

肝臓・胆嚢・胆管・膵臓・脾臓・腎臓消化管などの腹部臓器の検査を行います。必要に応じ、造影超音波検査も行っています。

**腹部CT検査（毎日、随時）**

16 チャンネルマルチスライスCTを使用したダイナミックCT検査により癌の早期発見に努めています。

MRI（1.5 テスラ）を使用したEOB-MRI、MRCP による肝・胆道系・膵精査も可能です。



とみやま　やすゆき
富山　恭行

（非常勤）
平成 14 年　川崎医科大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本消化器病学会専門医
日本肝臓学会専門医
日本化学療法学会抗菌化学療法認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
日本がん治療認定医機構がん治療暫定教育医
日本感染症学会
インフェクションコントロールドクター
日本医師会認定産業医
日本消化器病学会中国支部評議員
日本肝臓学会西部会評議員

**経皮的肝生検（入院対応）**

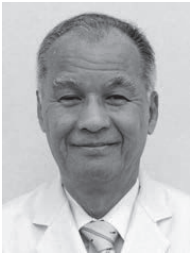
局所麻酔にてエコーガイド下に採取部位を確認しながら経皮的肝生検を実施します。組織診断は、NASH（非アルコール性脂肪肝炎）の診断は不可欠であり、また他の多くの肝疾患の確定診断・予後判定・治療法の選択にも有用です。

## 呼吸器内科

副院長　診療部長

### 矢野（やの）　達俊（たつとし）

昭和61年 川崎医科大学卒
医学博士
日本内科学会認定内科医
日本内科学会認定総合内科専門医
日本呼吸器学会認定専門医
日本呼吸器内視鏡学会認定
　気管支鏡専門医
ICD制度協議会認定
　インフェクションコントロールドクター
日本医師会認定産業医
日本化学療法学会
　認定抗菌化学療法認定医
日本禁煙学会認定禁煙専門指導者
日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医



### 岡（おか）　三喜男（みきお）

（非常勤）
昭和54年　長崎大学卒

**診療内容と科の特色**

呼吸器疾患を中心に循環器疾患もあわせて診察を行っております。特に慢性咳嗽の診断、治療、気管支喘息に対する吸入療法の推奨、COPD（肺気腫、慢性気管支炎）に対する禁煙指導や治療、画像診断による肺癌の早期発見、肺炎などの感染症治療、などに力を入れております。また呼吸器に関連した高血圧、心臓疾患の診断、治療も行っております。さらに睡眠時無呼吸症候群の診断、治療も神経内科と耳鼻科との協力の上行っております。

酸素療法を必要とする慢性呼吸不全患者様に対して、在宅酸素療法を導入、管理も積極的に対応しております。

**主な検査、診断機器とその説明**

**胸部レントゲン写真、CT検査**

肺炎、肺癌、アレルギー疾患などの画像診断を行います。最近の高解像度のCTにより、細かな病変まで描出可能となっております。また造影を行うことで、縦隔リンパ節や胸部血管の異常診断を行います。

**肺機能検査**

肺活量や１秒量などの肺機能を測定する検査です。
COPD、喘息や間質性肺炎などの診断に利用しています。

## 糖尿病内科

栄養治療（NST）部長

はやし　さとみ
### 林　里美

平成2年　岡山大学卒
日本静脈経腸栄養学会
日本プライマリ・ケア連合学会

## 内科

りゅう　こ　ひろまさ
### 立古　浩雅

平成7年　愛媛大学卒
医学博士
日本糖尿病学会専門医
日本内科学会認定総合内科医
日本内科学会認定総合内科専門医

**診療内容と科の特色**

糖尿病・高血圧など慢性の生活習慣病を中心に一般内科外来診療を行っています。食事や運動など、患者さんが自分でコントロールしていけるような生活指導に重点を置いて、生活の見える外来診療を行っています。

糖尿病教室は月に1度、昼間の時間ですが、10年以上継続して実施しています。患者さんのニーズに合わせた様式や内容で、最近はグループワークや体操教室、食事会などをスタッフとともに案を練って、患者さんが自ら参加し持ち帰る実の多い会を目指しています。

また、院内ではNST（栄養サポートチーム）の医師として、入院患者さんの栄養管理を軸に摂食嚥下、褥創、PEG、リハビリなど院内の他のチームとの連携を取りながら、患者さんが最も有効に治療が受けられるよう支援しています。

一方、療養病棟を主に回復期や維持期にある患者さんの退院後の生活を見越した医学的管理と介護サービスの調整を行い、スムーズに退院後の生活になじめるようお手伝いさせていただいています。

医療のどの場面でも生活者としての、疾患を抱えた患者さんが自分で疾患を理解・管理し暮らしていけるよう、スタッフとともに援助することを心がけて診療に当たっています。

## 脳神経内科
## 物忘れ外来

神経内科部長

やすだ　たけし
### 安田　雄

昭和 52 年　川崎医科大学卒
医学博士
日本内科学会中国地区評議員
日本薬物脳波学会評議員など

## 脳卒中外来

かたおか　さとし
### 片岡　敏

昭和 54 年　金沢医科大学卒
医学博士
日本神経学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本内科学会認定医

**診療内容と科の特色**

神経内科疾患全般にわたり幅広く診療しています。意識障害、認知症、頭痛、痙攣、めまい、運動麻痺、感覚障害、歩行や平衡障害、筋萎縮、筋肉痛などの症状の精査を行っています。主要疾患としては脳血管障害、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、多発性硬化症、重症筋無力症、進行性ジストロフィー症、多発筋炎、ニューロパチー、てんかんなどです。

**主な検査、診断機器とその説明**

電気生理学的検査の機器は充実していて、脳波はデジタル脳波計を使用しており、異常部位の検出やその程度をコンピューターで解析しています。また、経頭蓋磁気刺激装置を使用しての、錐体路障害の定量的測定をしています。毎水曜日午後は予約制の電気生理外来を行っていて、御紹介いただければ、その日のうちに結果を御報告するよう心掛けています。また血小板凝集能検査は特別の解析機器を使用し、ADP、 collagen 凝集能を grading curve で表示し、PATI(platelet aggregatory threshold index:血小板凝集閾値係数)という新しいパラメーターを用いて詳細に解析しています。抗血小板療法を施行されていて、至適な療法がなされているか否かの判定を御希望なら、いつでも連絡していただければ、検査施行日にその結果を御報告いたします。片側顔面痙攣や眼瞼痙攣に対してのボトックス療法も実施しています。そして睡眠時無呼吸症候群(SAS)の精査・治療も行っていますので、御紹介いただければ幸甚です。

## 整形外科

整形外科部長

日野（ひの）　洋介（ようすけ）

昭和 53 年 川崎医科大学卒
日本整形外科学会専門医
日本整形外科認定脊椎脊髄病医

三河（みかわ）　義弘（よしひろ）

（非常勤）
昭和 45 年　京都大学卒
日本整形外科学会相談医

三﨑（みさき）　孝昌（こうすけ）

（非常勤）
平成 27 年　川崎医科大学卒

**診療内容と科の特色**

当科では整形外科一般を診療対象としています。
病院の特徴のひとつに高齢の患者さんが多いことがあげられます。そのため、骨粗鬆症性脊椎骨折や仙骨、恥骨などの脆弱性骨折、その他の不顕性骨折など骨脆弱に基づく骨折を扱う機会が増えています。椎体圧迫骨折は発症早期の診断や新旧の判断はＸ線写真では難しい例も多く、MRI 診断が欠かせません。
椎体骨折では遅発性脊髄麻痺、偽関節を防止することが重要ですから、MRI 検査で診断確定後、できるだけ入院治療としています。難しい疾患の診断や治療はできませんが、正しい判断、的確な治療選択と大規模病院ではできない当院ならではの診療を常に心がけ、また急性期後を担う病院として地域医療に貢献していきたいと思います。

外科

健診部診療部長
手術室管理責任者
医療安全管理部門顧問
医療連携推進部顧問

吉田（よしだ）　泰夫（やすお）

昭和 52 年京都大学卒
日本外科学会専門医
日本外科学会指導医
麻酔科標榜医
ICD 制度協議会認定
　インフェクションコントロールドクター
日本医師会認定産業医

診療内容と科の特色

私自身、専門は腹部消化器外科であり、食道から直腸・肛門に至るまでの消化管、肝臓、胆嚢・胆管、膵臓、脾臓の手術を行ってきました。

これまで「切るのが専門」という立場でしたが、現在は心機一転、「診る外科医」を目指しております。

外科疾患は「切らなければ治らない」ものが多いのですが、根治（完全に治してしまうこと）を求めずに、病気とうまく付き合っていくことができる疾患も多いのです。

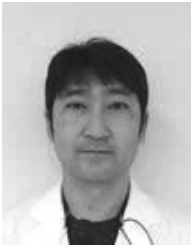
例えば腸閉塞の軽いものは食生活を改善することで、痔核・裂肛などの肛門疾患は排便のコントロールをすることで満足のいく生活が可能となります。

切らなければ治らないものは連携した基幹病院に紹介し、切らずに付き合っていけるものは私と一緒に病気と付き合っていきましょう。

消化器に限らず、ヘルニアや下肢静脈瘤、外傷などの一般外科領域についてもご相談ください。

また、消化器癌手術後は倉敷中央病院と連携して術後化学療法や経過観察のお手伝いをさせて頂くことも計画中です。

## 耳鼻咽喉科



耳鼻咽喉科部長

森田（もりた）　倫正（のりまさ）

平成 11 年　川崎医科大学卒
日本耳鼻咽喉科学会認定専門医
日本耳鼻咽喉科学会認定指導医

### 診療内容と科の特色

川崎医大耳鼻咽喉科での専門は、頭頸部腫瘍とがん中性子捕捉療法（BNCT）で、主に形成外科と連携し、再建術を要する頭頸部悪性腫瘍手術を行ってまいりました。その一方で、手術なしでの根治療法の確立を目指し、川崎医大放射線治療部、京都大学原子炉実験所スタッフとともに新規粒子線治療である中性子捕捉療法の研究、臨床試験および治験に携わってまいりました。

平成 28 年 5 月から当院に勤務、現在は耳鼻咽喉科領域全般の診療およびリハビリ科と連携しての嚥下機能評価、治療を行っています。また、鼻内視鏡下副鼻腔手術をはじめ、唾液腺手術（顎下腺腫瘍、耳下腺腫瘍、唾石など）や頸部手術、誤嚥防止手術などを行うことが可能です。当院での治療が難しい症例に関しては、川崎医大附属病院、川崎医療センターとも連携しつつ治療を行っております。外来での一般診断機器に加えて CT、MRI、超音波といった画像検査も迅速に行うことができ、老若男女を問わず、様々な疾患に対応できる態勢を整えております。

## リハビリテーション科

リハビリテーション科統括部長

伊勢（いせ） 眞樹（まさき）

昭和 54 年　川崎医科大学卒
医学博士
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
・専門医・指導医
厚生労働省義肢装具判定医

平岡（ひらおか） 崇（たかし）

（非常勤）
平成 8 年　川崎医科大学卒
日本リハビリテーション医学会認定臨床医・専門医
・指導医
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士
日本医師会認定産業医
日本臨床神経生理学会認定医

### 診療内容と科の特色

診療内容は、リハビリテーション一般で、脳血管障害、整形疾患、内科疾患や外科的治療後、疾患のために機能低下や能力障害を認める患者様を対象に、能力の評価、リハビリテーションの処方、本人・家族への生活指導などを行い、機能の回復・能力の再獲得を目指しています。

嚥下障害に対しては、嚥下状態のチェックや嚥下造影検査(VF)、嚥下内視鏡検査(VE)にて評価し、評価に応じた安全な経口摂取を目標に摂食嚥下治療を行っていきます。

また、月曜日午前中に義肢装具診察を行い、的確な義肢装具の処方を行っています。

### 主な検査、診断機器とその説明

**嚥下造影検査（VF 検査）**

**嚥下内視鏡検査（VE 検査）**

回復期リハビリ病棟　専従

リハビリテーション科部長

鈴木（すずき）　康夫（やすお）

昭和 48 年　新潟大学卒
医学博士
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医

診療内容と科の特色

私は、これまで急性期病院（新潟大学附属病院・川崎医科大学附属病院など）で脳神経外科医として、脳卒中・脳腫瘍・頭部外傷などのいろいろな疾患を診てまいりました。

平成 22 年 4 月からは、倉敷紀念病院に勤務し、回復期リハビリ病棟の専従（専門）医師として、主に脳卒中の急性期後の患者さんのリハビリを担当しています。急性期病院での経験を生かし、チーム医療の一員として、個々の患者さんが少しでも元の生活に戻れるようにリハビリ診療をしています。

当院の回復期リハビリ病棟は 50 床あり、私のほかに専任として整形外科専門医、リハビリ専門医・指導医などで病棟を担当しています。

内訳は、脳疾患が 45%、骨疾患が 55%です。施設基準はもっとも優れている入院料 1 と認可され、入院期間は平均 61 日、リハビリの効率を示す実績指数は目標の 37 を上回る 52 で高く評価され、在宅復帰率は 74%と質の高いリハビリを行っています。

患者さんの退院後の生活を視野に入れ、チーム医療をさらに深化しようと思っています。

## 皮膚科

皮膚科部長

澤田（さわだ）　文久（ふみひさ）

平成６年　川崎医科大学卒
日本皮膚科学会　皮膚科専門医

**診療内容と科の特色**

当院において皮膚科は週２回の非常勤として診療してまいりましたが平成 30 年４月より常勤となりました。これまで以上に患者さんと先生方のお役に立つべく努めてまいります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

皮膚は人体における最大級の面積をもつ臓器であり、内臓器を守っております。

皮膚の健康は内臓に健康につながると考え、皮膚疾患全般を軽微な障害であっても真剣に対処いたします。診断および治療抵抗性皮膚疾患に対しましては、日々指導をいただいている川崎医科大学皮膚科学教室をはじめ、基幹病院の先生方と連携を密としてまいります。

皮膚疾患は慢性化するものが多いのは事実でありますが治療の基本である外用法や生活習慣を含めた誘因の探索の重要性などをわかりやすく説明することが症状の改善に不可欠との信念で診療にあたってまいります。

## 泌尿器科

もんでん　こういち
門田　晃一

（非常勤）
昭和 63 年　愛媛大学卒
日本泌尿器科学会認定
泌尿器科指導医
日本泌尿器科学会認定
泌尿器科専門医

おおいわ　ゆうこ
大岩　裕子

（非常勤）
平成 23 年　山口大学卒

### 診療内容と科の特色

当科は前立腺や腎、膀胱がんをはじめ、各種原因による排尿障害、ED 等幅広く、泌尿器科疾患全般の診療を行っています。

2004 年より倉敷市では前立腺癌検診が始まり、多くの方が PSA（前立腺癌の腫瘍マーカー）の検査（血液）を受けられました。これにより病気の早期発見が可能となりました。泌尿器科医としては非常に喜ばしいことと思っております。

高齢化社会がすすんでおりますが、高齢者にとって排尿状態の改善は非常に重要であり、患者様の QOL の向上を目指し診療を行っていきます。

### 主な検査、診断機器とその説明

**腹部起音波検査**

腎臓、膀胱、前立腺の形態や大きさを診断します。

**尿流量測定**

測定器に向かって排尿をしていただき、尿の勢い、排尿量を計測します。

**膀胱鏡**

尿道から膀胱内にカメラを挿入し、膀胱の内部を観察します。膀胱癌の診断に役立ちます。

**経直腸的前立腺針生検**

前述の通り 2004 年から前立腺癌検診が始まり、当科にも多くの二次検査が必要な方が受診されるようになりました。それに伴い、2004 年より、当院でも前立腺針生検を 1 泊 2 日で行っております。
癌の早期診断には非常に重要な検査です。

## 眼 科

楠（くす）　理代（まさよ）

（非常勤）
平成 7 年 川崎医科大学卒
日本眼科学会認定眼科専門医

岡本（おかもと）　直記（なおき）

（非常勤）
平成 23 年　川崎医科大学卒

### 診療内容と科の特色

目の疾患全般を対象とします。当院の眼科は、川崎医科大学眼科学教室の関連先の一つとして機能しており、難易度の高い疾患は大学病院と連携しつつ、間口を広く、眼科の病気すべてを診療いたします。

当科の目標は、積極的な医療により、特にご高齢の方の QOL（クオリティ・オブ・ライフ：生活の質）を少しでも上昇させることです。

### 主な検査、診断機器とその説明

細隙灯顕微鏡、倒像眼底鏡、直像眼底鏡、眼底カメラ、静的視野計、動的視野計、非接触型自動眼圧計、オートレフラクトメーター、ケラトメーター、角膜内皮測定装置、マルチカラーレーザーなどがあります。

プライマリーケア

まえみょうりき　まどか
前明力　窓佳

昭和 59 年　東京医科歯科大学卒

訪問診療部

部長　櫻井　恵（総合内科専門）

小出　尚志（循環器内科）

林　里美（糖尿病・一般内科）

<u>診療内容と科の特色</u>

当院は、機能強化型在宅療養支援病院です。
ご自宅に居ながら医療を受けることが出来る仕組みで、医師が定期的に訪問し、診療、薬の処方、療養上の相談、指導等をいたします。
あわせて訪問看護や訪問リハビリの利用もできます。
総合内科として全身を診ながら、消化器、循環器、糖尿病など専門治療を行います。

訪問診療の利点

1.定期的に診療を受けながら、住み慣れた自宅で過ごせます。
2.辛い移動や病院での待ち時間がありません。
3.福祉サービス（訪問介護等）の対応も可能です。

対象となる方

退院後も自宅での医療ケアが必要な方や自宅での療養を希望される方で、寝たきり状態の方、家族等の助けがないと通院ができない方です。

## 2. 論文

| 著者 | タイトル | 掲載誌名<br>掲載号等・掲載年 |
|---|---|---|
| Hiroyuki Ishiura<br>Takeshi Yasuda<br>et al. | Expansions of intronic TTTCA and TTTTA Repeats in benign adult familial myoclonic epilepsy | Nat Genet<br>2018, 50 : 580-90. |

## 3. 講演活動・学会発表

| 開催日 | 講演・勉強会名 | 会　場 | 演　題 | 演　者 |
|---|---|---|---|---|
| 4/20 | 第 23 回倉敷神経内科<br>懇話会 | 古久賀ホール | BAFME の診断と治療 | 神経内科<br>安田　雄 |
| 6/21 | パーキンソン病エキスパート<br>ミーティング | 倉敷アイビースクエア | ロチゴチンの使用経験からの考察<br>～有用症例から考える～ | 神経内科<br>安田　雄 |
| 7/7 | 大日本住友株式会社<br>社内講演 | 倉敷市民会館 | パーキンソン病 up　to　date | 神経内科<br>安田　雄 |
| 9/12 | 広島県安佐地区学術<br>講演会 | ホテルグランヴィア広島 | パーキンソン病 up　to　date | 神経内科<br>安田　雄 |
| 9/26<br>27 | 第 12 回倉敷圏域病院長の<br>集い | 倉敷国際ホテル | 地域医療構想～病院の現状と<br>これからの取り組み | 理事長<br>院長<br>小出　尚志 |
| 9/28 | 第 7 回学術講演会<br>in　水島 | 水島協同病院 | ミオクローヌスてんかんについて<br>～BAFME を中心に～ | 神経内科<br>安田　雄 |
| 11/6 | 感染予防対策にかかわる合<br>同カンファレンス | 倉敷中央病院 | 疥癬 | 内科<br>副院長<br>矢野　達俊 |
| 11/27 | 誠和会定期勉強会 | 福寿荘ホール | インフルエンザについて | 内科<br>副院長<br>矢野　達俊 |
| 12/26 | 興和創薬岡山営業所<br>社内研修会 | 興和創薬岡山営業所 | 脳梗塞 2 次予防における降圧剤と<br>スタチンの効果 | 神経内科<br>片岡　敏 |
| 2/23 | エフピー株式会社<br>社内講演 | コートホテル倉敷 | パーキンソン病 up　to　date | 神経内科<br>安田　雄 |

| 開催日 | 講演・勉強会名 | 会　場 | 座長・Opening Remarks<br>Closing Remarks、他 |
|---|---|---|---|
| 4/7 | 第 33 回　西部消化器疾患フォーラム | 倉敷中央病院 | 【座長】<br>消化器内科<br>三宅　正展 |
| 6/21 | パーキンソン病エキスパートミーティング | 倉敷アイビースクエア | 【座長】<br>神経内科<br>安田　雄 |
| 10/20 | パーキンソン病治療セミナーin 倉敷 2017<br>～ハッピーフェイスセミナー～ | 倉敷国際ホテル | 【座長】<br>神経内科<br>安田　雄 |
| 10/28 | 岡山県病院協会<br>平成 29 年度経営管理研究会 | 三木記念ホール | 【座長】<br>理事長・院長<br>小出　尚志 |
| 11/7 | 倉敷てんかんフォーラム | 古久賀ホール | 【Closing Remarks】<br>神経内科<br>安田　雄 |
| 1/27 | 中国神経内科臨床医研究会 | アークホテル岡山 | 【座長】<br>神経内科<br>安田　雄 |

## ４．診療部勉強会

| 月 | 勉強会 | 診療科 | 医師名 |
|---|---|---|---|
| 4 月 | 虫垂炎の診断・治療 | 外科 | 吉田　泰夫 |
| 5 月 | 脳卒中リハビリテーションの考え方と治療手技 | リハビリテーション科 | 伊勢　眞樹 |
| 6 月 | 知っておきたい痛み | 内科 | 櫻井　恵 |
| 7 月 | Values-Based Practice 価値に基づく診療臨床推論モデル意思決定 | 内科 | 林　里美 |
| 8 月 | アスピリン喘息 | 呼吸器内科 | 副院長<br>矢野　達俊 |
| 9 月 | 薬剤性パーキンソニズム | 脳神経内科 | 安田　雄 |
| 11 月 | 回復期リハビリ病棟の現状 | リハビリテーション科 | 鈴木　康夫 |
| 1 月 | 倉敷紀念病院における慢性 C 型肝炎に対するインターフェロンフリー治療の現状 | 消化器内科 | 三宅　正展 |
| 2 月 | 医師法・医師の行政処分について | 循環器内科 | 理事長　院長<br>小出　尚志 |
| 3 月 | 偽　アルドステロン症 | 内科 | 立古　浩雅 |

## 5. 広報誌 SAY 和 ドクタートーク掲載

| 月 | タイトル | 診療科 | 医師名 |
|---|---|---|---|
| 4 月<br>春号 | KARTE 09<br>パーキンソン病の過去、現在、未来 | 脳神経内科 | 安田　雄 |
| 10 月<br>秋号 | KARTE 10<br>動けない人のためのリハビリテーション科 | リハビリテーション科 | 伊勢　眞樹 |
| 1 月<br>冬号 | KARTE 11<br>脳と時間 | 脳神経内科 | 片岡　敏 |

## 6. 協力型臨床研修病院　研修医受入実績　　担当分野：地域医療

| 月 | 所属 | | 氏名 | 志望科 |
|---|---|---|---|---|
| 10 月 | 倉敷中央病院 | 研修医 2 年目 | 松下　俊輔 | 循環器内科 |
| 12 月 | 倉敷中央病院 | 研修医 2 年目 | 林　智子 | 脳神経外科 |

# 看護部

看護部長　齋藤　美和子

## 1. 看護部の理念

### 看護理念

人の尊厳と権利を尊重し　地域住民の健康と　QOL の向上を支援します

### 行動指針

1. 一人ひとりのライフスタイルを大切にします。
2. その人の最も適した場所で生活が送れるよう支援します。
3. 患者様の安全・安心・安楽を最優先し、室の高い看護ケアを提供します。
4. 多職種協働により密度の高い看護ケアを提供します。
5. 看護連携により途切れのない看護を提供します。

### 看護部目標

1. 安全で丁寧な看護サービスを提供する
2. 個人の尊厳と権利を尊重する
3. チーム医療を推進する
4. 能力の開発と育成に努力する
5. コスト意識を持つ

## 2. 平成 29 年度看護部目標

### 看護管理

人を思いやり大切にする職場と温もりのある看護の提供

### 外来

個々に寄り添う心に響く看護の提供

### 一般病棟

多職種カンファレンスで、個々に合わせた退院支援をおこないます

### 療養病棟・地域包括ケア病床

多職種連携でひとり一人に合わせた退院支援をおこないます

### 回復期リハビリテーション病棟

患者さんの個々のニーズに合わせた看護・介護を行い、多職種と共同した
社会復帰や在宅復帰を支援します

### 特殊疾患病棟

笑顔を忘れず患者・家族にやさしい看護を提供します

## 3. 平成 29 年度の取り組み

1.昨年度に続き今年度も、新卒看護師と実地指導者を対象に、川崎医科大学付属病院　臨床教育センターにて救急看護認定看護師よりフィジカルアセスメント・急変時の対応の 2 項目について講義を受ける。

受講した新卒看護師からは、講義だけでなく、実技を通して直接アドバイスが受けられ、その場で修正することができて良かったと、また、実地指導者においては、実際の現場での指導方法や、自らの振り返りができ、今後の新人教育や、看護実践に活かしていきたいという声が聞かれた。

2. 看護部勉強会では、外部より、前年度と同じく皮膚・排泄ケア認定看護師、癌看護専門看護師を講師に迎え、前年度からの自分たちの取り組みを振り返り、新たな疑問、課題に気づくことができ、今後の看護ケアに活かせる、良い学びとなった。

3. H29 年 6 月病院機能評価 3rdG:Ver.1.1 受審に向け、各種手順・基準の見直し、倫理検討会の開催や多職種で機能評価模擬受審等を重ね、認定を得ることができた。

4. 退院支援看護師の育成を目的に訪問看護師研修を行った。病棟から退院した患者を中心に当院の訪問看護ステーションの協力の下、7 名の中堅看護師が訪問看護師に同行し、在宅訪問することができた。

**4. 院内・外における看護研究発表会**

［ 院内看護研究発表会 ］

H30 年　2 月 18 日（土）　13:00～15:00　　福寿ホール　参加人数　75 名

| 部署 | 演　　題 | 発表者 |
|---|---|---|
| 2 F | 内服薬インシデント減少に向けた取り組み<br>～内服管理方法の見直しと業務改善～ | 藤井　珠史 |
| 3 F | 絶食・経管栄養患者の口腔ケアの定着を目指して<br>～病棟スタッフの意識の変化～ | 亀山千代美 |
| 4 F | 回復期リハビリテーション病棟スタッフの退院支援に対する行動の変容<br>～チームで実施する患者家族が望む支援～ | 疋田　範子 |
| 5 F | 家族満足度向上に向けての取り組み | 山元　麻由 |
| 外　来 | 口腔乾燥症・慢性咽頭炎患者への口腔ケア指導<br>～効果的な口腔ケアに繋がるパンフレットを活用した指導～ | 坂口　麻里 |

[院外研修]

| 分野 | 会期 | 研修名 | 主催（開催地） |
|---|---|---|---|
| 管理者研修 | 9/16～4 日間 | 看護管理者在宅医療研修 | 岡山県看護協会 |
| | 10/27・28 | 経営管理者研修会 | 岡山県看護協会 |
| | 12/7 | 第 4 回看護研究会　管理者研修会<br>看護補助者活用推進のための看護管理者研修 | 岡山県病院協会 |
| | 12/7 | 中堅看護職の多様な働き方を考える | 岡山県看護協会 |
| | 3/28・29 | 診療報酬・介護報酬改定説明会 | 岡山県看護協会 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 感染 | 2/25 | 「手術室・中材」感染対策セミナー | NPO 日本感染管理支援協会 |
| 医療安全 | 7/1～2/21 | 医療安全管理者養成研修 | 岡山県看護協会 |
| | 9/16 | 第10回岡山医療安全研究会 RCA手法を学ぶ！ | 岡山県立大学 岡山医療安全研究会 |
| | 11/6 | リスクマネジャー研修会・交流会 | 岡山県看護協会 |
| | 12/4 | 薬はリスク～薬剤による医療事故を回避しよう～ | 岡山県看護協会 |
| | 3/10 | 第11回岡山医療安全研究会<br>多職種で取り組む！転倒・転落の予防 | 岡山国際交流センター |
| 教育 | 4/20 | 地域包括ケアの深化・推進ワークショップ | 岡山県看護協会 |
| | 5/13 | 看護大会 | 岡山県看護協会 |
| | 6/17 | 第1回看護研究会 （新任看護師教育研修会） | 岡山県病院協会 |
| | 8/8 | 第2回看護研究会 看護補助者教育研修会 | 岡山県病院協会 |
| | 10/6 | 第3回看護研究会 中堅看護師教育講座 | 岡山県病院協会 |
| | 11/1～5日間 | 新人看護職員実地指導者研修 | 岡山県看護協会 |
| | 11/8～5日間 | 新人看護職員教育担当者研修 | 岡山県看護協会 |
| 専門 | 5/14 | CAPEポジショニングセミナー | 株式会社ケープ |
| | 5/20 | 認知症ケア対応研修会 | 第一三共（岡山赤十字病院） |
| | 5/26 | 心不全患者の看護 | 岡山県看護協会 |
| | 6/17 | 心電図を理解して看護に活かす | 岡山県看護協会 |
| | 6/18 | ’17 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修 | 日本臨床看護マネージメント学会 |
| | 7/8 | 倉敷リハビリテーション看護研究会「療養生活支援における多職種の取り組みと病院看護師に望むこと」 | しげい病院 |
| | 7/29 | 第27回看護セミナー「自分で決める」に寄り添う看護～高齢者の意思決定支援～ | 倉敷平成病院 |
| | 8/10 | 認知症のある高齢者への対応 | 岡山県看護協会 |
| | 8/20 | FIM講習会 in 倉敷 | 川崎医科大学リハビリテーション医学教室 |
| | 8/22 | ナースが知りたい画像やデータの読み方 | 岡山県看護協会 |
| | 9/30 | 岡山コンチネンスケア研修会 | ユニチャームメンリッケ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 10/11 | 呼吸管理 | 岡山県看護協会 |
| | 10/19 | うつ病患者のサインを見逃さない | 岡山県看護協会 |
| | 10/28 | 岡山県がん看護セミナー2017 | 岡山赤十字病院 |
| | 10/31～4 日間 | 退院支援看護師研修　基礎編 | 岡山県看護協会 |
| | 11/18・19 | 平成29年度　第5回がんのリハビリテーション研修 | 国立看護大学校 |
| | 11/25 | 倉敷コンチネンスケア研究会 | しげい病院 |
| | 12/16・17 | kurafuku 介護力スキルアップ研修会 | くらしき総合福祉専門学校 |
| | 12/14 | 施設における看取りの看護 | 岡山県看護協会 |
| | 1/20 | 第 13 回　おかやま足を守る会 | 倉敷在宅総合ケアセンター |
| | 2/4 | 第 19 回岡山県消化器内視鏡技師研究会 | 川崎医科大学付属病院 |

5. 実習受け入れ

| | | |
|---|---|---|
| 倉敷中央高校看護科 1 年生 | 7/11 | 15 名 |
| 倉敷中央高校看護科 2 年生 | 5/15～6/ 2 | 15 名 |
| 倉敷中央高校看護科 3 年生 | 6/12～7/7 | 14 名 |
| | 10/2～10/20 | 14 名 |
| 倉敷中央高校専攻科 1 年生 | 11/ 28～12/8 | 8 名 |

## 6．地域との関わり

1）ふれあい看護体験

5/20(土) 8:30～12:30　倉敷市内中学生 2名、高校生 10名参加

2）チャレンジワーク

11/2 連島中学校 1名　　11/10 倉敷第一中学校 1名

11/16 倉敷南中学校　　11/22 倉敷西中学校 1名

3）倉敷中央高校社会人講演会「職業人の話を聞く会」

10/30(月) 講師 行守師長

4）　ボランティア

倉敷中央高校看護科2年生1名、3年生7名

倉敷中央高校専攻科2年生1名

期間:7/28(水)～8/21(月)までの5日間

## 6. 介護士の取り組み

・第1・第3水曜日に3F の入院患者を対象にデイルームにて院内デイケアを行っている。参加者8～10名/回、時間1回1時間程度、歌やゲーム、ぬり絵、季節ごとの作品作り等を行っている。

・8/5(土) 夏祭り　　療養病棟・回復期リハビリテーション病棟

・12/9(土) クリスマス会　　療養病棟・回復期リハビリテーション病棟

# 2017年度看護部教育プログラム

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| トピックス研修 | 記録について（機能評価受診に向けて） | 倫理について | | 褥瘡について（認定看護師） | 認知症ケア | KYT | 看取りのケア（認定看護師） | 退院支援 看護師の役割 | 睡眠薬と転倒 | 出張報告会 | 看護研究発表 | 看護の振り返り （卒後2年目） |
| 12:50～13:30 | 4/26 | 5/24 | | 7/26 | 8/23 | 9/27 | 10/25 | 11/22 | 12/27 | 1/24 | 2/17 | 3/28 |
| 新人研修 | 集合研修 | 看護必要度 他 | トランスファー講習会　他（リハビリ） | 感染予防　他 | フィジカルアセスメント（川大） | BLS（川大） | 薬剤について | | | トランスファー講習会（リハビリ） | | |
| | 4/5・6・7・10 | 5/18 | 6/13 | 7/6 | 7/25 | 8/1 | 9/14 | | | 1/25 | | |
| 新人研修・トピックス | | 1か月フォローアップ研修 | | 3か月フォローアップ研修 | | | | 7か月フォローアップ研修 | | | | 振り返り 心に残った看護場面 |
| | | 5/9 | | 7/11 | | | | 11/9 | | | | 3/27 |
| 看護補助者研修 | | 医療制度の概要 | 食品の衛生管理について | 業務上の責任・個人情報 | 感染予防の基礎知識 | 疥癬について | 日常生活援助 移乗・清潔 | 日常生活援助 食事・排泄 | FIMについて | 医療安全の基礎知識 | | 5F |
| 13:00～13:30 | | 5/18 | 6/16 | 7/20 | 8/17 | 9/15 | 10/19 | 11/16 | 12/15 | 1/18 | | 3/16 |
| 中途採用者研修 | 集合研修 | | | | 1回目茶話会　第1GP | | | | 1回目茶話会 第2GP | | | 振り返り研修 |
| | 4/5・6・7・8 | | | | 8/4 | | | | 12/5 | | | 3/9 |
| 管理者研修 | 倫理検討会 | 倫理検討会 | 模擬 ケアプロセス | | | 出張報告会 | | 倫理検討会 | 倫理検討会 | | | 出張報告会 |
| | 4/19 | 5/17 | 6/21 | | | 9/20 | | 11/15 | 12/20 | | | 3/20 |
| 教育委員会 | | | | | | | | | | | | |
| | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 | 13:00～14:00 |
| 担当 | 5F | 外来 | 2F | 3F | 4F | 5F | 外来 | 2F | 3F | 4F | 5F | 外来 |
| 記録 | 4F | 5F | 外来 | 2F | 3F | 4F | 5F | 外来 | 2F | 3F | 4F | 5F |

部長　景山　靖

# 薬剤科の取り組み

1. スタッフ

薬剤師８名、薬剤助手１名の計９名体制

当院は、併設の老健施設等を含め、ご高齢の方が多くいらっしゃいます。病棟薬剤業務や服薬指導を通じ、患者さま個々のお薬に関する困りごとに対して、薬剤師として何ができるかを考え、主治医や他職種と共同して、日々業務を行っております。薬剤科では、スタッフ一同、「医薬品の適正使用」を合言葉に、入院から退院、そして退院後の生活を見据えたお薬に関する連携を目指しております。お薬の一包化、残薬調整、重複投与の確認やポリファーマシー解消への取り組みも行っており、かかりつけ薬局との薬薬連携も大切にしています。

2. 活動報告

| 日付 | 活動内容 |
|---|---|
| H29.5.8～<br>H29.7.21 | 長期実務実習生受け入れ　　就実大学　　５年生　１名 |
| H29.7.7 | 早期臨床体験学習受け入れ　就実大学　　１年生　３名 |
| H29.9.4～<br>H29.11.17 | 長期実務実習受け入れ<br>京都薬科大学　５年生　１名 |
| H29.9.8 | チャレンジワーク受け入れ　　新田中学校　2年生　１名 |
| H29.9.14 | 看護部新人研修　講師 |
| H29.9.20. | 糖尿病教室講師　「万が一！災害に備えて」 |
| H29.10.21～<br>H29.10.22 | 日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会　中国四国支部学術大会<br>「老健施設における高齢者ポリファーマシー解消への取り組み」 |
| H29.10.31 | チャレンジワーク受け入れ　　連島中学校　2年生　１名 |
| H29.11.9 | チャレンジワーク受け入れ　　第一中学校　2年生　１名 |
| H29.11.14 | チャレンジワーク受け入れ　　南中学校　　2年生　１名 |
| H29.11.21 | チャレンジワーク受け入れ　　西中学校　　2年生　１名 |
| H30.1.25 | 健康づくり教室　講師　「お薬の正しい服用方法」 |
| H30.2.16 | わが街健康プロジェクト　お薬相談 |
| H30.3.26 | 教育委員会　勉強会　講師<br>「医薬品安全管理者より　ヒヤリハット報告からの・・・」 |

## 3. 薬事審議会

採用薬剤　22 剤

中止薬剤　60 剤(名称変更、後発への切り替えも含む)

後発医薬品への採用切り替え　13 剤

先発と後発の二重採用を見直し、後発医薬品への一本化を行い、採用薬剤の整理を行った。

また、先発医薬品をオーソライズドジェネリックへ切り替え、薬剤費のコスト削減に努めた。

## 4. 医薬品安全管理委員会

DIニュースの発行

H29. 4 月「しゃっくり」

H29. 5 月「光線過敏症について」

H29. 6 月「血管外漏出に注意すべき薬」

H29. 7 月「インスリン自己注射の留意点」「単独で使用する注射剤」

H29. 8 月「当院採用注射用抗菌薬一覧」

H29. 9 月「ビタミン剤」

H29.10 月「腎機能による投与量②」

H29.11 月「風邪薬とは」

H29.12 月「徐々に減量していく薬剤一覧」

H30. 1 月「当院採用漢方薬の適応」

H30. 2 月「血液サラサラのおくすりの種類①」

H30. 3 月「血液サラサラのおくすりの種類②」

## リハビリテーション部

統括部長　伊勢　眞樹

**リハビリテーション科の基本理念**

メディカルからヘルスケアへ　～治す・支える・看取る医療の実践～

**活動理念**

スタッフの理論・技術は障害を持つ人の家庭生活の向上・継続に貢献することで価値を持つ

**活動の原則**

障害を持つ人の恢復（回復・機能再建）能力を生かした日常生活の自立への援助は、障害を理解し熱意と専門的技能を持ち、熟練に必要な指導を受けたもので達成されなければならない

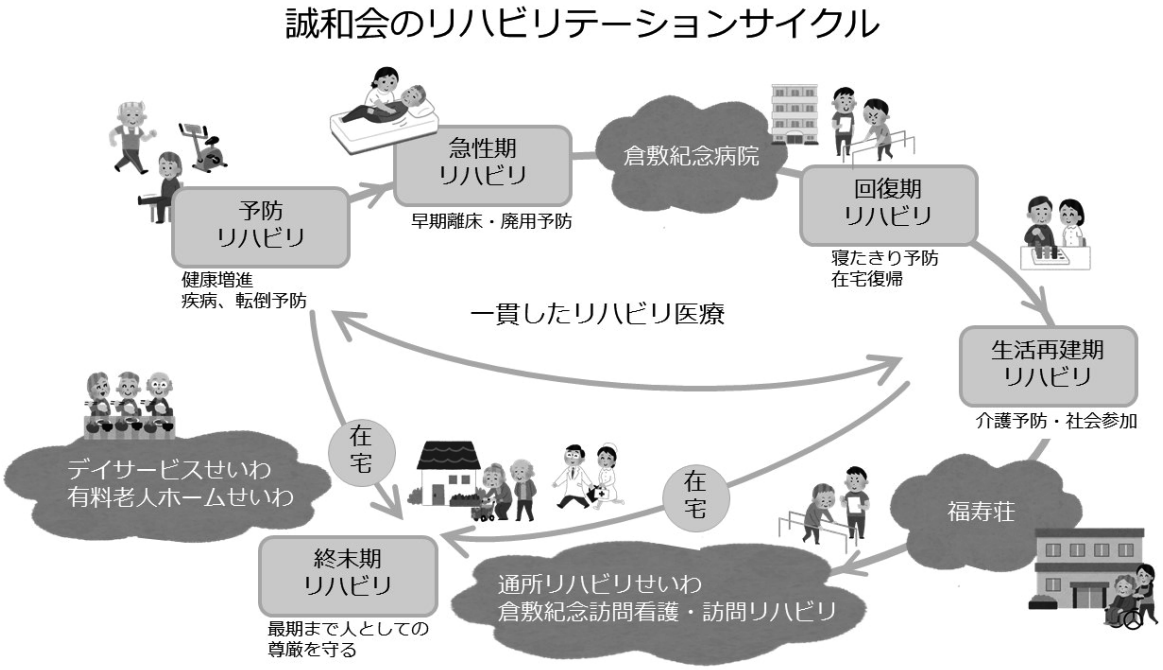
**将来像**

高品質のリハ医療の投与が可能な世界水準のリハ科を目指す

日本のリハ医療のロールモデルとなる

県内西部地域医療圏におけるリハ医療の中核センター及びマグネットセンターとなる

地域の患者・住民、保険・医療・福祉関係者に賞賛されるリハ科となる



**職種・人員(H30.4)**

| 職種 | 理学療法士 | 作業療法士 | 言語聴覚士 | 助手 | 音楽療法士 | 歯科衛生士 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院 | 24名 | 17名 | 5名 | 2名 | 1名 | 2名 | 51名 |
| 通所リハビリ | 5名 | 2名 | − | − | − | − | 7名 |
| 老人保健施設 | 5名 | 4名 | 1名 | − | − | − | 10名 |
| 訪問リハビリ | − | 3名 | − | − | − | − | 3名 |
| 有料老人ホーム | − | − | 1名 | − | − | − | 1名 |
| デイサービス | − | 1名 | − | − | − | − | 1名 |
| 合計 | 34名 | 27名 | 7名 | 2名 | 1名 | 2名 | 73名 |

**保有資格**

3学会合同呼吸療法認定士、日本糖尿病療養指導士、介護支援専門員、介護福祉士、福祉住環境コーディネーター、AMPS講習会受講修了、ボバース講習会受講修了、DVTM(リンパドレナージュ)、認定作業療法士、レクインストラクター、ファンクショナル・ローラーピラティス・ベーシックインストラクター、フットケアトレーナー、岡山県摂食嚥下リハビリ上級コース修了、 キネスティクスベーシックコース修了、認知症ライフパートナー、認知症ケア専門士、生活行為向上マネジメント実践者研修修了、生活行為向上リハビリテーション研修会修了、地域包括ケア推進リーダー、介護予防推進リーダー、心電図検定

**療法士の出身校（順不同）**

吉備国際大学、川崎医療福祉大学、岡山医療技術専門学校、専門学校川崎リハビリテーション学院、玉野総合医療専門学校、専門学校福嶋リハビリテーション学院、YMCA米子医療福祉専門学校、関西医療技術専門学校、広島県立保健福祉大学、前橋医療福祉専門学校、県立広島大学、青丹学園関西学研医療福祉学院、穴吹リハビリテーションカレッジ、広島国際大学、広島大学、朝日医療専門学校、群馬大学、沖縄リハビリテーション福祉学院、姫路獨協大学、四国中央医療福祉総合学院

## 1．チーム

「量」から「質」へ　特徴あるリハビリテーション科に向けた組織体制

| | チーム名 | 取り組み |
|---|---|---|
| 病院　リハビリテーション科 | 心臓リハビリテーション<br> | 毎週月曜日、心リハ症例のカンファレンス実施<br>毎月開催される心不全連携の会（倉敷中央病院）への参加<br>心リハ連携の会（倉敷中央病院）への参加<br>2017 年、日本心臓リハビリテーション学会　学術集会で発表<br>「心リハスタッフ教育マニュアル」の策定し、運用<br>倉敷中央病院からの外来心リハ連携 |
| | 電気磁気刺激療法<br> | 各々の知識、技術向上を目的に論文抄読会や実技などを実施<br>電気刺激が必要と思われる患者に対しチームで症例検討会を実施<br>電気刺激療法に準ずる機器や臨床において有効と思われる評価指標や物品に対する検討の実施<br>磁気刺激装置を利用した患者への効果の検討<br>上記に向けてのデータ収集と評価法の選択 |
| | リハビリテーション栄養 | リハビリテーション栄養に関する研修会・学会への参加<br>日本リハビリテーション栄養学会学術集会で発表<br>NST 活動への参加<br>当院入院患者の栄養状態把握 |
| | 認知症 | MMSE カットオフ値以下の患者に対して脳活性化リハビリテーション５原則を用いて治療を行い、MMSE、DBD、FIM の関係性について報告集を作成<br>MCI 抽出目的として入院患者に対して Moca-J の実施 |
| | テクノエイド | 診療・自立支援に有効な福祉機器や用具の導入検討<br>患者に適した福祉用具等の選定をするためのフローチャートを作成<br>福祉用具業者を講師に招き勉強会の開催 |
| 通所リハビリ | リハビリテーション<br>マネジメント | 生活行為向上リハビリテーション研修参加<br>リハビリテーションマネジメント加算Ⅱの積極的算定<br>社会参加支援加算算定　　中重度者ケア体制加算算定 |
| | 地域高齢者自立支援 | 転倒骨折予防教室への参加<br>倉敷市モデル事業「体力アップ健幸教室」実施 |

## 2. 病棟回診

伊勢統括部長と月に二回、吉備国際大学より平上二九三教授を招いて病棟回診を行っています。
4つの視点（臨床像・障害像・心理面・環境面）から患者へのリハビリ介入方針を検討します。

## 3. 音楽療法

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士だけでなく、音楽療法士や歯科衛生士も積極的に活動しています。
それぞれの専門性を活かして、患者様の生活の質（Quality of Life）の向上や心身の機能向上、認知症予防などを目的に、音楽療法に取り組んでおります。
患者様や利用者様の生活が少しでも安らぎ、心から元気になれるよう、お手伝いさせていただきます。

## 4. 口腔ケア

口腔ケアで心と身体の元気サポート！
歯科衛生士が専門的な口腔ケアを行っています。
·誤嚥性肺炎の予防
·飲み込む力の回復
·認知症の予防　などの効果があると言われています。

## 5. 院内・外における研究発表

【 学会発表 】

| 筆頭演者 | 学会名・発表先 | 発表テーマ | 開催 |
|---|---|---|---|
| 小浜　尚也 | 第 18 回日本言語聴覚学会 | 病前からの聾に加え表記不能型ジャルゴン失語を呈した1例 | 6 月 |
| 但住　美乃里 | 第 23 回<br>岡山県理学療法士学会 | アルツハイマー病を呈した骨盤骨折・左踵骨骨折患者の二重課題処理能力に対し介入し転倒リスク軽減を図った一例 | 6 月 |
| 小林　万里子 | 第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 | 外来心臓リハビリテーション実施前後における活動能力と社会参加の実態 | 7 月 |
| 水田　泰博 | 第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 | 高齢心不全患者における認知機能低下者の移動能力回復過程に関する検討 | 7 月 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 松岡　丈司 | 第 28 回全国介護老人保健施設大会 | 当荘を退所した利用者と退所できなかった利用者の比較～ADL 能力に着目して～ | 7 月 |
| 谷　有人 | 第 51 回日本作業療法学会 | 外来パーキンソン病患者の QOL と作業療法実施内容との関連性の検討 | 9 月 |
| 横関　彩佳 | 第 23 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 | 頸部に干渉刺激装置を併用し嚥下訓練が有効だった脳梗塞の一例 | 9 月 |
| 小浜　尚也 | 第 15 回<br>日本臨床医療福祉学会 | 施設外リハビリテーションの実施により社会復帰に向けた目標設定が可能となった前頭側頭型認知症の一例 | 9 月 |
| 小浜　尚也 | 第 10 回アジア環太平洋音声言語聴覚学会学術大会 | FACTOR ANALYSYS OF EMOTIONAL BEHABIOR EVALUATIONS AMONG BRAIN DAMAGED PATIENTS | 9 月 |
| 小林　孝彰 | 第 2 回岡山県地域包括ケアシステム学会学術大会 | 当院通所リハビリにおける介護予防事業「体力アップ健幸教室」の取り組み | 10 月 |
| 小林　孝彰 | リハビリテーション・ケア合同研究大会<br>久留米 2017 | 当院通所リハビリテーションにおける生活行為向上リハビリテーションから見えてきた課題と対策 | 10 月 |

【 リハビリテーション科新人研修発表会 】

平成 29 年　2 月 20 日(火)　17:10～　　リハビリ室

| 発表者 | 演　　題 |
|---|---|
| 理学療法士<br>藤川　千賀子 | 多疾患を抱えた 80 歳代廃用症候群の症例に対して疾患別の性質に着目した介入により廃用の悪循環から脱却できた一例 |
| 理学療法士<br>尾崎　史昌 | 固有感覚へのアプローチによって動的バランス改善がみられた症例<br>～転倒予防に向けたアプローチ～ |
| 理学療法士<br>幡井　佑哉 | 歩行距離延長を目標に介入する中で介入方針の変更を経験した一例<br>～行きつけの喫茶店に再び通うために～ |
| 理学療法士<br>寺町　啓志 | 閉塞性動脈硬化症による間欠性跛行の症状に着目し歩行距離の延長を目標に介入した症例 |
| 理学療法士<br>池田　大貴 | 間欠性跛行を呈した第5腰椎横突起骨折・仙骨骨折患者の歩行能力の改善を認めた一例　～立位アライメント修正に対するアプローチ～ |

## 6. 実習受け入れ

| | 実習・研修依頼先機関名 | 受入人数 | | | 実習・研修目的 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | PT | OT | ST | |
| 病院　リハビリテーション科 | 川崎医療福祉大学 | 2 | 2 | 2 | 理学療法臨床実習、作業療法臨床実習<br>言語聴覚臨床実習 |
| | 吉備国際大学 | 2 | 2 | 0 | 理学療法臨床実習、総合臨床実習、<br>臨床評価実習、臨床見学 |
| | 岡山医療技術専門学校 | 2 | 2 | 0 | 総合臨床実習、見学実習、評価実習 |
| | 川崎リハビリテーション学院 | 1 | 0 | 0 | 総合臨床実習 |
| | 玉野総合医療専門学校 | 1 | 1 | 0 | 臨床評価実習、総合臨床実習 |
| 福寿荘　リハビリ | 川崎医療福祉大学 | 0 | 1 | 0 | 作業療法臨床実習 |
| | 福山医療専門学校 | 0 | 1 | 0 | 作業療法臨床実習 |

**倉敷紀念病院　リハビリテーション科**

急性期から回復期・維持期まで、病棟に応じてトータルなリハビリの提供に努めています。 機能回復や日常生活動作の改善に向けて、それぞれの患者さまに合わせた診療を実施しています。 脳卒中などの脳血管疾患、骨折や関節炎などの運動器疾患、肺炎などの呼吸器疾患、パーキンソン病などの神経難病を対象とし、多職種でのチームアプローチを行っています。

**介護老人保健施設　福寿荘リハビリ**

利用者それぞれのこれまでの生活をふまえ、その人らしく今後を過ごすために必要な身体機能、日常生活動作の向上に向けたプログラムを一緒に考えていきます。

**倉敷紀念病院　通所リハビリ**

ご利用者の「したい」を「できる」へ

利用者さまの「したい」の実現に向けた生活行為動作練習を行い、役割の創出と日常生活の自立に向けたリハビリテーションを提供します。

**倉敷紀念　訪問看護ステーション（訪問リハビリ）**

ご自宅に伺い、年齢・性別・持病・生活環境に合わせて、個別の運動や介助指導などを実施します。

血圧や脈の測定、聴診をおこない、その日の体調に合わせて、リハビリします。

「外出したい」「トイレまで歩いて行きたい」など、希望に沿ったリハビリをします。

介護統括　景山　靖

# 介護老人保健施設　福寿荘

施設長　發坂　耕治

医師紹介（平成 30 年 9 月 1 日　現在）

施設長　發坂（ほっさか）　耕治（こうじ）

施設紹介

## 介護老人保健施設　福寿荘は、在宅復帰を目指すリハビリテーション施設です

【施設運営の方針】

1.当施設では、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、施設サービス計画に基づいて、必要な医療・看護・介護・リハビリテーションその他、日常生活上のケアを行い、居宅における生活への復帰を目指します。

2.従業者は利用者の意志及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って介護老人保健施設サービスの提供に努めます。

3.従業者は、明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、居宅介護支援事業者その他保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めるとともに、関係市区町村とも連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。

## 平成30年1月より在宅強化型老健となりました

在宅復帰率、回転率、重症度の三要件を満たし、在宅強化型老健となりました。地域包括ケアの目的である住み慣れた地域の中で安心して生活を送っていただけるよう、スタッフ一丸となって今まで以上に取り組んでまいります。

# デイサービス　せいわ

施設長　小野　玉枝

**デイサービスふれあい参観日**

日　程:平成 30 年 3 月 3 日(土)　13 時～14 時 30 分

場　所:デイサービスせいわ(在宅センター内)

参加者:デイサービス利用者様とご家族様

デイサービスをご利用いただいております利用者様のご家族様に日頃のデイサービスでの様子を知っていただきたく計画しております。一年間の日頃の様子を写真に撮り、フロア内に掲示し観覧していただきました。

毎月行っている料理教室（ガチマヤ）でつくった“はったい粉のおはぎ”を今回はご家族様と一緒に作っていただきました。

# 介護部門の取り組み

## 1. 介護部門勉強会

日程:第 2 水曜日 12:50～ 約 40 分 (年間 8～10 回開催)

場所:老健施設 福寿荘1階ホール

介護職員としてのサービス向上に必要な看護・介護知識を得るために、誠和会全体の介護職員を中心に企画し取り組んでいます。

【平成 29 年度実績】

| 月日 | テーマ | 講師・担当者 |
|---|---|---|
| 5 月 10 日 | 高齢者がよく服用する薬について | 外部講師 |
| 6 月 14 日 | パーキンソン病について | 倉敷紀念病院 安田雄医師 |
| 7 月 12日 | 口腔ケア | 誠和会 歯科衛生士 |
| 8 月 9 日 | 肺炎 | 外部講師 |
| 9 月 13 日 | VFについて | 誠和会 言語聴覚士 |
| 10 月 11 日 | 流動食・トロミについて | 外部講師 |
| 11 月 8 日 | 在宅での転倒予防 | 外部講師 |
| 12 月 13 日 | ポジショニングについて | 誠和会 理学療法士・作業療法士 |
| 2 月 14 日 | 福祉用具 | 外部講師 |
| 3 月 14 日 | ターミナルケア | 福寿荘看護師 |

## 2. 介護塾“介護実務勉強会”

日程:第 3 水曜日 17:15～ 15 分程度 （年間 8～10 回開催）

場所:医療法人誠和会 各介護施設内利用

介護職員技術向上に向けての取り組みのひとつです。勉強会で得た知識や、日頃の業務で不安に感じる事を職員同士が集まり、実際に行なうことで安全性の向上また自身の介護負担軽減などを目的に行っている実務勉強会です。

【平成 29 年度実績】

| 月日 | テーマ | 講師(担当) | 場所 |
|---|---|---|---|
| 5 月 17 日 | 声掛けの仕方 | コージー | 福寿荘2階多目的ホール |
| 6 月 21 日 | おむつ交換 | 福寿荘 | 福寿荘 2 階多目的ホール |
| 7 月 19 日 | 入浴介助 | 和 | スターダストホール |
| 9 月 20 日 | 口腔体操 | せいわ | スターダストホール |
| 10 月 18 日 | 嘔吐処理の方法 | 福寿荘 | 福寿荘2階多目的ホール |
| 11 月 15 日 | 装具の装着方法(四肢・体幹) | 通所リハビリ | スターダストホール |
| 12 月 20 日 | ボディーメカニクスをいかした介助 | 福寿荘 | 福寿荘2階多目的ホール |
| 2 月 21 日 | 嚥下しやすい食事介助の仕方 | せいわ | スターダストホール |
| 3 月 28 日 | 手浴・足浴 | 通所介護 | スターダストホール |

### 3. せいわいきいきサロン

(1)せいわいきいき体操

日程:毎月第1・第3木曜日　14:30～15:30(約1時間)

場所:誠和会在宅センター(1階レストラン木蘭)

参加者:地域の方々の自由参加

近隣の方々が、住み慣れたこの地域でいつまでも生活していただけるように、微力ではありますが、介護予防を目的にした各種運動(ストレッチ、リズム等の運動)、お茶をしながらの楽しい語らい、健康に関するミニ知識勉強会など、誠和会各介護事業所が持ち回りで行なっている介護予防サロンです。

(2)おしゃべりカフェ

日程:毎月第2木曜日　14:30～16:00(約1時間半)

場所:誠和会在宅センター(1階レストラン木蘭)

参加者:地域の方々の自由参加

近隣の方々が気軽に集える場として、おしゃべりカフェを開催しています。なじみの友達との語らいの場、友達づくり等を目的に楽しいひと時を過ごしていただける場所を提供しています。

また、今年度より認知症予防への取り組みとしてもカフェをしており、認知機能の低下した方、ご家族、地域の方が気軽に集い、専門家のアドバイスをもらいながら、認知症状の悪化防止や相互交流、情報交換ができる場所としても提供しています。

# リスクマネージメント委員会

委員長　吉田　潤史

## 1. 活動内容

リスクマネージメント委員会およびその下部組織であるリスクマネージャー部会では、ヒヤリハット・医療事故の報告書の提出や急変時対応のデモンストレーションの実施を各部署に呼びかけ、月 1 回開催の会議にて事例の改善案や対策などを検討している。また、医療に係わる安全管理指針の策定や勉強会の実施・参加により、医療安全の推進に努めている。

## 2. 報告書件数

平成 29 年度のヒヤリハット・医療事故報告書の提出件数は下記の通り。

（単位：件）

| 平成29年度 | ヒヤリハット | | | | | 医療事故 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 倉敷紀念病院 | 福寿荘 | 在宅センター | コージー | 和 | 倉敷紀念病院 | 福寿荘 | 在宅センター | コージー | 和 |
| 4 月 | 108 | 94 | 20 | 6 | 5 | 1 | 1 | 4 | 1 | 0 |
| 5 月 | 73 | 47 | 25 | 6 | 9 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| 6 月 | 68 | 69 | 21 | 5 | 12 | 1 | 0 | 5 | 0 | 0 |
| 7 月 | 110 | 70 | 26 | 7 | 6 | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 |
| 8 月 | 135 | 63 | 12 | 6 | 11 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 9 月 | 67 | 73 | 21 | 7 | 14 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 |
| 10 月 | 48 | 76 | 16 | 6 | 9 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 11 月 | 69 | 70 | 21 | 5 | 5 | 0 | 2 | 6 | 0 | 0 |
| 12 月 | 151 | 68 | 24 | 5 | 9 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 1 月 | 214 | 75 | 12 | 5 | 14 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 2 月 | 91 | 35 | 17 | 6 | 2 | 2 | 3 | 2 | 0 | 0 |
| 3 月 | 191 | 55 | 12 | 5 | 11 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 計 | 1,325 | 795 | 227 | 69 | 107 | 13 | 10 | 32 | 4 | 0 |

3. 勉強会

平成 29 年 4 月 4 日
新入職員研修

平成 29 年 5 月 30 日
第 22 回　岡山県南西部医療安全を考える会
テーマ:クレーム対応

平成 29 年 8 月 28 日
院内勉強会
テーマ:MRI 検査でのヒヤリハット事例、有料老人ホームせいわ　ケアロボの導入、集計報告

平成 29 年 9 月 26 日
第 23 回　岡山県南西部医療安全を考える会
テーマ:クレーム対応

平成 30 年 1 月 31 日
第 24 回　岡山県南西部医療安全を考える会
テーマ:自由

平成 30 年 3 月 26 日
院内勉強会
テーマ:医療安全情報、せいわ消防訓練 DVD、集計報告

# 感染対策委員会

委員長　矢野　達俊

【4月】
平成29年3月感染症報告
医師会からの感染報告・・感染性胃腸炎、インフルエンザ等
病棟での疥癬解除について
岡山県下インフルエンザ警報→注意報への切り替わり
倉敷中央病院との合同カンファレンス報告
当院での感染対策委員会主催の勉強会の日程について

【5月】
平成29年4月感染症報告
医師会からの感染報告・・感染性胃腸炎、インフルエンザ注意報等
医療廃棄物庫の施錠について（リスク委員会より）
血液汚染事故マニュアルについて
マニュアルの見直しについて

【臨時】
感染対策マニュアル見直しについて

【6月】
平成29年5月感染症報告
医師会からの感染報告・・インフルエンザ注意報解除について
血液汚染事故マニュアル一部見直しについて
結核の後追いについて
ウエルピア使用量について

【7月】
平成29年6月感染症報告
医師会からの感染報告・・食中毒注意報、腸管出血性大腸菌感染症注意報、感染性胃腸炎について
倉敷中央病院との合同カンファレンス報告
感染性廃棄物ビニール袋導入について（庶務課より）
機能評価について

【8月】
平成29年7月感染症報告
医師会からの感染報告・・感染性胃腸炎、手足口病等
保健所立入検査報告

B 型ワクチン接種について
針刺し事故について
手洗いチェックについて
【臨時】
疥癬発生について

【9 月】
平成 29 年 8 月感染症報告
医師会からの感染報告・・腸管出血性大腸菌感染症、RS ウイルス等
疥癬発生報告
倉敷中央病院との合同カンファレンス報告
手洗いチェックについて
医療廃棄物庫の鍵の持ち出し表について

【10 月】
平成 29 年 9 月感染症報告
医師会からの感染報告・・インフルエンザ等
疥癬発生報告
倉敷中央病院との合同カンファレンス「疥癬」をテーマに当院の発表
11 月 27 日院内勉強会について
医療廃棄物庫の鍵の持ち出し表について

【11 月】
平成 29 年 10 月感染症報告
医師会からの感染報告・・インフルエンザ等
倉敷中央病院との合同カンファレンス報告
インフルエンザ予防接種について

【12 月】
平成 29 年 11 月感染症報告
医師会からの感染報告・・インフルエンザ注意報発令、感染性胃腸炎等
インフルエンザワクチン接種について
耐性菌シンポジウム報告

【1 月】
平成 29 年 12 月感染症報告
医師会からの感染報告・・食中毒注意報・インフルエンザ注意報等
ノロウイルス院内感染予防対策の徹底について

【2 月】

平成 30 年 1 月感染症報告

医師会からの感染報告・・インフルエンザ警報

倉敷中央病院との合同カンファレンス報告

インフルエンザ発生状況について

適時調査報告

【3 月】

平成 30 年 2 月感染症報告

医師会からの感染報告・・インフルエンザ警報等

梅毒患者について

# 糖尿病診療委員会

委員長　林　里美

**1. 糖尿病教室**

(1)糖尿病教室について

月に一回、糖尿病に関する正しい知識、予防や治療についての必要な情報をわかりやすく提供しています。日頃の診療や相談において十分に解決されていない疑問点についてもお答えできる良い機会と考えています。

糖尿病に関係したお話を、紀念病院の医師をはじめとする専門スタッフが中心となり一緒に学習して、正しい自己管理を身に付けていきます。また、年に数回は楽しいお食事会(バイキングなど)で、カロリーの勉強を行います。

開催日　:毎月第3水曜日　13:30～(食事会の日は12:00～)
対象者　:一般の方、ご家族の方、興味のある方ならどなたでも参加できます。
参加費　:食事会のみ500円
場所　　:誠和会在宅センター
会員数　:96名(平成30年4月1日現在)

(2) 糖尿病教室　実績

| 開催日時 | | テーマ | 講 師 | 参加者数（人） |
|---|---|---|---|---|
| 4 月 | 4/19(水)<br>13:30～ | 新年度 1 年の目標！ | 医師 林 里美<br>保健師 | 10 |
| 5 月 | 5/17(水)<br>13:30～ | 歯周病チェックとケア | 看護師<br>歯科衛生士 | 14 |
| 6 月 | 6/21(水)<br>12:00～ | 食事会 | 管理栄養士 | 21 |
| 7 月 | 7/19(水)<br>13:30～ | 糖尿病、何をよくするの？ | 医師 林 里美<br>保健師 | 21 |
| 8 月 | 8/16(水)<br>13:30～ | 暑いけれど運動していますか？ | 理学療法士 | 15 |
| 9 月 | 9/20(水)<br>13:30～ | 万が一！災害に備えて | 医師 林 里美<br>薬剤師 | 21 |
| 10 月 | 10/18(水)<br>12:00～ | 食事会 | 管理栄養士 | 16 |
| 11 月 | 11/15(水)<br>13:30～ | 食べる事や体重管理、どうしてますか？ | 医師 林 里美<br>看護師 | 20 |
| 12 月 | 12/20(水)<br>13:30～ | 合併症のチェック受けていますか？ | 医師 林 里美<br>検査技師 | 19 |
| 1 月 | 1/17(水)<br>13:30～ | 寒くてもコタツもりになってませんか？<br>運動不足を解消！ | 理学療法士 | 19 |
| 2 月 | 2/21(水)<br>12:00～ | 食事会 | 管理栄養士 | 14 |
| 3 月 | 3/28(水)<br>13:30～ | 1 年のまとめ　春に向けて | 医師 林 里美<br>医事課 | 8 |

# 労働安全衛生委員会

委員長　小出　尚志

職員定期健康診断の実施状況（平成 29 年度）

| 職種等 | 常勤者数<br>(a) | 常勤者のうちの<br>受診者数<br>(b) | 常勤者のうち受診していない者の受診していない理由 | 常勤者受診率<br>(b÷a×100) | 非常勤<br>勤務者数<br>(c) | 非常勤者のうち<br>の受診者数<br>(d) | 非常勤者<br>受診率<br>(d÷c×100) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医師・歯科医師 | 16 | 13 | 退職 | 81.3% | 16 | 14 | 87.5% |
| 看護師・准看護師 | 115 | 92 | 退職<br>産休<br>育休 | 80.0% | 12 | 9 | 75.0% |
| 診療放射線技師 | 5 | 5 | | 100.0% | 1 | 1 | 100.0% |
| その他職種 | 155 | 145 | 退職<br>産休<br>育休 | 93.5% | 14 | 13 | 92.9% |

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 深夜労働業務<br>従事者（再掲） | 78 | 78 | | 100.0% | 1 | 1 | 100.0% |
| 放射線業務<br>従事者（再掲） | 15 | 15 | | 100.0% | 1 | 1 | 100.0% |

注）深夜労働業務従事者：午後10時から午前5時までの深夜時間帯に勤務する常勤者
　　放射線業務業務従事者：放射線業務に常時従事する者で、管理区域に立ち入る者

# 教育委員会

委員長　中野　聖也

## 1. 研修・勉強会実施記録

| 研修・勉強会 | 日時 | テーマ | 目　的 | 講師・担当者 |
|---|---|---|---|---|
| 新人研修 | 4月 | オリエンテーション | 誠和会全体並びに各事業所について理解し、地域における役割について知識を深める。医療福祉に携わる人間として必要な知識、技術を習得する。 | 人事等各責任者 |
| 勉強会 | 4 月 24 日 | AED についての勉強会 | AED の基本的な構造と一次救命の手順を勉強し、医療人として適切な対応が出来るようにする | フクダ電子 |
| | 5 月 22 日 | 遺族年金についての勉強会 | 遺族年金についての正しい知識を身につける | 倉敷東年金事務所<br>西山　敏文　様 |
| | 6 月 26 日 | 感染対策勉強会 | 感染対策に関する正しい知識と、その対策を職員に周知する。 | 倉敷市保健所　岡田　様 |
| | 7 月 24 日 | 医療機関における個人情報保護について | 個人情報保護法の意図するところを学ぶとともに、医療機関に固有のリスクについても学ぶ | 損保ジャパン日本興亜<br>官尾　様 |
| | 8 月 28 日 | リスクマネジメント勉強会<br>ヒヤリハット事例報告 | ヒヤリハットの事例報告を共有し、院内のリスク管理に利する | リスクマネジメント委員会 |
| | 9 月 25 日 | 苦情対応のポイント | 苦情の発生する仕組みと、その基本的な対応法を学ぶ。悪質クレームについての対応も学ぶ。 | 損保ジャパン日本興亜<br>官尾　様 |
| | 10 月 23 日 | 在宅酸素について | 在宅酸素の機器や貸し出しの仕組みを学び、普段の医療に活かす | 帝人在宅医療株式会社 |
| | 11 月 27 日 | 感染対策勉強会<br>インフルエンザについて | 流行期を控え、インフルエンザの病理と薬剤などについて再度確認する | 感染対策委員会<br>副院長　矢野 Dr |
| | 12 月 25 日 | 出張報告会 | ・各職員が学んできたことを報告し、職員全体の能力向上を図る。 | コージー、看護部、福寿荘、リハビリ科より |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 1 月 22 日 | BLS についての勉強会・実技 | BLS の仕組みを理解し、実際に AED を用いた実技を通して対応を学ぶ | 川崎医大付属病院 |
| | 2 月 26 日 | 第 33 回 研究発表会 | 職員の医療技術、教養、能力の向上を目指し、学術的な内容の研究発表会を開催する。 | 訪問看護、看護部、リハビリ科 |
| | 3 月 27 日 | リスクマネジメント勉強会 | ヒヤリハットや医療事故事例の説明と改善案等の検討。消防訓練動画の視聴。 | リスクマネジメント委員会 |

2. 誠和会勉強会の様子

平成 29 年 11 月 27 日「インフルエンザについて」

平成 30 年 1 月 22 日「BLS についての勉強会・実技」

## 3. 誠和会研究発表会の様子

＜題　目＞

①「退院支援に向けたリハ科の取り組み～他職種との新たな連携方法～」
　訪問看護ステーション　荒井 真

②「当院リハビリテーション科職員（療法士）の診療報酬外の業務内容調査」
　リハビリテーション科　小林　真由美

③「療養病棟のデイケアにおける取組み」
　3病棟　広重　圭子

会場の様子

## 4. 平成 29 年度実習・研修受入状況

| 施設名 | | 実習・研修依頼先機関名 | 受入<br>人数 | 実習・研修目的 |
|---|---|---|---|---|
| 医療法人　誠和会 | | 市内中学校 | 7 | チャレンジワーク |
| 倉敷紀念病院 | 看護部 | 倉敷中央高校 | 85 | 基礎・老年看護実習、郊外体験学習、成人看護実習 |
| | リハビリテーション科 | 倉敷中央高校 | 3 | 介護実習 |
| | | 川崎医療福祉大学 | 6 | 理学療法臨床実習、作業療法臨床実習 |
| | | 吉備国際大学 | 9 | 理学療法臨床実習、総合臨床実習、臨床評価実習<br>臨床見学 |
| | | 岡山医療技術専門学校 | 6 | 臨床実習、見学実習、評価実習 |
| | | 川崎リハビリテーション学院 | 1 | 総合臨床実習 |
| | | くらしき総合福祉専門学校 | 6 | 介護実習 |
| | | 玉野総合医療専門学校 | 2 | 臨床実習 |
| | 事務部 | 岩手県立宮古病院 | 1 | 社会福祉士実習 |
| | | ソワニエ看護専門学校 | 1 | 現場体験 |
| | 薬局 | 就実大学 | 4 | 長期実務実習 |
| | | 京都薬科大学 | 1 | 長期実務実習、早期体験学習 |
| | 訪問看護 | 川崎短期大学 | 13 | 在宅看護臨地実習 |
| | | 倉敷中央高校 | 8 | |
| 老健施設<br>福寿荘 | 介　護 | 倉敷中央高校 | 12 | 介護福祉実習 |
| | | 岡山医療福祉専門学校 | 4 | 介護福祉実習 |
| | | くらしき総合福祉専門学校 | 8 | 介護福祉実習 |
| | | 川崎医療短期大学 | 2 | 介護福祉実習 |
| | リハビリ | 川崎医療福祉大学 | 1 | 作業療法の基本的知識 |
| | | 福山医療学園 | 1 | 情報収集 |
| | | 岡山医療技術専門学校 | 2 | 施設の形態・業務の流れ |

| | | | |
|---|---|---|---|
| デイサービスせいわ | くらしき総合福祉専門学校 | 2 | 介護実習 |
| | 岡山医療福祉専門学校 | 2 | 介護実習 |
| | 倉敷中央高校 | 21 | 介護実習 |
| | ケアプランセンターふなお | 3 | 実習 |
| 有料老人ホームせいわ | くらしき総合福祉専門学校 | 4 | 介護実習 |
| 小規模多機能「和」 | 岡山医療福祉専門学校 | 2 | 介護実習 |
| 合計人数 | | 211 | |

## 5. 平成 29 年度 学会発表記録

| 部署名 | 報告者 | 発表先 | 発表テーマ | 発表日 |
|---|---|---|---|---|
| リハビリ科 | 名嘉眞 はるな | 第 54 回日本リハビリテーション医学会学術集会 | 嚥下障害を有する廃用症候群患者に対する干渉電流型低周波治療器を用いたリハビリテーション | 平成 29 年 6 月 8 日～10 日 |
| | 水田 泰博 | 第23回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 | 高齢心不全患者のリハビリテーションにおける認知機能低下者の移動能力回復過程に関する検討 | 平成 29 年 7 月 14 日～16 日 |
| | 小浜 尚也 | 第 15 回日本臨床医療福祉学会 | 施設外リハビリテーションの実施により社会復帰に向けた目標設定が可能となった前頭側頭型認知症の一例 | 平成 29 年 9 月 2 日 |
| | 谷 有人 | 第 51 回日本作業療法学会 | 外来パーキンソン病患者の QOL と作業療法実施内容との関連性の検討 | 平成 29 年 9 月 22 日～24 日 |
| | 山上 真弘 | リハビリテーション・ケア合同研究大会 久留米 2017 | 当院外来リハビリテーションの対象者と転帰先の調査 ～平成 28 年度診療報酬改定による影響～ | 平成 29 年 10 月 19 日～21 日 |
| | 中村 康晃 | 第7回日本リハビリテーション栄養研究会学術集会 in Sendai | 回復期リハビリ病棟整形疾患患者に対する KTBC を用いた包括的評価の試み | 平成 29 年 11 月 24 日～25 日 |

# CS 向上委員会

委員長　沼野　晃平

1. クリーン作戦

○月に 1 回敷地内及び周辺地域、雨天時に屋内の掃除を行っている。

実施日：毎月第 3 水曜日 13 時～13 時 15 分

清掃担当者：委員全員＋各部署職員

H29 年度実施実績：各月、年 12 回実施

2. 聞く犬ボックス

○患者様、利用者様の意見を回収する箱を各施設に設置。回収後、各部署責任者に回答してもらい各施設掲示板にてフィードバックを行っている。

回収日：毎週月曜日（祝日の場合は火曜日）

設置場所：病院外来、各病棟、せいわ、福寿荘、コージー、和

H29 年度回答実績：6 月 2 件、 7 月 2 件、 8 月 2 件、 10 月 1 件、 2 月 2 件、 3 月 1 件　 合計 10 件

3. ひだまりの庭管理、職員ロッカー管理

○ひだまりの庭の清掃・水やり当番の管理（実施日：毎日で土日祝以外）、職員ロッカーの清掃当番（実施日：週に 1 回）の管理を行う。

4. ふれあい祭りの総合案内

○CS 向上委員会として、ふれあい祭り会場での総合案内窓口（福寿荘前）を設置して問い合わせ対応やパンフレット配布、拡声器による宣伝活動等を行う。

実施日時：平成 29 年 10 月 28 日（土）委員 7 名参加

5. エコキャップ回収

○回収したエコキャップをリサイクルし、得た資金でポリオワクチンを寄贈している。CS 向上委員会にて集めてくださった団体様よりエコキャップの受取りや贈呈式を行う。

H29 年度回収実績：

・6/7　水島ジーベン　様（約 30 キロ）

・3/5　神亀小学校　様（約 110 キロ）

・3/16　倉敷西小学校　様（約 40 キロ）

## 6. 患者様・利用者様満足度調査の実施

**集計期間 ： 平成 30 年 3 月 1 日～3 月 31 日**

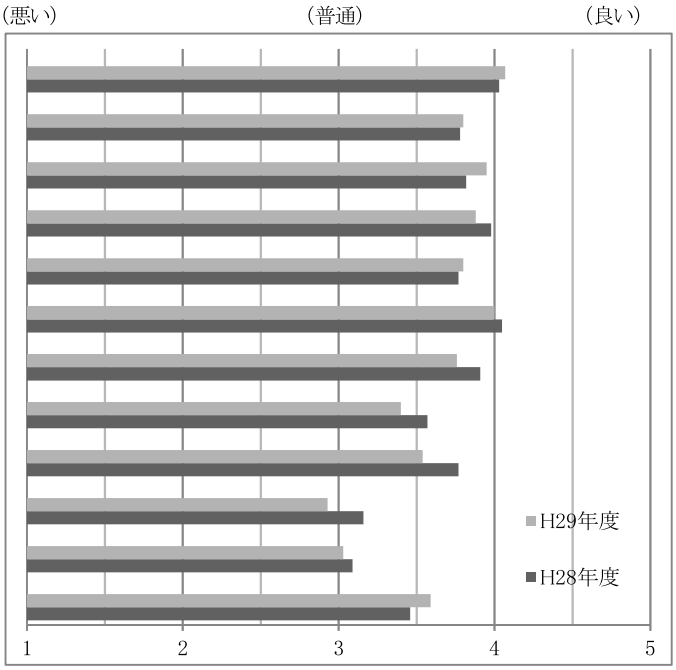
**集計方法 ： 質問に対し 1(悪い)・2(やや悪い)・3(普通)・4(やや良い)・5(良い)の 5 段階で回答。**

(1)倉敷紀念病院 外来

回収場所:病院受付前

回答数:55

質問




1.職員の言葉遣いはいかがですか？

2.医師による、治療に関しての説明は良いですか？

3.職員の対応はいかがですか？

4.職員に声はかけやすいですか？

5.トイレなどの場所の案内表示はわかりやすいですか？

6.職員の服装(身だしなみ)はいかがですか？

7.院内の清掃は行き届いていますか？

8.駐車場は利用しやすいですか？

9.環境(空調・臭い)は適切ですか？

10.診察までの待ち時間はいかがですか？

11.診察後、会計までの待ち時間はいかがですか？

12.予約制について満足されていますか？

その他の質問

13. 当病院を選ばれた理由は何ですか？

・近いから。

・前病院より主治医が転勤された為。

・継続して診察してもらっているので。

・父親の入院以来。

・近所で子どもの頃から通っているので。

・近いし、先生や職員の方達がとても良い人たちなので現在も通わせて頂いています。

・良い先生だから。 ・信頼できる。

14. 受付・診察室前のテレビでの案内をご覧になられてのご感想をお聞かせください。

・何度も同じ内容なので、テレビの方が良いです。

・一般の番組が見れず、医院の関連のみは毎回うんざりです。待合のテレビも普通の番組見せてください。

・NHKを常につけておいてほしい。

・同じものが続くので、ビデオ(映画)とか短編のものをするといいのでは。

・ためになる事が流れている時があるのでなかなか良い。

・あっそうかと思う事があって良いと思う。

・待ち時間が苦にならない。楽しい。

15. その他お気づきの点、ご要望がございましたお聞かせ下さい。

・待合室の椅子の位置が車椅子のいるスペースがない。

・脳神経外科の再開をお願いします。同科の外来を増やしてほしい。

・受付の場所が狭く、いつも混んでいるので改善を願います。

・駐車場の幅、白線がせまい。会計までの時間が長いので自動会計機を入れると良いのでは。

・神経内科の予約日がよく違う。眼科や泌尿器での対応が気に入らない事があった。

・何十回も来ているのですが、会釈もしない職員がいる。

・売店の応対が今一つの時がある。

・健診の結果をもっと説明してほしい。やるだけみたいな感じですね。

・看護師の皆さん良くお世話して頂いています。給料を上げてやってください。

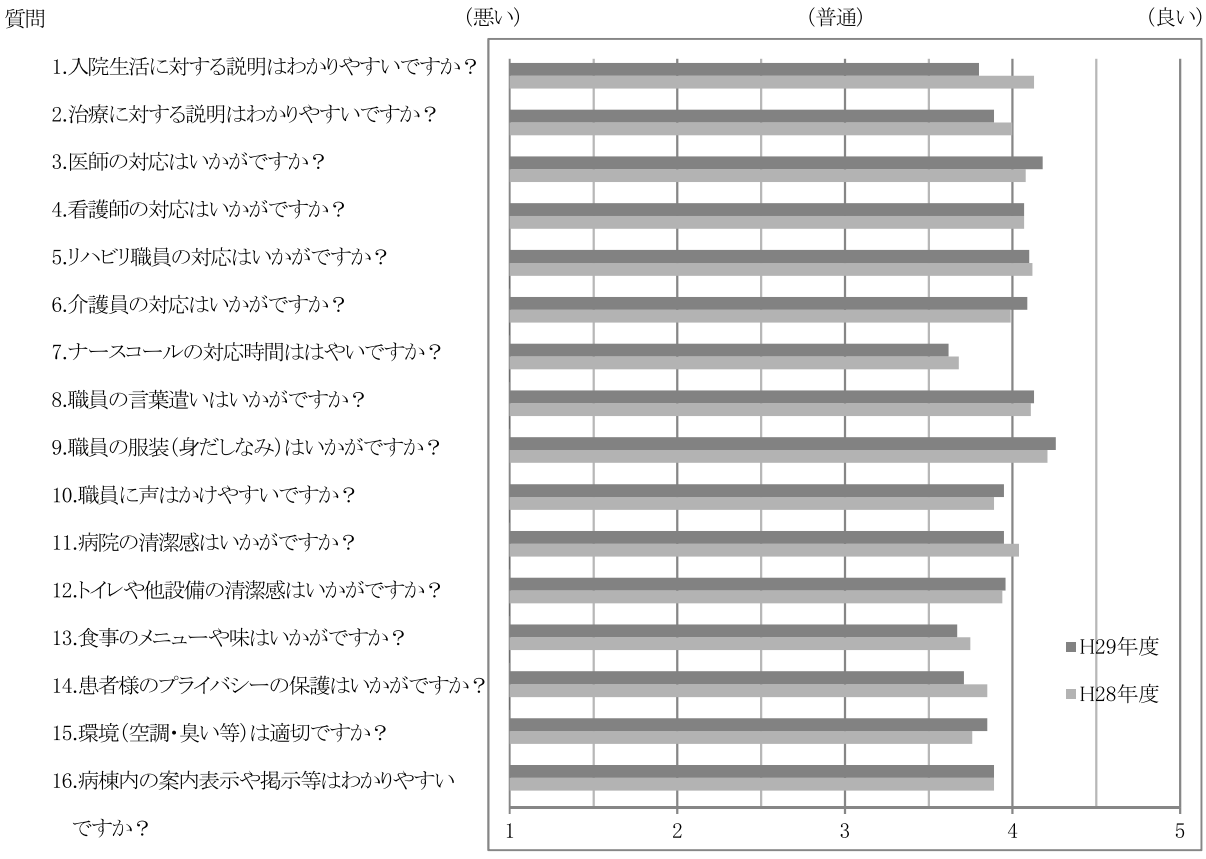
・冬の暖房が暑すぎる。

(2) 倉敷紀念病院　入院

実施期間:平成 30 年 3 月 1 日～3 月 31 日

回収場所:各病棟　詰所

回答数:55




その他の質問

17.その他お気づきの点、ご要望がございましたらお聞かせください。

・個々人に合わせてメニューを考えてくださって感謝しています。味も美味しいです。

・相談員の方をはじめ職員の方みなさんで退院後の事をとても熱心に考えてくださってありがとうございます。

・食事が質素です。　・エレベーターを増やしてほしい。

・簡易トイレを使用される患者さんと部屋をわけてほしい。

・お医者様をはじめ看護師さんもとても優しく接して下さっていると思います。病気の説明もとても分かり易かったです。

・インフォームドコンセントを守って頂き、隠さないで正直に伝えてほしい。(事後処理にしないで)

・入院して担当者なのに会った時挨拶されません。(とても悲しい気持ちになります。)

・患者の言葉を聞いてその立場に立って話をしてほしい。病気には医師が向き合い、患者には向き合い心の支えになってほしい。

・エレベーターが1機しかないので待ち時間が長い。

・色々な患者様がいらっしゃるのに、皆に親切に対応して下さると思っています。

・注射の時にもう少しスムーズにして頂ければありがたいです。

・看護師、介護士の対応が人によって悪い人がいます。

・リハビリ職員さんは仕事にとても熱心に打ち込んでいる姿勢に頭が下がります。リハビリの効果も十分に出ています。

・トイレで呼び出しコールが押せない患者には、あまり遠くに行かず近くにいてくださると助かる。

(なかなか来てもらえず困った)

・病室が便の臭いがする。 長期に入院ができるとありがたいです。

・洗濯乾燥機がよく使用されているので、他の階の洗濯乾燥機を使用させてもらえたらと思う。

## (3)福寿荘

実施期間:平成 30 年 3 月 1 日～3 月 31 日

回収場所:福寿荘 1 階　事務所

回答数:18

質問

1.福寿荘の環境(空調・臭い・清掃)は適切ですか？

2.職員から挨拶はよくできていますか？

3.職員はいつも笑顔で対応できていますか？

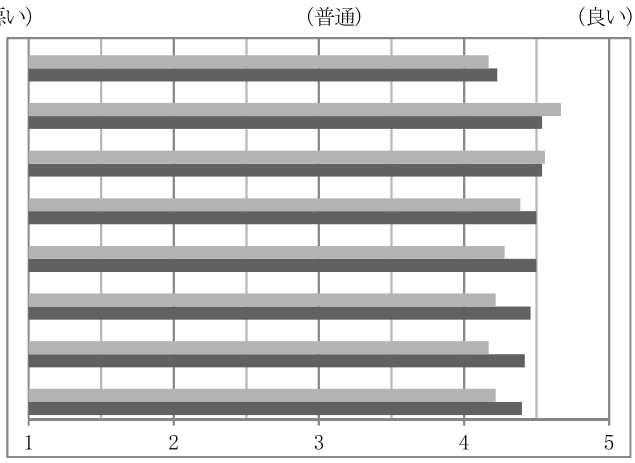
4.職員の対応は迅速で親切丁寧ですか？

5.職員に声はかけやすいですか？

6.職員の言葉遣い(職員同士も含む)の感じはよいですか？

7.利用者さまへのケアはよくできていますか？

8.利用者さまへの気配り、心づかいはよくできていますか？




その他の質問

9. 施設行事、クラブ活動へご家族様も参加したいですか？

・はい(2 人)・いいえ(22 人)・回答なし(5 人)

10. 利用者様の担当職員をご存じですか？

・はい(14 人)・いいえ(4 人)・回答なし(0 人)

11.担当職員と毎月 1 回以上、話す機会がありますか？

・はい(11 人)・いいえ(6 人)・回答なし(1 人)

12. 利用者さまへのケアで足りていないと感じることはなんですか？

・「何しろ高齢ですので…」と言われると暗い気持ちになります。

・紀念病院との連携をさらに強くしてほしいと思います。

13.施設サービスとしてあったらいいと思うことはありますか？

・ゆっくり話ができるスペースがあればと思います。

・手軽な料金でAMやFM放送が受信できるといいと思います。

・唱歌のような高齢者により懐かしく元気が出るようなBGMが静かに流れると良いのでは。

・お花見等、外へ出る機会があるとうれしい。気分転換がしたい。

・部屋の水道でお湯が出ない。（危険という理由で）寒がりの母に温かいお湯で顔を拭いてあげたいのですが…

（母は寝たきりなので）

14.その他お気づきの点、ご要望がございましたらお聞かせください。

・エレベーター利用時に声をかけるスタッフの方がいない時があるので少し不便です。

・部屋の名前札の上に貼っている色のテープはどういう意味か気がかりです。

・皆様のユニフォームが何かよく似ているので、職種の判別がつかず戸惑うことがあります。

・ケアは良いと思います。今後ともよろしくお願いします。

・部屋にいても人の気配が感じられる事はうれしい。心強い。

・臭い対策としてある施設では各部屋に脱臭剤が置いてありました。

## (4)有料老人ホームせいわ

実施期間:平成30年3月1日～3月31日

回収場所:誠和会在宅センター1階　事務所

回答数:37

質問

1.職員の言葉遣いはいかがですか？

2.職員の対応はいかがですか？

3.職員に声はかけやすいですか？

4.施設内の案内表示はわかりやすいですか？

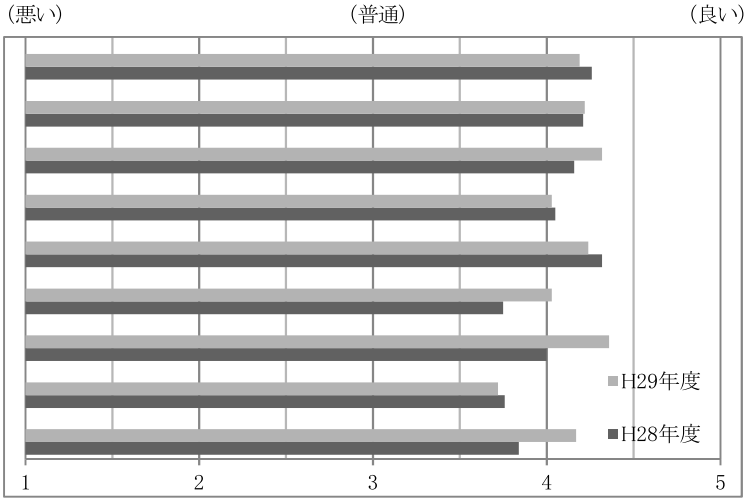
5.職員の身だしなみはいかがですか？

6.外来受診後の報告は適切ですか？

7.施設内の清掃は行き届いていますか？

8.駐車場は利用しやすいですか？

9.環境（空調・臭い）は適切ですか？




その他の質問

10. 取り入れて欲しい行事・クラブ活動はありますか？

・ゲーム的なもの。リハビリ的なもの。時間を増やしてもらえれば…

・テレビ（DVD）、プロレス、相撲等の観戦クラブ

・指先をしっかり使わせてやってください。

・絵画、手芸、合唱クラブ　・幼稚園など子どもの交流、ボランティア等。

・お花見（酒津への外出とか）、歌、演芸見学。

11. その他お気づきの点、ご要望がありましたらお聞かせください。

・家族が行った時に座る所がないので日曜だけでもいいので1Fの相談室を開けてほしい。

・同じ人でも日によってとても感じがよかったり、挨拶しても返事のない時もあります。

・2.3 階にはヘルパーや看護師がおり、4 階にも係りがいるのであれば廊下へ貼るだけでなく、必要な事は言って来てほしい。

・駐車スペースを進入方向から斜めに駐車する方が出入りしやすのではないか。

・個室の臭いが時々気になる事があります。

・職員の名札をもっと分かりやすく大きな字で書いてください。(名前だけで良いと思います)

・平行棒みたいなものがあったらありがたいです。

・相談員の方には無理を言っても笑顔でご指導いただきありがとうございます。

・素晴らしいホームにお世話になり毎日の生活が楽しい次第です。職員の皆様そろって親切で感謝の念でいっぱいです。

・日差しの強い時はカーテンを閉めて頂きたく思う。

・駐車場の車止めが高いので、前バンパーの下をこする。車に傷が入りますから、傷が入らないようにしてください。

・駐車場の車止めを低くしてほしい。いつも車をこするので。

・耳が遠いので出来るだけ大きな声で話かけてやってください。

・色々な方々の対応で毎日職員の方々は大変だと思い感謝しています。家族としては施設内の対応で困った場合は遠慮なく言って頂きたいと思います。

・経費や手間などの関係もあるかと思いますが、部屋の外側の窓の汚れが気になります。

・高齢の為、部屋の隅々まで掃除できないので有料で高い所等の掃除をしてほしい。(手の届かない所)

・新しく入居になった時に説明が少なかったように思いました。

・義母を他の老人ホームに入所させてせいわさんの優れた所を再認識しました。

・終わった掲示物の取り外しを早く。 ・入居者への連絡を徹底すること。

・近年、古老の為か室内便所照明(夜間のみ)に不自由あり。特に夜間の読書筆記が難しいです。

・防犯カメラの設置、非常に不愉快である。できれば1日も早く撤去してほしい。せいわが世間から笑われますよ。

## (5)デイサービスせいわ

実施期間:平成 30 年 3 月 1 日～3 月 31 日

回収場所:送迎時回収

回答数:41

質問

1.職員から挨拶はよくできていますか？

2.職員はいつも笑顔で対応できていますか？

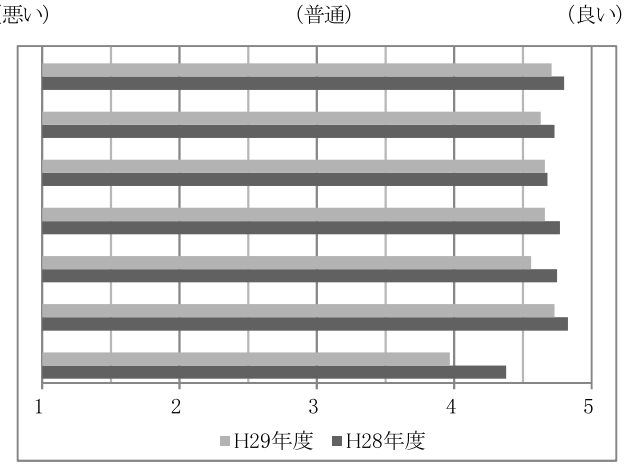
3.職員に声は掛けやすいですか？

4.職員の言葉遣い(職員同士も含む)の感じは良いですか？

5.職員の服装(身だしなみ)はいかがですか？

6.送迎時の職員の対応はいかがですか？

7.食事の内容や味はいかがですか？



その他の質問

8. 施設行事、クラブ活動へご家族様も参加したいですか？

・はい（16 人）・いいえ（25 人）・回答なし（0 人）

9.取り入れて欲しい行事等がありましたらお聞かせ下さい。

・巻きずしを手伝ったとよく話をします。手作業は何でもやらせてください。

・お花（フラワーアレンジメント）等があると楽しいと思います。

・ゴムひもやボール等を用いた筋力強化をしてほしい。

・例えば花見、買い物等は全員が行けるように要望します。

・もう少し身体を動かしたいです。 ・料理を楽しく教えて下さるのが良いです。

・音楽を聴くのが好きなので、いろいろな曲が聞けたらいいなと思います。

10. その他お気づきの点、ご要望がございましたらお聞かせ下さい。

・優しく親切にしてくださってありがとうございます。本人は楽しいと言って「明日も行くんかなー」とデイの日が待ち遠しいです。

・最初は嫌がっていましたが、最近では送迎車が来られる時間前には早くから自発的に仕度もするようになり、徐々にせいわデイの生活に慣れ楽しみも出てきたように思います。

・寝たきりですが、車椅子に乗せてもらって出来る事はどんどん参加させて欲しいと思います。

・食事について汁物の味が薄い。 食事は麺類が多い。

・副食のメインが丼もののように出るのではなく、かたまりで出るとうれしいです。

## (6) 通所リハビリ

実施期間：平成 30 年 3 月 1 日～3 月 31 日

回収場所：送迎時回収

回答数：43

質問

1.デイルームの環境（空調・臭い・清掃等）は適切ですか？

2.職員から挨拶はよくできていますか？

3.職員はいつも笑顔で対応できていますか？

4.介護職員の対応はいかがですか？

5.職員に声はかけやすいですか？

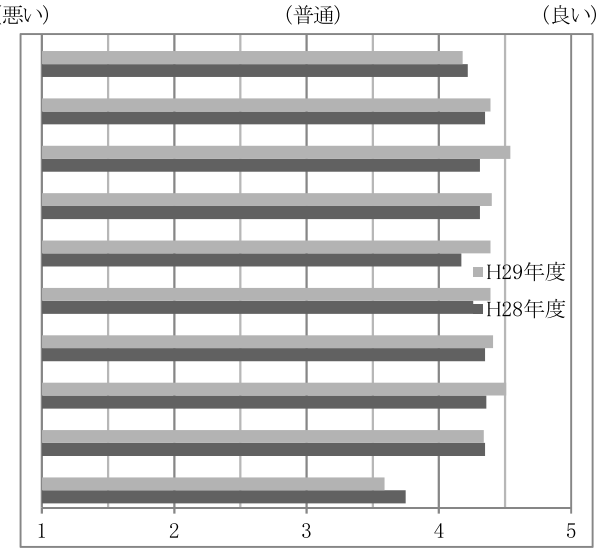
6.職員の言葉遣い（職員同士も含む）の感じは良いですか？

7.職員の服装（身だしなみ）はいかがですか？

8.リハビリ職員の対応はいかがですか？

9.送迎時の職員の対応はいかがですか？

10.食事の内容や味はいかがですか？




その他の質問

11. 利用者様へのケアで足りてないと感じることはなんですか？

・毎日職員さんが忙しいのはわかっているけれど、声掛けをしてくれる人としてくれない人がいる。

・車いすの操作を訓練してほしい。

・ただ「自主的にやれ」ではなく、2.3 か月に1度くらいは「処方せん」があれば良いと思う。

12. 取り入れてほしい行事等ありましたらお聞かせください。

・音楽関係の声を出す事ができる行事。

・手話　・カラオケ大会

・カラオケを週1から週2にしてほしい。

・季節の変化の都度（花見、夕涼み、祭り）食事などに変化をもたらす等。

13.その他お気づきの点、ご要望がございましたらお聞かせください。

・職員さんは毎日大変だと思いますが、笑顔とあいさつだけはしてほしいと思います。

・利用日の変更等を確実に周知してほしい。フィードバックのシステムができていないのではないか。

・スタッフの方々から肩たたき、声掛けされると嬉しい。　・少し運転の荒い人がいる。

・ペットボトルでの花瓶づくりや生け花などしたい。　・手話は何のためにやっているのか意味がわからない。

・早く治る為にリハビリに来ているので、元気な姿に早くなりたい。

・運転者さんそれぞれで気を使って下さる方、荷物を積んで下さる方、乱暴な運転の方がいるそうです。

・洗面所に手洗い専用の小さい洗い場があるといいと思う。（歯磨きしている人がいてトイレから出て手洗い待ちがある）

・懐メロなど昔なつかしい歌を流したら、自然と口ずさみそれぞれに若返るのではないでしょうか。

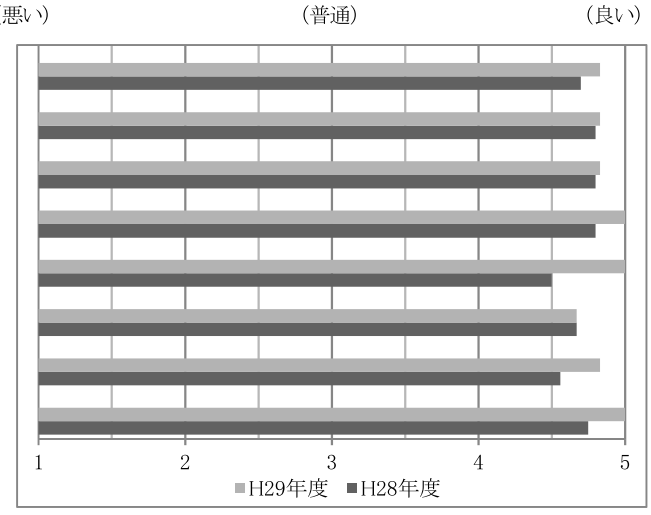
(7)コージー

実施期間:平成 30 年 3 月 1 日～3 月 31 日

回収場所:コージー事務所

回答数:6

質問




1.コージーの環境（空調・臭い・清掃）は適切ですか？

2.職員から挨拶はよくできていますか？

3.職員はいつも笑顔で対応できていますか？

4.職員の対応は迅速で親切丁寧ですか？

5.職員に声はかけやすいですか？

6.職員の言葉遣い（職員同士も含む）の感じはよいですか？

7.入居者さまへのケアはよくできていますか？

8.入居者さまへの気配り、心づかいはよくできていますか？

その他の質問

9. 施設行事、クラブ活動へご家族様も参加したいですか？

・はい（4 人）・いいえ（1 人）・回答なし 1 人）

10. 利用者様の担当職員をご存じですか？

・はい（4 人）・いいえ（1 人）・回答なし（1 人）

11. 利用者さまへのケアで足りないと感じることはなんですか？

・よくしてもらい感謝しています。

12. 施設サービスとしてあったらいいと思うことはありますか？

・リハビリ器具があれば良い。

13. その他お気づきの点、ご要望がございましたらお聞かせください。

・菜園を手伝いたい。

・本人の記憶がだんだんと薄れ、大変ですが家族も頑張りますのでよろしくお願いします。

## (8)和(なごみ)

実施期間:平成 29 年 3 月 1 日～3 月 31 日

回収場所:送迎時回収

回答数:15

質問

1.和の環境(空調・臭い・清掃)は適切ですか？

2.職員から挨拶はよくできていますか？

3.職員はいつも笑顔で対応できていますか？

4.職員の対応は迅速で親切丁寧ですか？

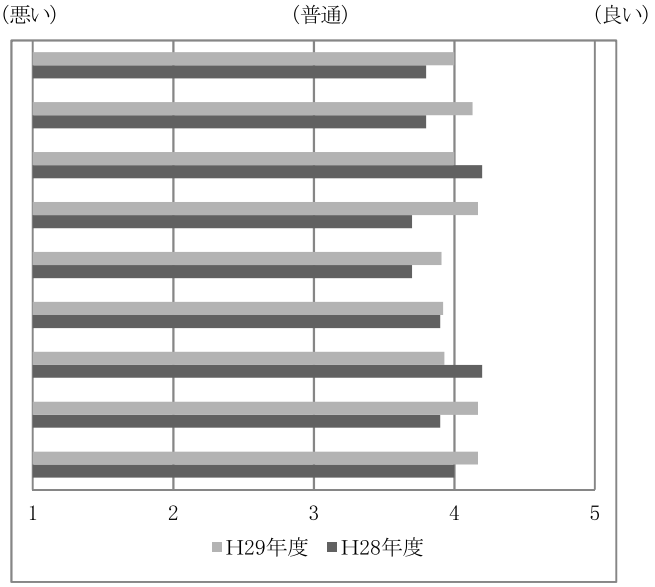
5.職員に声はかけやすいですか？

6.職員の言葉遣い(職員同士も含む)の感じはよいですか？

7.利用者さまへのケアはよくできていますか？

8.利用者さまへの気配り、心づかいはよくできていますか？

9.送迎時の職員の対応はいかがですか？




その他の質問

10. 利用者様の担当職員をご存じですか？

・はい(5 人)・いいえ(5 人)・回答なし(0 人)

11. 利用者さまへのケアで足りてないと感じることはなんですか？

・特になし

12. 施設サービスとしてあったらいいと思うことはありますか？

・特になし

13. その他お気づきの点、ご要望がございましたらお聞かせください。

・特になし

# 福利厚生委員会

委員長　黒木　一誓

**職員旅行**

職員旅行　9班　参加者 295名(うち同伴者20名)

＜日帰り＞

【大阪】10月14日(土)USJ

【兵庫】9月16日(土)神戸フルーツフラワーパーク&ビール園・工場見学&めんたいパーク

【兵庫】12月9日(土)三田プレミアムアウトレットと須磨水族館

＜豪華ディナー＞

【広島】9月13日(水)都あけぼの(1回目)

【岡山】9月27日(水)倉敷甲羅本店(1回目)

【広島】10月11日(水)都あけぼの(2回目)

【岡山】10月25日(水)倉敷甲羅本店(2回目)

＜1泊2日＞

【東京】1月28日(日)～1月29日(月)東京フリープラン

＜2泊3日＞

【沖縄】11月19日(日)～11月21日(火)沖縄フリープラン

**永年勤続表彰**

開催日時 12/15(金)20:00(忘年会前)

対象者　34名

勤続年数30年1名

三宅 由美子

勤続年数25年2名

廣川 晴美　　井上 正明

勤続年数20年3名

平野 香織　　坪田 陽子

上坂 礼子

勤続年数15年12名

三好 操子　　行守　忍

奥橋 弥生　　石井 千聡

森谷 裕美　　大黒 結香

吉田 千恵子　　泉 真規子

野方 美智子　　堀川 真弓

上野 良子　　福田 須美子

勤続年数10年16名

髙城 奈穂　　三宅 正展

村武 和美　　岡　真里

石田 由真　　宮北 聡子

平田 祐子　　山本 鉄大

小林 万里子　　小林 真由美

山本 雄也　　石井 未来

増田 陽　　牧　理恵

中村 里佳　　掛碆 義弘

## 忘年会

開催日時　12/15(金)19:00～21:30

場所　倉敷アイビースクエア　フローラルコート

参加人数　225 名

内容　職員による演芸(2 チーム)、くじ引き抽選会

## 部・同好会等の活動補助

バレーボール部、テニス部、有酸素運動部、
ゴルフ同好会、フットサル同好会、登山同好会、バスケットボール同好会、お祭り部、漁業部、ハンドメイド同好会、野球部

# 広報委員会

委員長　藤井　朱美

1. 外来アートギャラリー　作品一覧

| 展示期間 | | 作品一覧 | |
|---|---|---|---|
| 2017 年 | 3 月･4 月 | 岡本　和恵　作品展 | 貼り絵 |
| | 5 月･6 月 | 瀬尾　公一　作品展 | 写真 |
| | 7 月･8 月･10 月 | 誠和会ハンドメイド同好会作品展 | ハンドメイド作品 |
| | 8 月･9 月･10 月 | 小西　輝彦　作品展 | 写真 |

2. 広報誌「SAY 和～せいわ～」

| 発　行 | | | トップページ |
|---|---|---|---|
| 2017 年 | 4 月 | vol.53 | 特集　部署紹介 「倉敷紀念病院　リハビリテーション科」 |
| | 7 月 | vol.54 | 特集　部署紹介 「倉敷紀念病院 ・福寿荘　栄養科」 |
| | 10 月 | vol.55 | 特集　部署紹介 「倉敷紀念病院　看護部」 |
| 2018 年 | 5 月 | vol.56 | 特集　部署紹介 「倉敷紀念病院　総務部」 |

3. 誠和会誌　まこと

| 発　行 | | | トップページ |
|---|---|---|---|
| 2017 年 | 5 月 | vol.51 | 平成 29 年度入職式 |
| | 8 月 | vol.52 | 部活動報告 |
| | 11 月 | vol.53 | 倉敷紀念病院と倉敷第一病院が経営統合 |
| 2018 年 | 2 月 | vol.54 | 忘年会＆永年勤続表彰式 |

4. その他取り組み

| | | |
|---|---|---|
| 2017 年 | 7 月～10 月 | 平成 29 年度　医療法人誠和会　年報作成プロジェクト編集委員に参加 |
| | 7 月～10 月 | 第 11 回　誠和会ふれあいまつり　実行委員 （ボランティア担当） |
| | 7 月 | 倉敷天領夏祭り　OH!代官ばやし踊り「倉敷紀念病院ぐる～ぷ♪」写真撮影 |
| | 12 月 | 誠和会忘年会　カメラ撮影隊 |

# 健康づくり教室委員会

委員長　岩佐　貴裕

## 1. 委員会の目的

地域住民の皆さまの健康づくりと会員相互の親睦を図るため、月に1回健康づくりの講座等を開催しています。

## 2. 健康づくり教室について

毎月第4木曜日、倉敷紀念病院の医師や理学療法士などを講師に、健康や福祉、その他様々なテーマで講演を行っています。70～80代の女性を中心に、中島地区をはじめ西阿知、上富井、連島地区などから毎月約40名の方にご参加いただいています。

また、会員の皆さまには会報誌「たんぽぽ」を発行しています。

平成29年度末現在で395回の開催となりました。

「健康づくり教室」

開催日時　：毎月第4木曜日　13:30～(約1時間)
対象者　：地域の方、参加希望の方、どなたでも
参加費　：無料
場所　：福寿荘1Fホール
会員数　：72名(平成30年6月30日現在)
(昨年度、参加していただけなかった方は除いています)

3. 健康づくり教室　平成 29 年度実績

| 開催日時 | | テーマ | 講　師 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| 4 月 | 4/27(木)<br>13:30～<br>14:30 | お口の健康作り教室<br>～お家でできる嚥下の体操！<br>楽しく病気を予防しよう！～ | 在宅センター<br>言語聴覚士 | 40 名 |
| 5 月 | 5/25(木)<br>13:30～<br>14:30 | 倉敷けんしんを受けましょう<br>（変更点を中心に） | 倉敷紀念病院<br>健診部 | 32 名 |
| 6 月 | 6/22(木)<br>13:30～<br>14:30 | 地域での健康増進活動と百歳体操 | 倉敷紀念病院<br>通所リハビリ | 33 名 |
| 7 月 | 7/27(木)<br>13:30～<br>14:30 | おとなのための「食べること」 | 倉敷市保健所<br>健康づくり課 | 29 名 |
| 8 月 | 8/24(木)<br>13:30～<br>14:30 | あなたの血管年齢は何歳？<br>～当院の動脈硬化検査について～ | 倉敷紀念病院<br>検査科 | 32 名 |
| 9 月 | 9/28(木)<br>13:30～<br>14:30 | 介護保険について学びましょう！ | 倉敷市倉敷西<br>高齢者支援センター | 38 名 |
| 10 月 | 10/26(木)<br>13:30～<br>14:30 | 骨粗鬆症を予防する食事 | マスカット薬局<br>栄養士 | 42 名 |
| 11 月 | 11/30(木)<br>13:30～<br>14:30 | 声を出すこと、歌うこと<br>～音楽で心を元気に～ | 倉敷紀念病院<br>リハビリテーション科<br>音楽療法士 | 34 名 |
| 12 月 | 12/28(木)<br>13:30～<br>14:30 | 便秘と運動！ | 倉敷紀念<br>訪問看護ステーション | 33 名 |
| 1 月 | 1/25(木)<br>13:30～<br>14:30 | お薬の正しい服用方法！ | 倉敷紀念病院<br>薬剤科 | 42 名 |
| 2 月 | 2/22(木)<br>13:30～<br>14:30 | ここから始める就活の基礎！ | くらしき終活支援センター | 42 名 |
| 3 月 | 3/22(木)<br>13:30～<br>14:30 | コグニサイズ運動<br>～頭と身体を同時にエクササイズ～ | 倉敷紀念病院<br>リハビリテーション科 | 43 名 |

## 総務部

総務部長　河田　真治

総務部は法人全体の維持運営を円滑に進める役割を担っております。具体的には庶務課、人事課、企画IT課の 3 つの課で構成されています。

庶務課では施設設備管理、防災管理、機器・備品管理、一般購買に関する業務。人事課では職員の人事・労務管理・給与・福利厚生および各種相談に関する業務。企画IT課では広報・各種情報収集・企画立案およびITシステムの構築・運用・保守などの業務を行っています。今後も法人理念に基づき、職員一人一人が安心かつ働きがいのある職場環境の実現を目指します。

## 子育て支援【仕事と育児の両立】

1.平成 29 年度産休育休取得実績

| 部署 | 取得申請者(人) | 取得実績(人) |
|---|---|---|
| 倉敷紀念病院　看護部 | 20 | 20 |
| 倉敷紀念病院　健診部 | 1 | 1 |
| 倉敷紀念病院　リハビリテーション科 | 8 | 8 |
| 倉敷紀念病院　検査科 | 1 | 1 |
| 倉敷紀念病院　医療事務部 | 3 | 3 |
| 倉敷紀念病院　通所リハビリテーション | 1 | 1 |
| 福寿荘　看護・介護部 | 7 | 7 |
| 福寿荘　リハビリテーション科 | 1 | 1 |
| 倉敷紀念訪問看護ステーション | 1 | 1 |
| デイサービスせいわ | 3 | 3 |
| グループホーム　コージー | 2 | 2 |
| 小規模多機能　和(なごみ) | 1 | 1 |
| 計 | 49 | 49 |
| 取得率 | | 100% |

2.平成 29 年度育児短時間勤務取得実績

| 部署 | 取得申請者(人) | 取得実績(人) |
|---|---|---|
| 倉敷紀念病院　看護部 | 2 | 2 |
| 倉敷紀念病院　薬剤科 | 1 | 1 |
| 倉敷紀念病院　栄養科 | 1 | 1 |
| 倉敷紀念病院　臨床検査科 | 1 | 1 |
| 倉敷紀念病院　リハビリテーション科 | 6 | 6 |
| 倉敷紀念病院　通所リハビリテーション | 2 | 2 |
| 福寿荘　看護・介護部 | 1 | 1 |
| 福寿荘　リハビリテーション部 | 1 | 1 |
| 計 | 15 | 15 |
| 取得率 | | 100% |

## 子育て支援【地域支援】

| 受入日 | 学校名 | 人数（人） | 内容 | 場所 |
|---|---|---|---|---|
| 平成 29 年 4 月 26 日 | 倉敷市立中島小学校 | 167 | 屋上から学区の様子をみてみよう | 誠和会在宅センター　屋上 |
| 5 月 20 日 | 倉敷市内の中高校生 | 12 | ふれあい看護体験（看護部主催） | 倉敷紀念病院 |
| 9 月 6 日～8 日 | 倉敷市立新田中学校 | 1 | チャレンジワーク | 倉敷紀念病院<br>デイサービス　せいわ |
| 10 月 31 日～11 月 2 日 | 倉敷市立連島中学校 | 1 | チャレンジワーク | 倉敷紀念病院<br>福寿荘 |
| 11 月 7 日～9 日 | 岡山県立大安寺中学校 | 2 | チャレンジワーク | 倉敷紀念病院 |
| 11 月 8 日～10 日 | 倉敷市立倉敷第一中学校 | 1 | チャレンジワーク | 倉敷紀念病院<br>グループホームコージー |
| 11 月 14 日～16 日 | 倉敷市立南中学校 | 1 | チャレンジワーク | 倉敷紀念病院<br>小規模多機能　和 |
| 11 月 20 日～22 日 | 倉敷市立西中学校 | 1 | チャレンジワーク | 倉敷紀念病院<br>デイサービス　せいわ |

## 見学の受け入れ

| 受入日 | 受入部署 | 見学依頼元機関名 | 人数（人） |
|---|---|---|---|
| 平成 29 年 4 月 19 日 | 訪問看護ステーション | 倉敷中央訪問看護ステーション | 4 |
| 4 月 26 日 | 通所リハビリ | デイケアセンタージラソーレ大松 | 4 |
| 5 月 24 日 | 在宅センター（有料せいわ・通所リハビリ・デイサービス） | 倉敷市立中島小学校 | 35 |
| 8 月 24 日 | リハビリテーション科 | 川崎医療福祉大学　医療技術学部　感覚矯正学科 | 1 |
| 9 月 1 日 | 福寿荘事務 | 川崎医療福祉大学　医療福祉学部　医療福祉学科 | 1 |
| 12 月 14 日 | リハビリテーション科 | 岡山市民病院 | 4 |
| 12 月 27 日 | 有料せいわ、福寿荘 | エーザイ株式会社 | 2 |

職員表彰歴

| 日付 | 部署 | 氏名 | 表彰名称 | 主催 |
|---|---|---|---|---|
| 平成 29 年<br>10 月 13 日 | 倉敷紀念病院看護部 | 木口　恭子 | 病院優良職員表彰 | 岡山県病院協会 |
| 10 月 14 日 | 倉敷紀念病院看護部 | 廣末　樹理 | 病院優良職員表彰 | 岡山県病院協会 |
| 10 月 14 日 | 倉敷紀念病院看護部 | 杉本　美穂 | 病院優良職員表彰 | 岡山県病院協会 |
| 11 月 22 日 | 倉敷紀念病院看護部 | 三宅　由美子 | 優良商工従業員表彰<br>30 年以上表彰 | 倉敷商工会議所 |
| 11 月 22 日 | 介護老人保健施設<br>福寿荘看護部 | 佐藤　千尋 | 優良商工従業員表彰<br>10 年以上表彰 | 倉敷商工会議所 |
| 11 月 22 日 | 倉敷市倉敷西<br>高齢者支援センター | 佐野　めぐみ | 優良商工従業員表彰<br>10 年以上表彰 | 倉敷商工会議所 |
| 11 月 22 日 | 倉敷紀念病院栄養科 | 多賀　奈美恵 | 優良商工従業員表彰<br>10 年以上表彰 | 倉敷商工会議所 |

## 庶務課活動内容

| 月日 | 関係施設 | 内容 | 目的 |
|---|---|---|---|
| 平成29年<br>4/6 | 和 | 玄関スロープ段差除去工事 | 【リスク管理】 |
| 4/9 | 病院 | 内視鏡室・健診部　壁紙張替工事 | 【環境整備】 |
| 4/20 | 病院 | 総務部内　緊急時のデモスト実施（救急車ストレッチャー操作） | 【リスク管理】 |
| 4/24 | デイサービス | 送迎車購入 | 【業務改善】 |
| 5/17 | 病院・福寿荘 | 冷暖房切替（暖房⇔冷房） | 【環境整備】 |
| 5/17 | 全施設 | グリーンカーテン設置（～9/21） | 【環境整備】 |
| 5/18 | コージー | ウッドデッキ塗装 | 【環境整備】 |
| 5/19 | 福寿荘 | 1F南通用口扉更新 | 【環境整備】 |
| 5/20 | 病院 | OP室電源工事 | 【環境整備】 |
| 5/24 | せいわ | せいわEV制御装置、保安部品交換 | 【リスク管理】 |
| 5/25 | 病院 | 耳鼻科内視鏡システム納品 | 【業務改善】 |
| 5/26 | 病院 | オートクレーブ更新（OP室） | 【業務改善】 |
| 5/26 | デイサービス | 送迎車購入 | 【業務改善】 |
| 5/29 | 全施設 | 便座の節電対策（温水・暖房機能停止）（～10/31） | 【経費削減】 |
| 6/2 | 病院 | 健診部事務所改修工事 | 【環境整備】 |
| 6/7 | 和 | 雨水タンクの設置 | 【経費削減】 |
| 6/8 | 全施設 | シュレッダーゴミ廃棄 | 【環境整備】 |
| 6/16 | 病院 | OP室空調機　HEPAフィルター交換 | 【環境整備】 |
| 6/20 | 病院 | カーテン定期クリーニング | 【環境整備】 |
| 6/21 | 全施設 | 災害用備蓄品納品 | 【リスク管理】 |
| 6/28 | 病院 | キュービクル故障に伴う全館停電実施 | 【リスク管理】 |
| 7/5 | せいわ | 西棟電気給湯器更新（⑧号機） | 【環境整備】 |
| 7/7 | 福寿荘 | 2F～5F職員トイレ修繕 | 【環境整備】 |
| 7/12 | せいわ | 遮光シート取付（～9/13） | 【経費削減】 |

| 月日 | 関係施設 | 内容 | 目的 |
|---|---|---|---|
| 7/13 | 全施設 | 医療廃棄物専用ビニール袋導入 | 【業務改善】 |
| 7/14 | 病院 | 耳鼻科　内装改修・機器更新工事 | 【環境整備】 |
| 7/18 | せいわ | 西棟電気給湯器更新(⑨号機) | 【環境整備】 |
| 7/25 | 福寿荘 | 配膳車(2 台)更新 | 【業務改善】 |
| 7/27 | 病院 | 病院事務所　鍵管理機の導入 | 【リスク管理】 |
| 7/24 | 病院 | 人工呼吸器更新 | 【業務改善】 |
| 7/25 | 病院 | 医療廃棄物保管庫　掲示変更 | 【リスク管理】 |
| 7/25 | せいわ | 食器更新 | 【環境整備】 |
| 7/25 | せいわ | 厨房機器、食器更新 | 【環境整備】 |
| 7/26 | 病院 | 遮光シート取付(～9/13) | 【経費削減】 |
| 8/3 | 病院 | 磁気刺激装置の導入(リハビリテーション科) | 【業務改善】 |
| 8/3 | 全施設 | 火災通報装置　連動工事 | 【環境整備】 |
| 8/17 | 病院 | 医師用社宅　環境整備 | 【環境整備】 |
| 8/24 | 福寿荘 | 福寿荘 3F フロアカビ除去施行 | 【環境整備】 |
| 8/25 | 病院 | 病院 4F ナースコールシステム更新 | 【環境整備】 |
| 9/4 | 全施設 | 消防設備点検 | 【リスク管理】 |
| 9/9 | 病院 | 外来　電気温水器更新 | 【環境整備】 |
| 9/9 | 福寿荘 | 4F 詰所　電気温水器更新 | 【環境整備】 |
| 9/11 | 病院 | 等尺性筋力測定器の導入(リハビリテーション科) | 【業務改善】 |
| 9/16 | 全施設 | 粗大ごみ廃棄 | 【環境整備】 |
| 9/21 | せいわ寮 | 屋根修繕 | 【環境整備】 |
| 9/28 | 病院 | 理事長室環境整備 | 【環境整備】 |
| 10/3 | 病院 | 防犯モニターの更新 | 【リスク管理】 |
| 10/16 | 病院 | 特室(201 号室)改修工事 | 【環境整備】 |
| 10/25 | 全施設 | 冷暖房切替(冷房⇔暖房) | 【環境整備】 |
| 10/31 | せいわ | 消化器(全 43 本)更新 | 【リスク管理】 |
| 11/2 | 病院 | 災害用土嚢袋・格納庫設置 | 【リスク管理】 |
| 11/4 | 病院 | OP 室手洗い器改修工事 | 【環境整備】 |

| 月日 | 関係施設 | 内容 | 目的 |
|---|---|---|---|
| 11/21 | 病院 | エルゴメーターの更新(リハビリテーション科) | 【業務改善】 |
| 11/21 | 病院 | 心電図テレメーターの追加導入(リハビリテーション科) | 【業務改善】 |
| 11/22 | 病院 | 膀胱用超音波画像診断装置の追加導入 | 【業務改善】 |
| 11/25 | 病院 | 検尿確認用　メロディチャイム導入 | 【業務改善】 |
| 12/16 | 病院 | 2 病棟　詰所流し台　窓枠改修工事 | 【業務改善】 |
| 12/20 | 福寿荘 | カーテン更新 | 【環境整備】 |
| 平成 30 年<br>12/22 | 全施設 | シュレッダーゴミ廃棄 | 【環境整備】 |
| 1/16 | せいわ | 防犯カメラ機器一式更新・防犯カメラ(2 台)追加工事 | 【リスク管理】 |
| 1/16 | せいわ・コージー | 電話交換機バッテリー交換 | 【リスク管理】 |
| 1/26 | 福寿荘 | 福寿荘 5F テンキー更新 | 【リスク管理】 |
| 1/26 | 福寿荘 | 職員通用口テンキーパネル取替え | 【環境整備】 |
| 1/26 | 病院 | 215 号室内窓サッシ取付工事 | 【環境整備】 |
| 1/26 | 病院 | 事務所 FAX 更新 | 【業務改善】 |
| 1/28 | 病院 | 1F 待合室　照明器具改修工事 | 【環境整備】 |
| 1/31 | せいわ | 東棟電気給湯器更新(①、②、③号機) | 【環境整備】 |
| 2/8 | 病院 | 総務部内　緊急時のデモスト実施(救急車ストレッチャー操作) | 【リスク管理】 |
| 2/15 | 病院 | 厨房回転釜更新 | 【環境整備】 |
| 2/16 | 病院 | ベッドサイドモニター更新 | 【業務改善】 |
| 3/3 | 全施設 | 粗大ごみ廃棄 | 【環境整備】 |
| 3/3 | 病院 | 一般撮影処理装置導入 | 【業務改善】 |
| 3/10 | 福寿荘 | 1F 南通用口　タイル修繕 | 【環境整備】 |
| 3/11 | 病院 | MRI 室、MRI 操作室エアコン更新工事 | 【環境整備】 |
| 3/12 | 病院 | 5 病棟中央階段非常ドア修繕 | 【リスク管理】 |
| 3/12 | 全施設 | 消防設備点検 | 【リスク管理】 |
| 3/13 | 福寿荘 | 屋上チラー②号機修理 | 【環境整備】 |
| 3/14 | せいわ | カーテン定期クリーニング | 【環境整備】 |
| 3/16 | 病院 | 西側ベランダドア更新 | 【環境整備】 |
| 3/20 | 病院 | 屋上電気温水器修理 | 【環境整備】 |
| 3/31 | 病院 | OP 室出入り口　スイッチボックス設置 | 【リスク管理】 |

企画・広報

1. ホームページ更新履歴

| 月 | 件数(件) |
|---|---|
| 4 月 | 12 |
| 5 月 | 24 |
| 6 月 | 26 |
| 7 月 | 15 |
| 8 月 | 9 |
| 9 月 | 9 |
| 10 月 | 29 |
| 11 月 | 15 |
| 12 月 | 13 |
| 1 月 | 16 |
| 2 月 | 44 |
| 3 月 | 7 |
| 合計 | 219 |
| 平均 | 18 件／月 |

・10 月　福寿荘　ホームページリニューアル

2. 倉敷第一病院　事業統合　関連

8月31日　医療法人誠和会・倉敷紀念病院と財団法人淳風会・倉敷第一病院の事業統合について　倉敷市役所記者クラブにて記者会見開催（小出尚志理事長・院長、佐藤和道院長）

平成29年9月1日 新聞記事
（倉敷ケーブルTVでも放映されています）

## 倉敷紀念病院と倉敷第一病院
# 特色いかし事業統合

倉敷市にある倉敷紀念病院と倉敷第一病院が1日、事業を統合することになった。両院とも引き続き開業する。それぞれの特色をいかしながら連携を深め、地域完結型医療の強化を進めるとしている。

紀念病院の小出尚志院長と第一病院の佐藤和道院長が8月31日に記者会見を開いた。紀念病院を経営する医療法人「誠和会」が、第一病院を経営する一般財団法人「淳風会」から金銭譲渡の形で統合する。

第一病院は1963年に開業し191床。外科系を中心とした急性期医療に軸足を置く。紀念病院は1968年開業で194床。内科系を中心に、介護との複合施設として回復期の医療提供に力を入れてきた。

両院の距離は約2・6キロ。隣接する中学校区に立ち、患者を紹介しあうなど連携を続けてきた。緊急の外科手術といった急性期医療の強化を検討していた誠和会と、健診や予防医療に力を入れたい淳風会の思いが一致して統合に至ったという。（小沢邦男）

山陽新聞

# 倉敷紀念病院と第一病院が統合

地域完結型医療目指す

倉敷紀念病院（倉敷市中島）を経営する医療法人誠和会（小出尚志理事長）は31日、一般財団法人淳風会から鳥敷第一病院（同市老松町）の経営権譲渡を受け、1日から両病院の事業を統合すると発表した。

統合は、2016年度に赤字となるなど経営状況が厳しい第一病院を巡り、健診や予防医療に重点を移す淳風会と、地域完結型医療の充実をねらう誠和会の意向が一致したことから実現した。

誠和会は今後、外科の急性期医療を中心とする第一病院と、回復期医療や介護事業に注力する紀念病院の補完で、治療からリハビリ、回復後の生活支援まで、一貫した医療サービスの円滑な提供を目指す。第一病院は統合後も外来、救急診療を従来通り行い、入院患者もそのまま引き受ける。医師11人らスタッフも残留する。

紀念病院は1968年開設で病床数191。小出理事長は「将来的には医師や病床の配置見直し、病院機能の集約や分担を検討し、地域により貢献できる医療を目指したい」とした。（大石哲也）

朝日新聞

# 倉敷第一病院を誠和会の傘下に

倉敷紀年病院（倉敷市中島）の母体である医療法人・誠和会は31日、財団法人・淳風会が運営していた倉敷第一病院（同市老松町）＝写真＝を9月1日付でグループ内に加えると発表した。内科と介護系（紀年病院）、外科（第一病院）など、互いの強みを生かし「総合医療としての質を向上させる」としている。

31日は紀年病院長でもある誠和会の小出尚志理事長らが市内で会見。第一病院は多機能型ながら外科系を中心とする急性期医療が特色で、これに回復期～生活期の医療を行う紀年病院の機能で「地域完結型医療」へと充実を図る。誠和会が特別養護老人ホームも運営していることで「ワンストップによる総合医療と介護を実現させたい」（小出理事長）とした。

両院はともに開院約半世紀で距離約2・5キロと近接。従来患者紹介などで協力関係にあり、今回は淳風会側から「（岡山市内を中心に展開する）検診、予防医療に集中したい」との意向で譲渡されたという。

第一病院の佐藤和道院長や医師らスタッフ約270人は継続して勤務。両院統合で病床数は約380となり、市内では4番目の規模に相当する。

山陽新聞

◆倉敷第一病院を経営譲渡　倉敷市の医療法人誠和会は31日、一般財団法人淳風会（岡山市）が運営している倉敷第一病院（倉敷市老松町5、病床数191）について金銭譲渡を受けると発表した。

倉敷第一病院は1963年に開院。外科系を3軸とする急性期医療を扱う病院で知られる。誠和会は同市中島で倉敷紀念病院（病床数194）を運営。「当面は倉敷第一病院の体制は変えない」としている。

毎日新聞

# 倉敷第一病院を統合

倉敷紀念病院の誠和会

医療法人誠和会（倉敷市中島）は、一般財団法人淳風会（岡山市）が運営する倉敷第一病院（倉敷市老松町）を今月から統合した。診療体制や職員などはそのまま引き継がれた。

誠和会は、内科系を中心にした倉敷紀念病院を運営しており、外科系診療の充実などを目指して倉敷第一病院との統合を淳風会と協議、6月頃に金銭譲渡することで両者が基本合意した。

倉敷第一病院は、外科や整形外科、脳神経外科など19の診療科目があり、病床数は191床。近くにある倉敷紀念病院は、患者の紹介や受け入れなどの連携関係にあった。

8月31日に記者会見した誠和会の小出尚志理事長は「統合のメリットを生かして広域的な地域完結型医療を目指していきたい」と話し、倉敷第一病院の佐藤和道院長は「全力で地域医療に貢献したい」と話した。

読売新聞

9 月 1 日 倉敷第一病院 事業統合 広報誌「SAY 和」臨時号 発行

広報誌「SAY 和」臨時号

10 月 4 日 倉敷紀念病院・倉敷第一病院 事業統合記念式典 挙行（倉敷第一病院 ISAM ホール）

3. 誠和会創立 50 周年記念事業 関連

ロゴデザイン制定 準備事務（理事長ヒヤリング、職員アンケート等実施、1/22 デザイン発表）

4. その他

・耳鼻科 広報キャンペーン（リビング倉敷広告掲載、水島臨海鉄道駅ポスター掲示、西駐車場へ横断幕掲出）

・有料老人ホームせいわ 広報キャンペーン（山陽・日経新聞チラシ折込、水島臨海鉄道駅ポスター掲示、倉敷ケーブルテレビ CM 放映）

・倉敷けんしん 在宅センターへ横断幕掲出

・誠和会ふれあいまつり 広報担当（チラシ、ポスター作成）

・院内掲示物 美化活動

・献血バス受入

・倉敷市よい子いっぱい基金へ寄附（誠和会ふれあいまつりの売り上げの一部）

・平成 28 年度誠和会年報 編集

・6 月 1 日 文書管理規程 制定 施行

・個人情報保護推進委員会 事務局

**システム関係**

4月　新人研修
4月　介護システム　セキュリティ設定
5月　鼻咽喉スコープ　DICOM 変換機導入・PACS 接続
6月　電子カルテ系　基幹 HUB 更新（病院 3F）
7月　眼科システム　サーバ更新
7月　グループウェア　サーバ更新
9月　倉敷紀念病院・倉敷第一病院　グループウェア拠点間接続開始
9月　経理部　クラウド型医療会計システム　導入
9月　電子カルテ　バージョンアップ
　　ドメインサーバ　検査サーバ　調剤サーバ　NAS　介護サーバ　更新
11月　鼻咽喉スコープ　動画システム　導入
12月　訪問診療部　LTE 閉域ネットワークサービス更新
1月　倉敷紀念病院・倉敷第一病院　電子カルテ拠点間接続開始
2月　訪問看護ステーション　クラウド型訪問看護支援サービス　導入
2月　介護保険インターネット請求　開始
3月　レセプトチェックソフト　更新

**エコ活動実績**

1. エコキャップ回収　リサイクル活動

誠和会では地球温暖化防止活動の一環として、リサイクル活動を行っています。職員の声から始まったリサイクル活動には、地域住民の皆様をはじめ、地域の小学校からもご協力をいただいています。

回収したキャップは、NPO 法人（内閣府認証）エコキャップ推進協会を通して、再生プラスチックの原材料としてリサイクル事業者で換金し、世界の子どもたちへのワクチン支援活動や震災義援金の寄付、学校等における環境教育、障がいをお持ちの方々の雇用創出や自立支援といった社会貢献活動へと繋がっています。

＜エコキャップリサイクル実績＞

| | 平成 25 年度 | 平成 26 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 個　数（約・個） | 206,800 | 68,800 | 164,776 | 161,766 | 280,790 |
| 総重量（Kg） | 481.0 | 200.2 | 383.2 | 376.2 | 653.0 |
| ワクチン換算（人） | 240 | 80 | 192 | 188 | 327 |

＜賛同者＞

倉敷市立西小学校

倉敷市立連島神亀小学校

2. 緑化活動

誠和会では地球温暖化防止活動の一環として、緑化運動を行っています。また、倉敷市「グリーンメイト」（平成 22 年 9 月登録）として緑のカーテン設置を推進しています。

3. クールビズ&ウォームビズ

・クールビズ（期間：5/1～10/31）・・・冷房設定室温を 26℃に

・ウォームビズ（期間：11/1～3/31）・・・暖房設定室温を 20℃に

患者さん利用者さんの負担にならないように気をつけて実施しています。

4. その他の省エネ活動への取り組み

誠和会は、地球温暖化防止にもつながる省エネ活動に積極的に取り組んでいます。

・各病室・居室のベランダに遮光シートを設置（遮光での夏季空調負荷の低減）

・デマンドコントローラーの設置（エアコンの平均使用電力の上限値の低減）

・エアコンの吹出し口に、ハイブリッドファンを取付（空気の撹拌による温度差の緩和）

・クールビズ期間中、便座の暖房・温水機能を OFF、自動販売機の照明 OFF（待機電力の節電）

・エアコン使用期間は、エアコンフィルタを毎月清掃（冷暖房の効率アップによる節電）

・雨水タンクの設置（雨水再利用による節水）

## 地域活動（共催）

1．岡山県南西部医療安全を考える会

| 開催日 | 回数 | テーマ | 発表病院 | コメンテーター病院 | 会場 | 参加人数（人） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成 29 年<br>5 月 30 日 | 第 22 回 | 誤薬 | 松田病院<br>玉島中央病院<br>みわ記念病院 | 倉敷第一病院<br>玉島第一病院<br>国定病院 | 倉敷第一病院<br>ISAM ホール | 196 |
| 9 月 26 日 | 第 23 回 | クレーム | 水島協同病院<br>渡辺胃腸科外科病院<br>倉敷スイートホスピタル | しげい病院<br>武田病院<br>児島市民病院 | 倉敷紀念病院<br>スターダストホール | 229 |
| 平成 30 年<br>1 月 31 日 | 第 24 回 | 自由 | 玉島協同病院<br>水島第一病院<br>柴田病院 | 井原市民病院<br>倉敷リハビリテーション病院<br>矢掛病院 | 倉敷第一病院<br>ISAM ホール | 145 |

運営委員 （倉敷）武田病院　（玉島）玉島中央病院　（井笠） 金光病院　（相談役） 森脇法律事務所
事務局　　倉敷紀念病院

2. わが街健康プロジェクト。 ～心かよう地域医療～love our community～

◆講演会

| 開催日 | 回数 | 講演 | 会場 | 参加人数（人） |
|---|---|---|---|---|
| 平成 29 年<br>5 月 23 日 | 第 15 回 | 【講演 1】<br>「楽しく今を生きるために」<br>倉敷リバーサイド病院 人工関節センター センター長 川口 洋 先生<br>【講演 2】<br>「ウォーキングで健康づくり」<br>玉島中央病院 健康運動指導士 影山 尚也 先生<br>＜健やかブース＞派遣スタッフとして看護師 1 名、MSW1 名派遣 | 倉敷市民会館 | 220 |
| 8 月 29 日 | 第 16 回 | 【講演 1】<br>「在宅医療を知っていますか？」<br>つばさクリニック 理事長 中村 幸伸 先生<br>【講演 2】<br>「最期まで家で過ごしたい」を考える ～在宅療養という選択肢～」<br>倉敷中央病院 医療福祉相談室長<br>医療ソーシャルワーカー 曽我 比呂子 先生 | 倉敷市民会館 | 225 |
| 11 月 28 日 | 第 17 回 | 【講演 1】<br>「肝疾患治療の変遷 ウイルス性肝炎から脂肪肝へ」<br>水島中央病院 院長 松尾 龍一 先生<br>【講演 2】<br>「メタボ・ロコモ研究から見えてきた最新の健康長寿食」<br>重井医学研究所附属病院 診療部門長 池田 弘 先生<br>＜健やかブース＞派遣スタッフとして看護師 1 名派遣 | 倉敷市民会館 | 189 |
| 平成 30 年<br>2 月 16 日 | 第 18 回 | 【講演 1】<br>「認知症の人を支えるために、知っておきたい大切なこと」<br>しげい病院 内科部長（神経内科） 辻 拓司 先生<br>【講演 2】<br>「認知症の人とその家族にとって心あたたかな社会を目指して<br>～『家族の会』活動から～」<br>公益社団法人 認知症の人と家族の会 岡山県支部 副代表 安藤 光徳 先生<br>＜健やかブース＞派遣スタッフとして薬剤師 1 名派遣 | 倉敷市民会館 | 249 |

◆サポーターズミーティング

| 開催日 | 回数 | プログラム | 会場 | 参加人数（人） |
|---|---|---|---|---|
| 平成 29 年<br>4 月 27 日 | 第 6 回 | テーマ：転院<br>ミニレクチャー「急性期病院・回復期病院における地域連携医療と入退院支援」<br>しげい病院 地域連携部<br>地域連携・入退院支援課 医療ソーシャルワーカー 南 俊也 先生<br>倉敷中央病院 総合相談・地域医療・入退院支援センター<br>医療福祉相談室 医療ソーシャルワーカー 曽我 比呂子 先生<br>グループでクイズに挑戦<br>グループで意見交換<br>まとめ | 倉敷市民会館 | 55 |
| 10 月 19 日 | 第 7 回 | テーマ：在宅医療<br>ミニレクチャー「家で過ごす～病気があってもその人らしく～」<br>らいふケアプランセンター倉敷 ケアマネジャー 岡﨑 香代子 先生<br>つばさクリニック 医療ソーシャルワーカー 南 智子 先生<br>グループでクイズに挑戦<br>グループで意見交換<br>まとめ | 倉敷市民会館 | 46 |

◆平成 30 年 3 月 13 日 第 3 回 PR ポスター応募作品展示・表彰式

| 賞 | 氏名 | 所属 |
|---|---|---|
| グランプリ | 濵見 志歩さん | 岡山県立大学 |
| 優秀賞 | 前川 和美さん | 岡山県立大学 |
| | 板野 百花さん | 川崎医療福祉大学 |
| | 西林 侑哉さん | 岡山県立大学 |
| | 平尾 美奈さん | 岡山県立大学 |
| | 和田 季子さん | 岡山県立大学 |
| サポーター賞 | 西川 紗世さん | 岡山県立大学 |

グランプリ作品

主催　　わが街健康プロジェクト。事務局
共催病院　AOI 倉敷病院　川崎医科大学附属病院　倉敷紀念病院　倉敷市立市民病院　倉敷スイートホスピタル
倉敷成人病センター　倉敷第一病院　倉敷中央病院　倉敷平成病院　倉敷リハビリテーション病院
倉敷リバーサイド病院　児島聖康病院　児島中央病院　重井医学研究所附属病院　しげい病院　玉島中央病院
チクバ外科・胃腸科・肛門科病院　茶屋町在宅診療所　つばさクリニック　藤戸クリニック　松田病院　水島協同病院
水島第一病院　水島中央病院
後援　　倉敷市　倉敷商工会議所

## メディア掲載

9 月 5 日　発行◆月間 DAY／VOL.214　2017/10 月号／106～107 ページ

通所リハの運営の実際

【「中重度者の受け入れ」に伴う工夫】

10 月 7 日（土）◆山陽新聞／26 面／倉敷・総社圏版

【統合記念し式典】

統合記念し式典

倉敷紀念病院と倉敷第一病院

倉敷紀念病院（倉敷市中島）と倉敷第一病院（同市老松町）の事業統合を記念した式典が4日、第一病院で開かれた＝写真。同市内の病院関係者ら約70人が出席。両病院を運営する医療法人誠和会の小出尚志理事長が「誰もが住み慣れた土地に長く住み続けられるよう、医療を通じて地域貢献していきたい」とあいさつした。県病院協会の難波義夫会長らの祝辞の後、小出理事長が今後のビジョンを説明。地域包括ケアサービスの質向上や予防医療の拡充、IT機器の共有化などに取り組み、地域全体で急性期から在宅まで切れ目ない医療を提供する「地域完結型医療」を推進する考えを示した。

両病院は9月1日、第一病院を経営していた医療法人淳風会が、紀念病院を経営する誠和会に経営権を譲渡して事業統合した。（西平亮）

2018（平成 30）年

2 月 16 日（金）◆山陽新聞／26 面／倉敷・総社圏版

【100 歳おめでとう】

## 100歳おめでとう
### 倉敷 半﨑フデさん

倉敷市西阿知町の半﨑フデさんが15日、100歳の誕生日を迎え、市や家族から長寿の祝福を受けた。

入所先のグループホームコージー（同市中島）を市職員らが訪れ祝い状などを贈ると、半﨑さんは「ありがとうございます」と喜んだ。

半﨑さんは鹿児島県生まれ。21歳ごろに結婚し、2子を育て上げた。43年前から息子夫婦が住む倉敷で暮らし始めた。

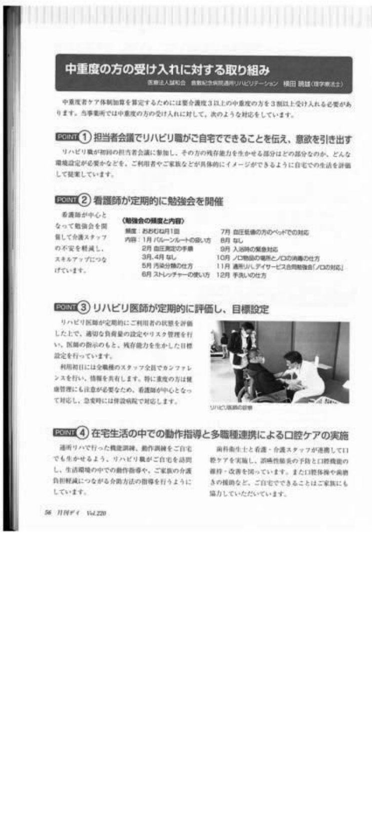
多趣味で、料理や裁縫、ゲートボールなどに親しんだ。本も好きで、今でも絵本を読んでいる。長寿の秘訣（ひけつ）を「好き嫌いなく食べること」と話す。（山本真慈）

家族からの祝福を受ける半﨑さん（中央）

3 月 5 日　発行◆月間 DAY／VOL.220　2018/4 月号／56〜57 ページ

特集 1　デイの加算算定に必要な知識・プログラム

【中重度の方の受け入れに対する取り組み】



中重度の方の受け入れに対する取り組み

POINT ① 担当者会議でリハビリ職がご自宅でできることを伝え、意欲を引き出す

POINT ② 看護師が定期的に勉強会を開催

〈勉強会の頻度と内容〉

頻度：おおむね月1回

内容：1月 バルーンルートの扱い方／2月 血圧測定の手順／3月、4月 なし／5月 汚染分類の仕方／6月 ストレッチャーの使い方／7月 自圧低値の方のベッドでの対応／8月 なし／9月 入浴時の緊急対応／10月 ノロ物品の場所とノロの消毒の仕方／11月 通所リハ、デイサービス合同勉強会「ノロの対応」／12月 手洗いの仕方

POINT ③ リハビリ医師が定期的に評価し、目標設定

POINT ④ 在宅生活の中での動作指導と多職種連携による口腔ケアの実施

56 月刊デイ Vol.220

中重度者ケア体制加算のプログラム事例（倉敷紀念病院通所リハビリテーション）

事例②

[目標] 1. 安全な移乗動作の獲得により再骨折を予防する。
2. 離床時のコルセット着用の徹底（家族へのコルセット装着介助指導）。

実際のプログラム内容

（目標1）安全な移乗動作を獲得し、再骨折を予防する

【実施プログラム】

（目標2）離床時のコルセット着用を徹底する

【実施プログラム】

プログラムの効果

Vol.220 月刊デイ 57

## 経理部･経営戦略室

経理部長･経営戦略室長　渡邊　晋

真実性の原則に則り、発生主義に準拠した、正確な会計処理を行うことにより健全な資産による健全な経営に資し、会計上の利益を重視します。

会計は企業経営の成果をあらわしたものです。そのため、コーポレート・ファイナンスを強化することで、期間成績をマネジメントして経営課題に応えることを目指します。

**年間主要業務**

| | |
|---|---|
| 4月 | 前期決算書作成 |
| | 月次計算書作成 |
| 5月 | 法人決算を社員総会・理事会に報告 |
| | 監査報告 |
| | 法人税、法人市民税、事業税申告 |
| | 月次計算書作成 |
| 6月 | 県へ決算報告 |
| | 月次計算書作成 |
| 7月 | 月次計算書作成 |
| 8月 | 月次計算書作成 |
| 9月 | 月次、半期計算書作成 |
| | 未収入金台帳精査 |
| 10月 | 月次計算書作成 |
| | 上半期経営分析、期中決算予想 |
| | 下半期 |
| 11月 | 中間納税 |
| | 月次計算書作成 |
| 12月 | 月次計算書作成 |
| 1月 | 期中決算予想 |
| | 月次計算書作成 |
| 2月 | 月次計算書作成 |
| | 未収入金台帳精査 |
| | 次期予算策定 |
| 3月 | 期中決算予想 |
| | 今期予想、次期予算を社員総会、理事会へ報告 |
| | 年度末会計締切 |

医療法人誠和会年報
平成 29 年度　倉敷紀念病院

平成 30 年 9 月 30 日発行
発行人　医療法人誠和会　理事長　小出尚志
編集　誠和会年報編集委員会（広報委員会・総務部）
委員長　河田真治
〒710-0803　岡山県倉敷市中島 831
電話 086-465-0011　Fax　086-465-9199